

第2章

観光交通の現状・課題

観光交通の現状・課題の全体像

第2章では、観光交通の現状・課題を把握することを目的に、1. 観光市場、2. 北部地域の観光の現状、3. 北部地域における交通の現状を概観、北部の観光交通におけるニーズや課題を把握した

		主要論点	アプローチ	
1 観光市場の現状	1 観光市場の現況	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 	
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 		
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握
		2 北部地域の観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 	
		3 体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 	
		4 宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 	
	需要面	5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうなっているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握
3 北部地域における交通の現状	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握 	
	2 観光客の交通に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握 	

観光交通の現状・課題の全体像サマリー

<p>観光市場の現況</p>	<ul style="list-style-type: none">観光・旅行市場はコロナ以前の水準に戻り、インバウンドは過去最高を更新。県内の交通手段としては、レンタカーが大半を占めるものの二次交通利用者も20%程度存在する構造に変化なし<ul style="list-style-type: none">観光・旅行市場はコロナ以前の水準に戻り、特にインバウンドは2024年に旅行消費額が8.1兆円（19年比+69%）に到達沖縄県全体としては、観光・旅行の旅行消費額は約1兆円と過去最高を記録<ul style="list-style-type: none">✓ 国内客が約8割、インバウンド客が約2割を占めており、インバウンドは東アジアからの観光客が約8割を占めるコロナ以前と比べても市場（居住地）の変化はない県内の交通手段としては、レンタカー利用が最も多く日本人観光客は約7割、インバウンド観光客は約5割を占める<ul style="list-style-type: none">✓ 一方で、路線バス利用は日本人、インバウンドともに2割程度を占めており一定程度の需要が存在<ul style="list-style-type: none">➢ 二次交通の旅行者のニーズとしては本数やバス停や停留所へのアクセスが悪いといったことが多く挙げられている
<p>北部地域の観光の現状</p>	<ul style="list-style-type: none">北部地域においては、①“訪問者数が多く短時間滞在となっている資源”から、いかに周辺の周遊を促せるか？と②“訪問者数は少ないが短時間滞在の資源同士でいかに周遊を促すか？”の2つの周遊における方向性が考えられる<ul style="list-style-type: none">観光客数と滞在時間から北部市町村の観光資源の傾向を見ると、大きく4つに分類できる<ul style="list-style-type: none">✓ “北部の集客装置的位置づけの観光資源”である海洋博公園、ジャングリア沖縄、瀬底島、屋我地島✓ “滞在時間が短いが多い観光客を集客している資源”である道の駅群✓ “人数は来ていないが、長く時間を過ごす観光資源”であるニッチ層向けビーチやゴルフ場✓ 多くの資源が“訪れる人数が少なく、滞在時間も短い資源”
<p>観光客の周遊状況</p>	<ul style="list-style-type: none">日本人観光客の北部12市町村に係る人の流れは那覇市を起点とした移動が大半を占め、インバウンドは本部町、恩納村、名護市、今帰仁村への来訪が多く、国籍としては東アジアからの来訪者が約8割を占める<ul style="list-style-type: none">北部内の宿泊数は約8割が2~3泊という状況

観光交通の現状・課題の全体像サマリー

北部地域の観光の現状	体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 本島内の体験プログラムの半数以上は北部地域が占める。うち8割近くは海水浴・マリレジャー、ダイビング関連のプログラムとなり、他の目的のプログラムは流通が限られている
	宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部の宿泊施設は県内においても南部に次ぐ規模を誇り、規模では中規模・大規模宿泊施設に加え小規模の宿泊施設も存在し、価格帯もハイエンドから安価な宿泊施設も偏在している <ul style="list-style-type: none"> 北部の宿泊施設は、軒数・客室数・収容人数ベースともに、南部に次ぐ規模を誇る。北部内では、恩納村、名護市、本部町は中規模・大規模の宿泊施設で40%弱を占めるが、その他の地域では収容人数100人未満の宿泊施設が大半を占める 北部地域の宿泊施設を価格帯別に見ると、高価格帯からビジネスユースの安価なホテルも偏在していることが特徴
	観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 県内でも有数の知名度を誇る観光資源や観光地が存在するものの、潜在的な資源の魅力を訴求できていない。市町村レベルでは消費者の認知度にばらつきがあり、せっかく認知されても観光地や景勝地の詳細を知らない、行き方がわからない、訪れるための手段が限られるといったブランディングや交通手段に関する課題が浮き彫りに・・・ <ul style="list-style-type: none"> 消費者の抱く沖縄観光のイメージにおいては、美ら海水族館や恩納村、古宇利島、ジャングリアといった北部由来の地名や観光地が挙げられているものの、魅力ある資源が訴求できていない 市町村レベルでは、名護市、恩納村の認知が突出して高く、他の市町村の認知度とばらつきがある なお、各市町村に対して、観光・旅行先として興味・関心がない理由は、“訪問地や景勝地等を知らない”、“訪れるための手段が限られる”、“行き方がわからない”といった、認知度やブランディング、交通関連の情報が挙げられている 北部を訪れてもらっても北部の資源を生かした観光地に立ち寄ってもらったり、プログラムに参加してもらえていない <ul style="list-style-type: none"> 北部地域内では、史跡・旧跡、伝統・工芸、テーマパークや水族館、ビーチやマリアクティビティが実施されているものの、自然や史跡、エコツアー、スポーツ、癒しの観光資源が多いにも限らず、せっかく来訪してもらっていても“行為”に至っていない資源やプログラムが存在

観光交通の現状・課題の全体像サマリー

北部地域における交通の現状

交通・道路 状況の現状

- ・ 那覇等から北部へアクセスする北部域外を結ぶ路線は供給数が十分な一方、域内の路線は便数が少なく早朝や夜に空白時間帯も存在。また、地域別には名護市や本部町は複数路線が運行しているが、その他地域におけるバス路線は限定的。コミュニティバスやデマンド交通は各市町村が展開しており、観光路線との接続には調整が必要
 - 「北部域外を結ぶ路線」は1日に18～20本走る120番をはじめとして充実している一方で、「北部域内を結ぶ路線」は便数が少なく早朝や夜などには空白時間帯も存在する。周遊型の観光促進に向けては、北部域内を結ぶきめ細やかなネットワークの構築が課題と考えられる
 - 路線バスの運行地域では、名護市や本部町は複数の路線が運行しており充実している一方、その他の市町村においては運行するバス路線は限定的。加えて、北部域外からの主なルートである高速バスが運行していない地域も存在。周遊型の観光促進に向けては、北部域外から名護市や本部町に入った後の、きめ細やかなネットワークの構築が課題と考えられる
 - 一方で、各市町村が展開しているコミュニティバスは、76%のバスが1日1～4本程度で運行しており、観光客の広域な回遊を支える二次交通としては供給量が少なく「時刻表に合わせる移動」を強いている。周遊型の観光促進に向けては、自由度の高い観光動線の確保が必要と考えられる
 - また、一部の市町村で展開されているデマンド交通は実証実験フェーズのサービスであり料金体系や運行方式、予約方式も統一されておらず観光客目線では利用は容易ではない
 - フェリー移動に伴う港での長い待ち時間は、観光客の満足度を低下させるだけでなく、年間22億円以上の消費機会を「ただ待つだけの時間」として消失している可能性も。夏季シーズン等に稼働率が90%を超えた場合は、機会損失額は試算の2倍以上に膨れ上がるため、「待ち時間対策」の投資対効果は高いと考えられる
 - なお、懸念されていたジャングリア沖縄開業による深刻な渋滞は確認されなかった

観光客の交通 に対する ニーズ

- ・ 県内の観光の移動手段はレンタカーが大半を占めるものの二次交通利用も一定層（20%弱）存在。一人旅セグメントの利用割合は高いが推奨意向は低く改善要望が多く挙げられているのが現状
 - レンタカー利用が沖縄旅行の大半を占める中で、一人旅層はレンタカー利用（33%）よりも路線バス利用（37%）が高い
 - レンタカーは推奨意向が高い一方で、路線バスに対する推奨意向は低く、批判者のコメントの多くは“本数や時間が合わない、路線やバス停表記がわかりにくい、バス会社が複数あり時刻表が複雑”といった、個社では解決ができない情報の一元等の解決策が求められている
 - さらに、多くの観光客が訪れている観光地を訪れた観光客の路線バスに対する推奨意向は低く、北部地域の主要観光地における改善ニーズが存在

1

観光市場の現状

1

観光市場の
現況

- 観光市場の様相はどう変化してきているか？

アプローチ

- 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握

2

沖縄の観光
来訪状況

- 来沖観光客の様相はどう変化しているか？

2

北部地域の 観光の現状

供給面

1

観光資源と
観光資源別の
来訪状況

- 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？

- 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握

2

北部地域の
観光周遊状況

- 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？

- 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握

3

体験事業者の
現状

- 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？

4

宿泊事業者の
現状

- 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？

- 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握

需要面

5

観光客の現状

- 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうなっているか？

3

北部地域 における交通の現状

1

交通・道路状況
の現状

- 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？

- 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握

2

観光客の交通に
対するニーズ

- 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？

- 観光の際の交通や交通に対する評価の把握

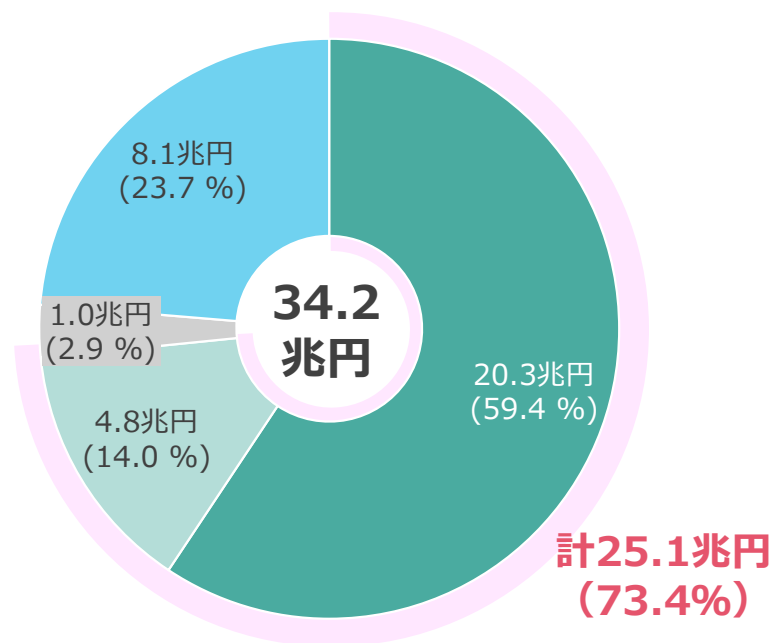
主要論点

日本国内の旅行消費額

日本国内における旅行消費額は計34.2兆円。うち、国内客（宿泊）が最も多く20.3兆円で59.4%を占める
国内（日帰り）を合わせた国内客全体だと計25.1兆円で73.4%を占める

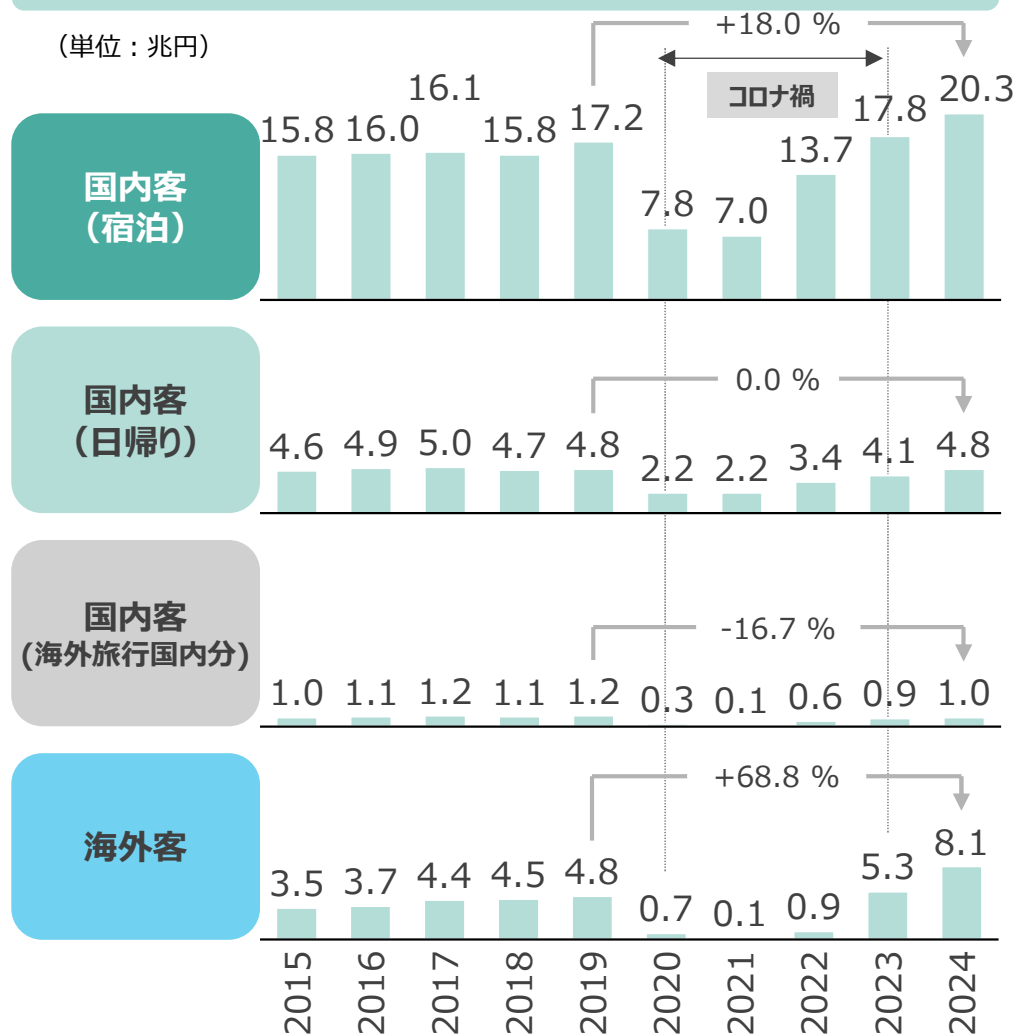
日本国内における旅行消費額（2024年）

- 国内客（宿泊）
- 国内客（日帰り）
- 国内客（海外旅行国内分）
- 海外客



<参考> 日本国内における旅行消費額の推移

(単位：兆円)

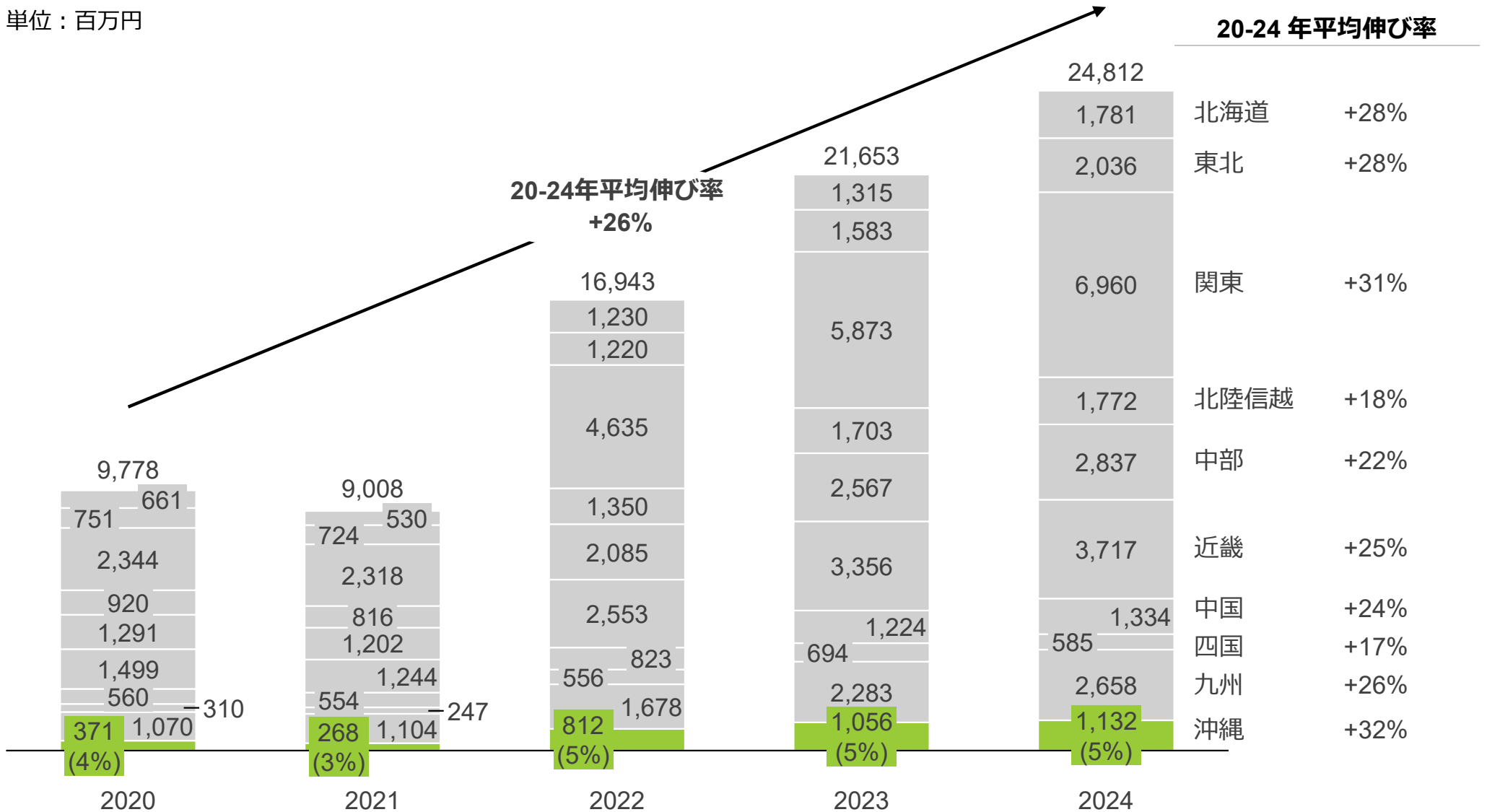


①観光市場の現況

日本人の国内旅行市場の推移

日本人の観光旅行市場はコロナ前までの推移まで回復

単位：百万円



出所：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より分析

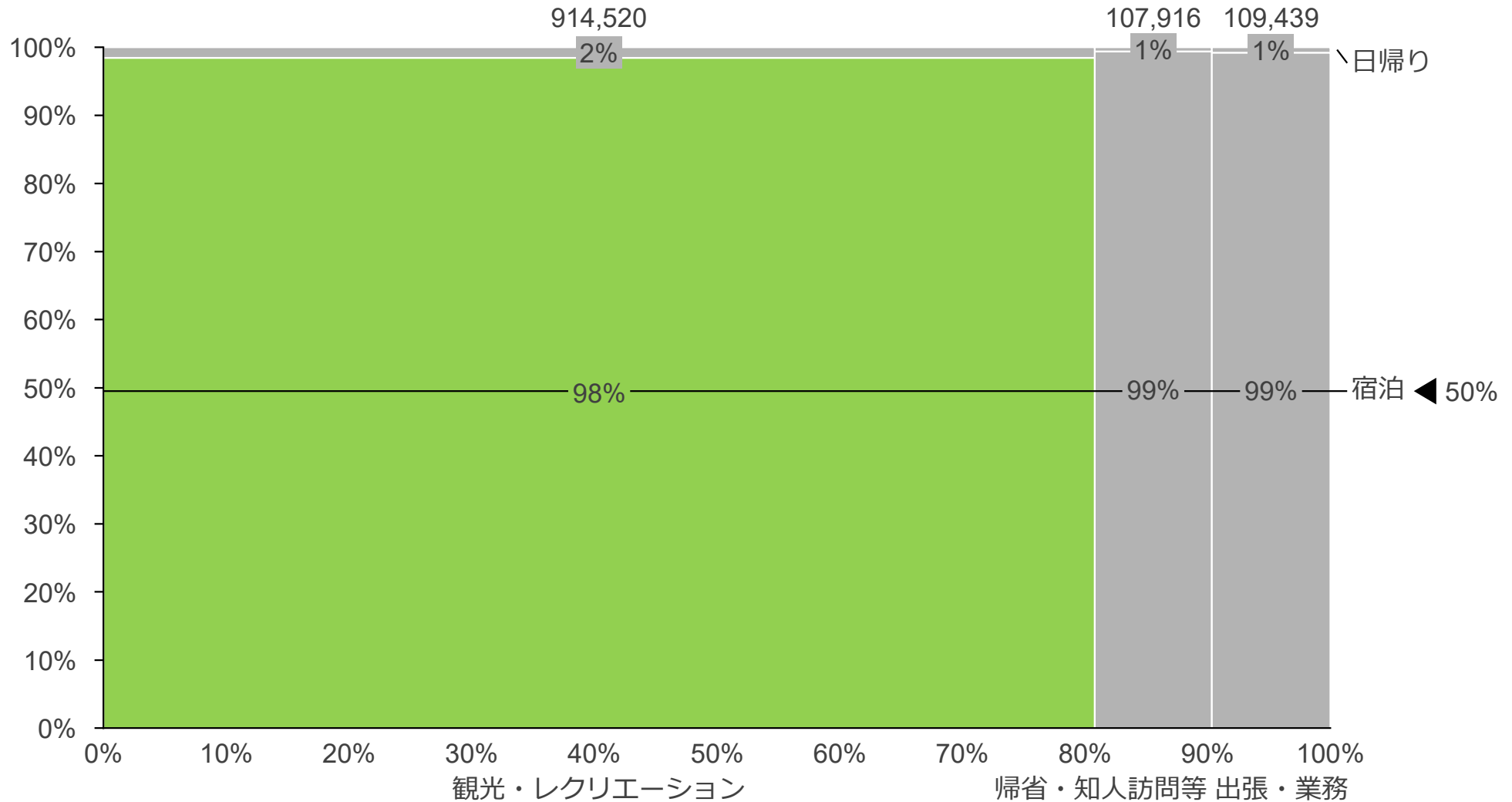
①観光市場の現況

沖縄県の日本人国内旅行市場の内訳

沖縄県を訪れる日本人国内旅行市場の約80%は観光目的の宿泊客。出張・業務を目的とする市場も10%程度存在する

単位：百万円

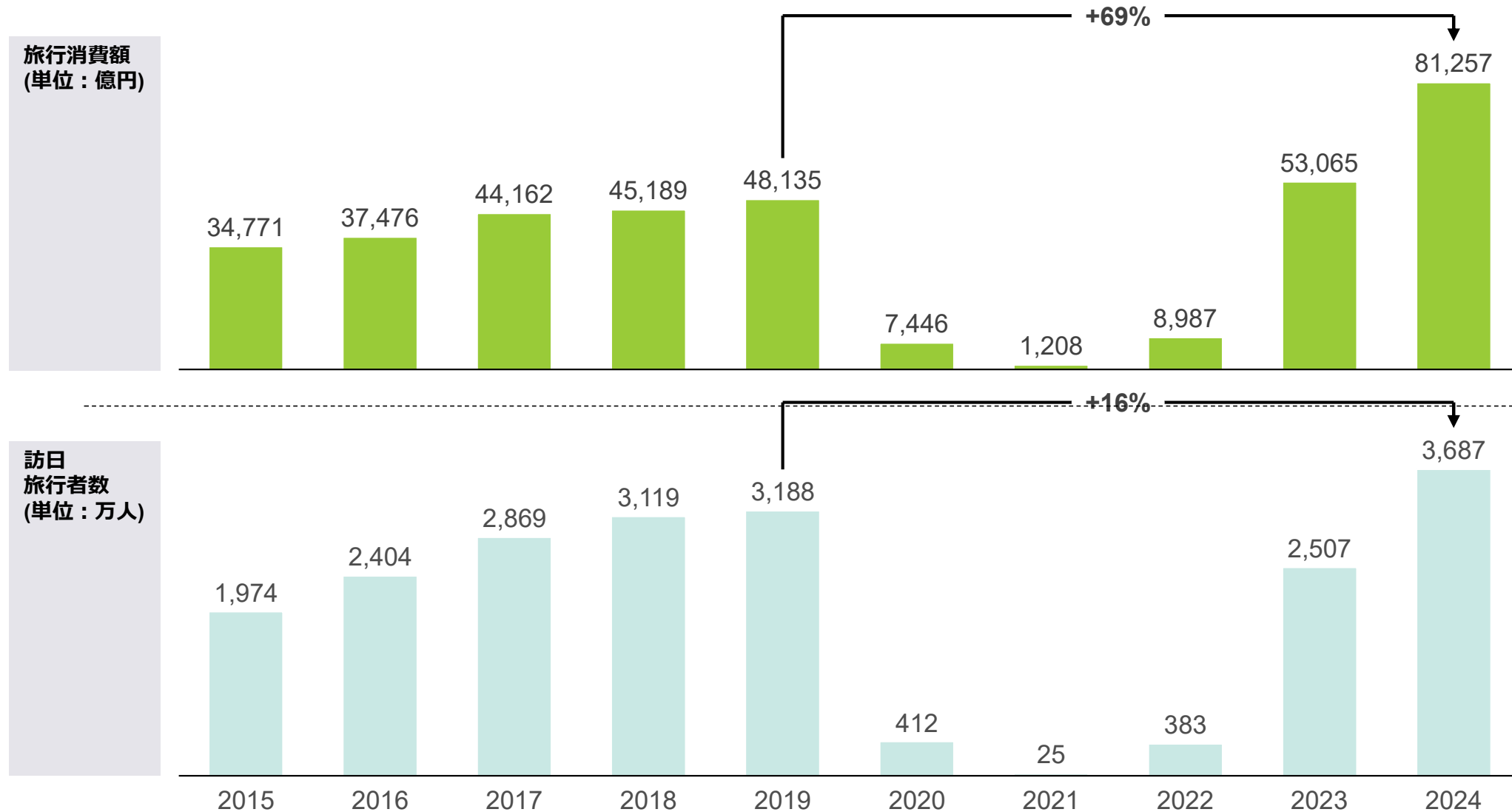
TTL=1,131,87



①観光市場の現況

訪日外国人旅行者数と市場規模の推移

訪日外国人旅行者数を見ると、2020～2023年はコロナ禍で減少していたものの、2024年にはそれまでのピーク時である2019年よりも多い約3,700万人まで増加している。また、旅行消費額は8兆円に達している

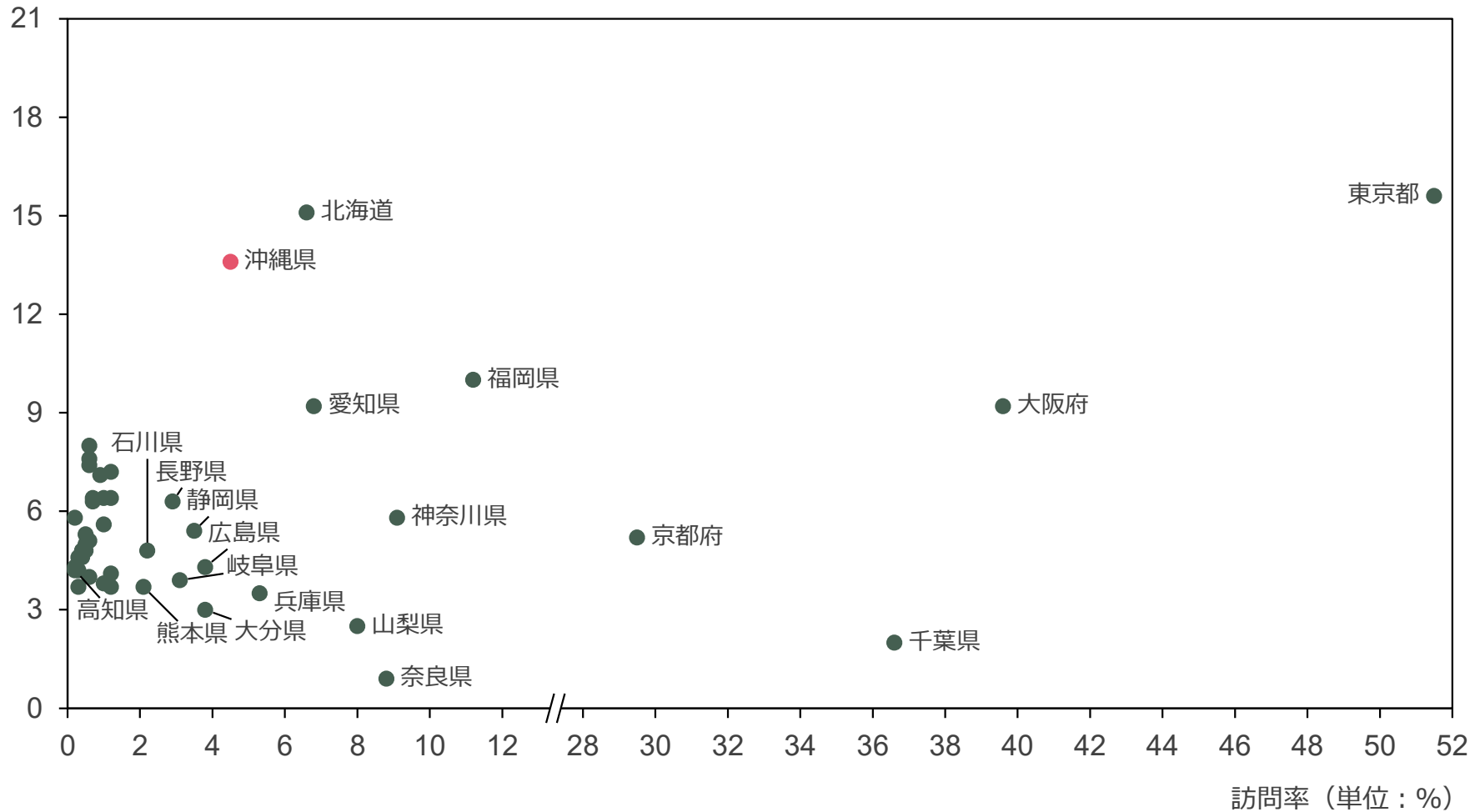


①観光市場の現況

インバウンド市場における沖縄県の位置づけ

沖縄県は他の件に比べ訪問率は低いものの、消費単価が高く、北海道と似たようなポジショニング

消費単価（単位：千円）

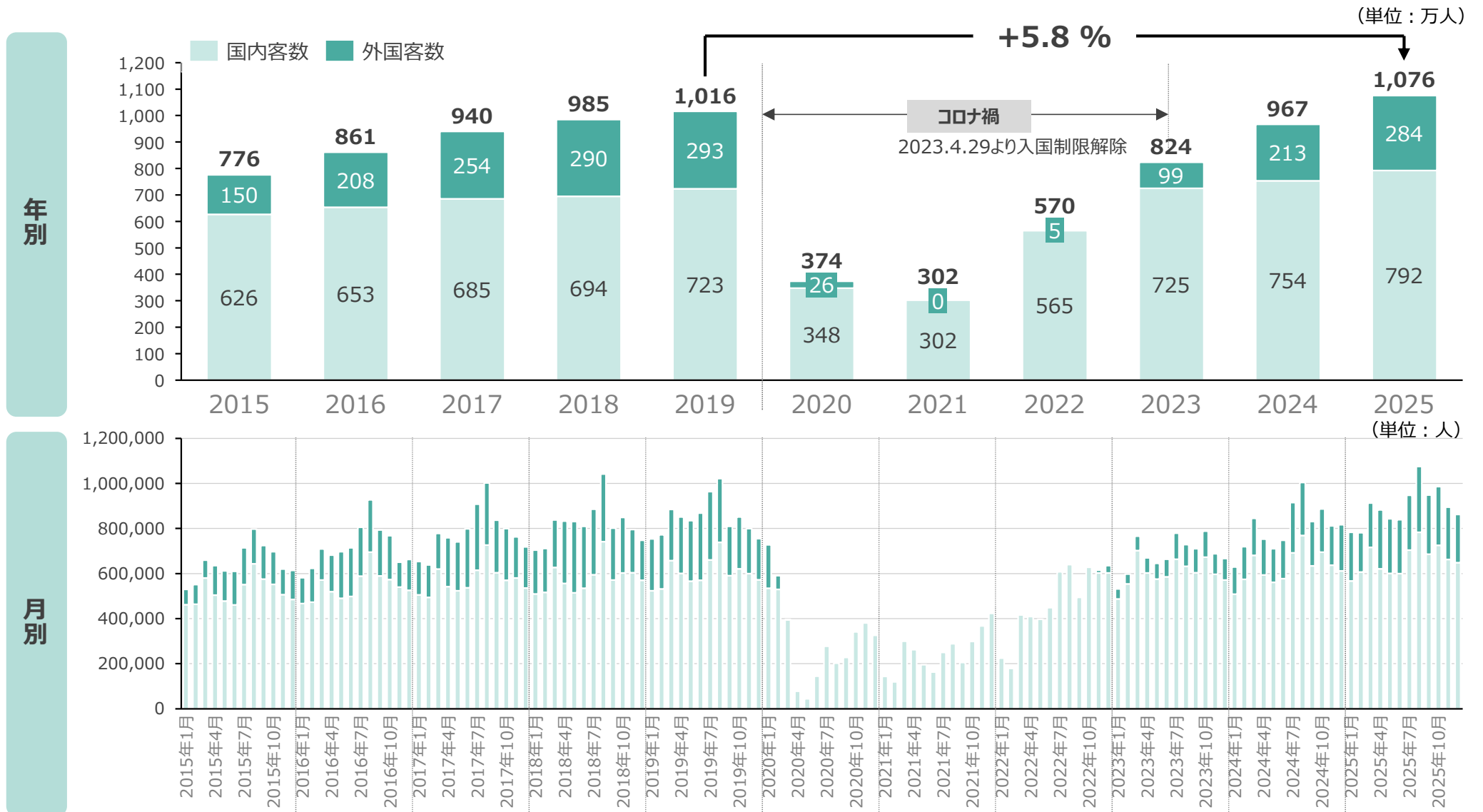


②沖縄の観光来訪状況

沖縄県の観光来訪者数の推移

沖縄県の観光客2019年で約1,016万人であったが、コロナ禍では大幅に減少

2023年4月29日より入国制限が解除され、2025年には過去最大の約1,076万人（コロナ前の2019年比-4.9%）に到達

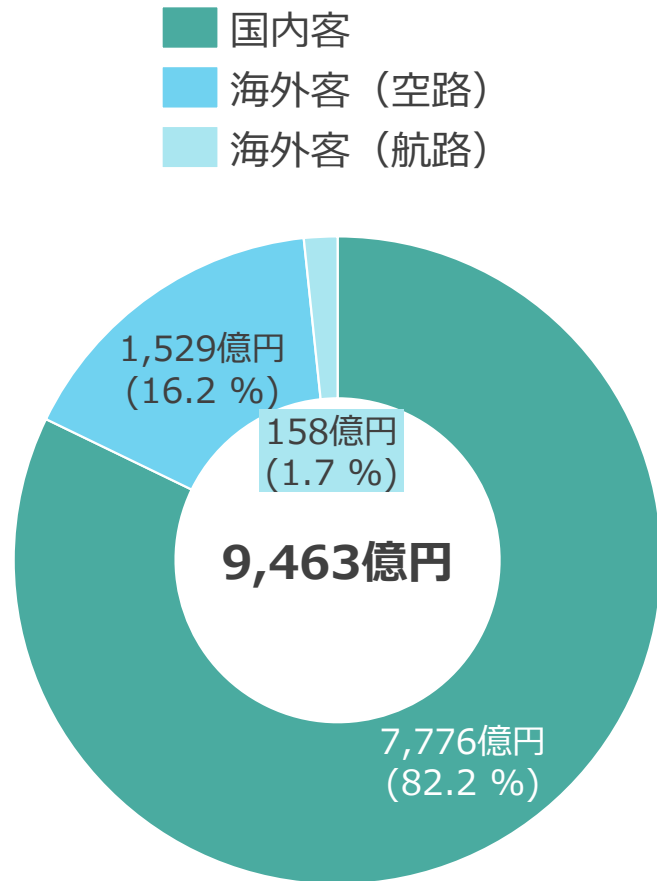


②沖縄の観光来訪状況

沖縄における観光業の市場規模

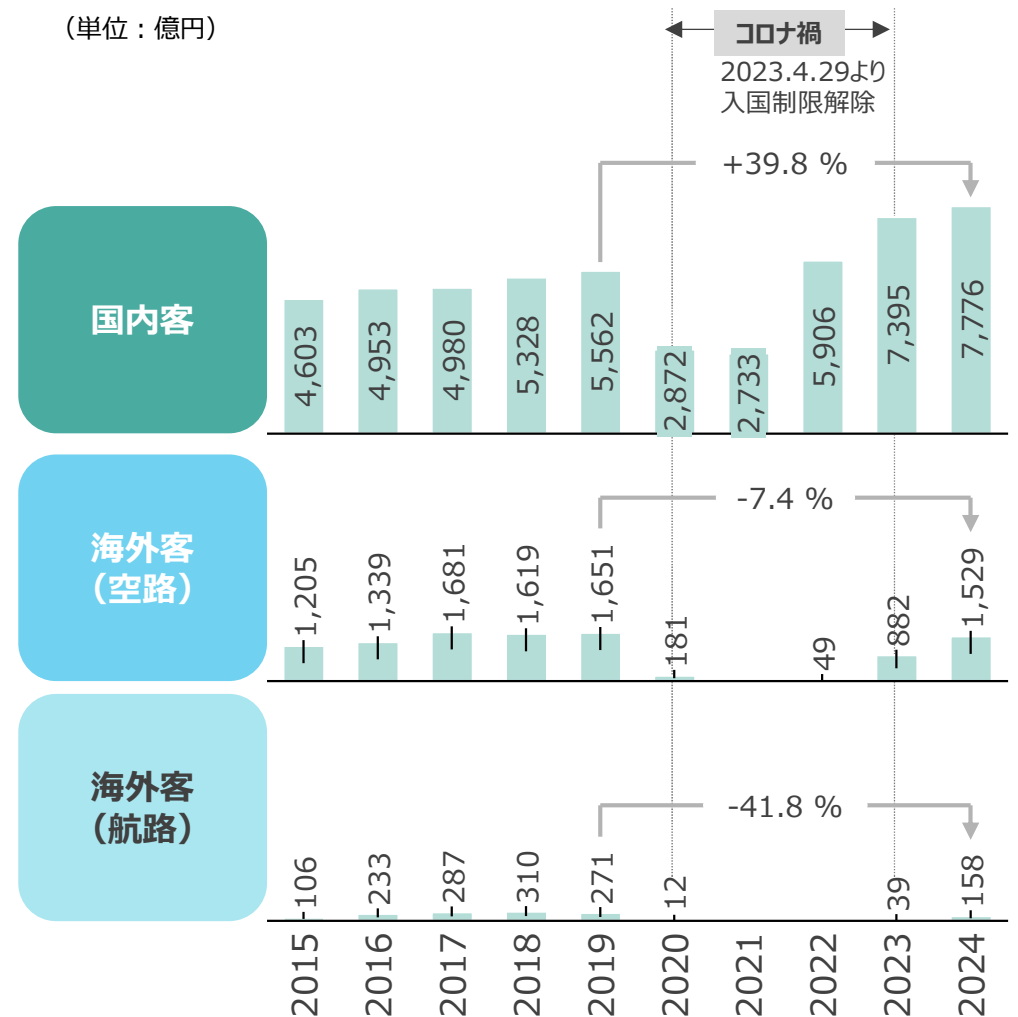
沖縄旅行における旅行消費額は計9,463億円。うち、国内客が最も多く7,776億円で82.2%を占める。海外客（空路）は1,529億円で16.2%、海外客（航路）は158億円で1.7%を占める

沖縄旅行における旅行消費額（2024年）



<参考> 日本国内における旅行消費額の推移

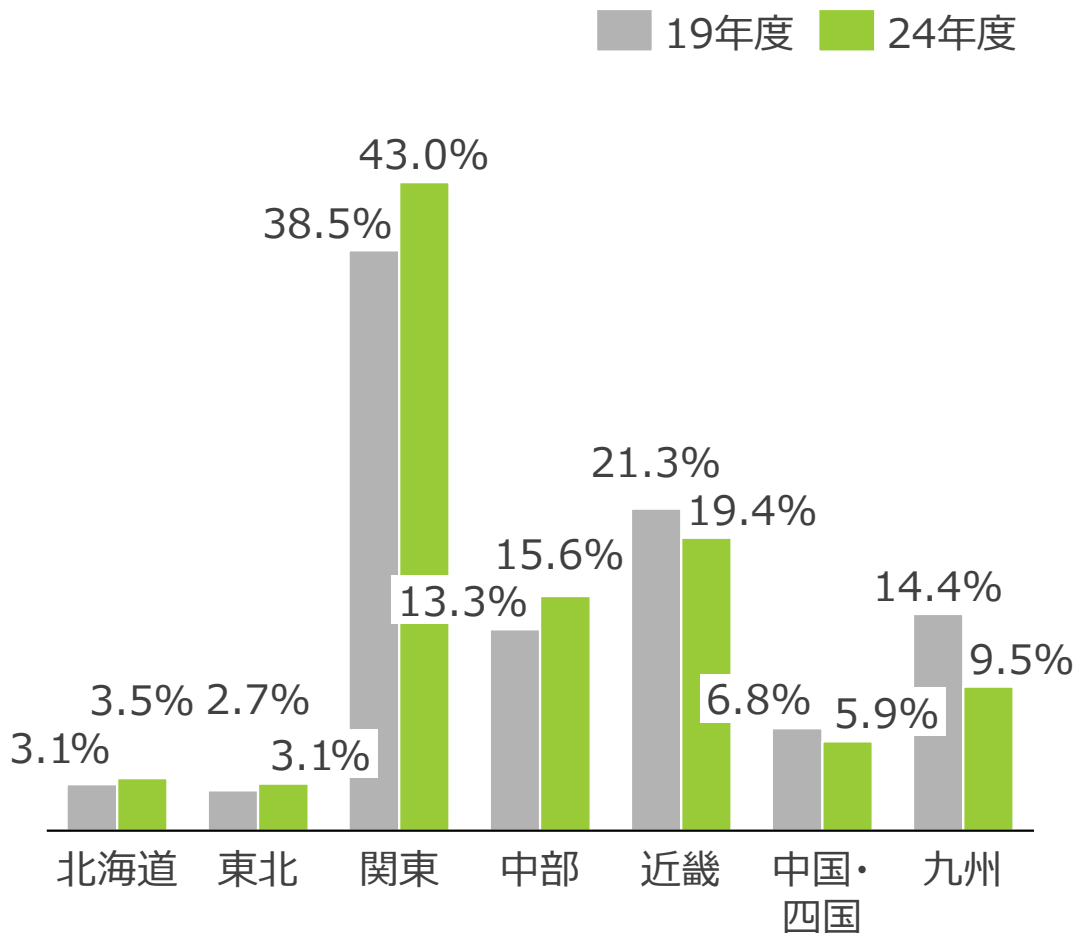
(単位：億円)



来沖観光客の居住地

国内客は関東、近畿、中部で約7割以上を占める構成はコロナ以前と変わらない。また、海外客は台湾、韓国、中国本土、香港で約8割を占める構成はコロナ以前と変化はない

国内客の構成比比較（19年度vs24年度）



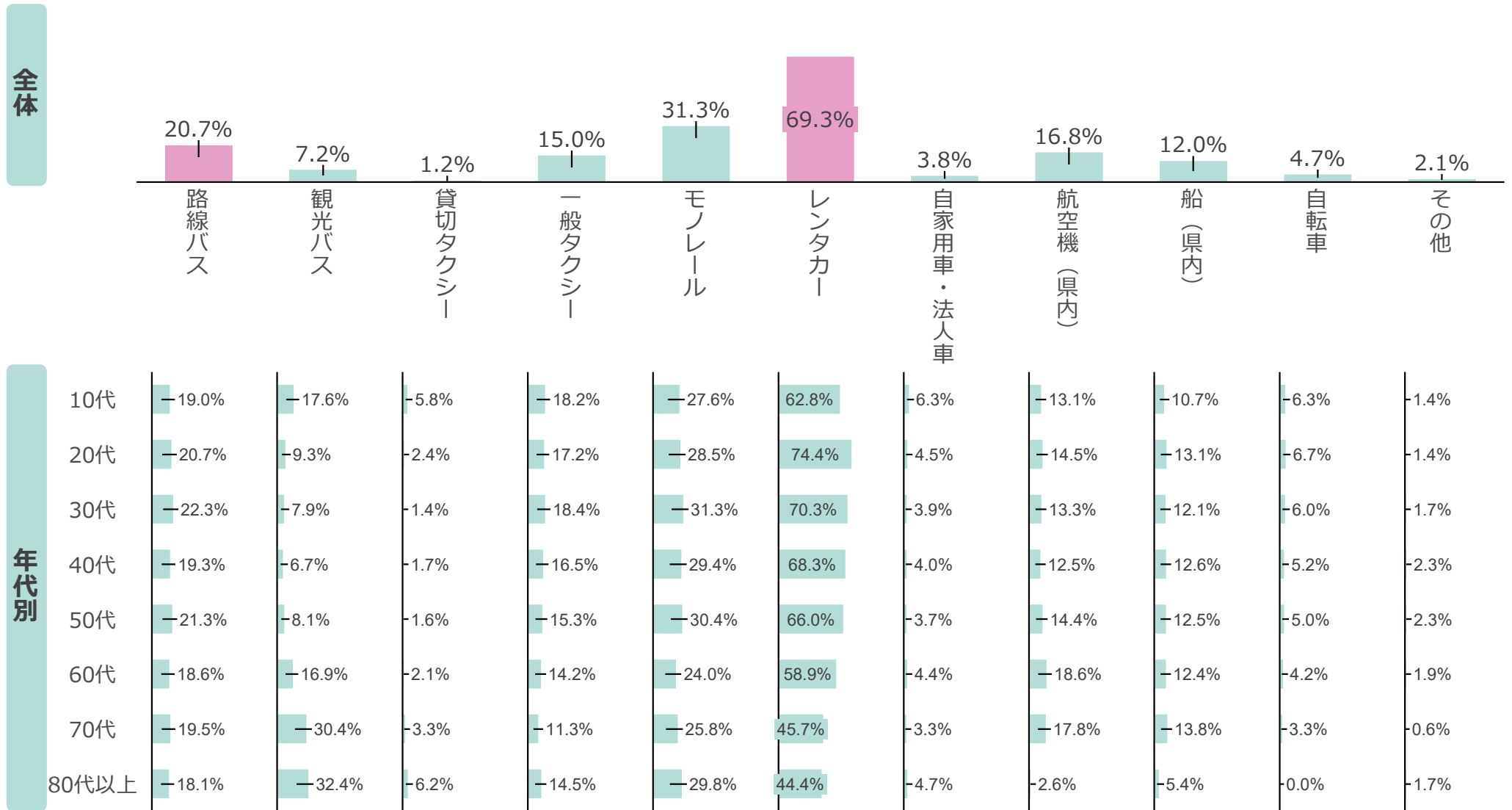
海外客の構成比の推移

	2018	2024	2025
台湾	30.6%	40.2%	39.6%
韓国	19.1%	18.8%	20.5%
中国本土	21.8%	13.5%	15.0%
香港	8.3%	8.5%	7.5%
アメリカ	1.2%	2.4%	1.8%
タイ	1.0%	0.8%	0.8%
シンガポール	0.7%	1.0%	0.8%
オーストラリア	0.4%	0.5%	0.4%
カナダ	0.4%	0.6%	0.4%
イギリス	0.4%	0.5%	0.4%
マレーシア	0.4%	0.4%	0.4%
フランス	0.1%	0.2%	0.2%
インドネシア	0.1%	0.2%	0.2%
その他	15.2%	12.6%	11.9%

②沖縄の観光来訪状況

日本人沖縄県来訪者の交通手段

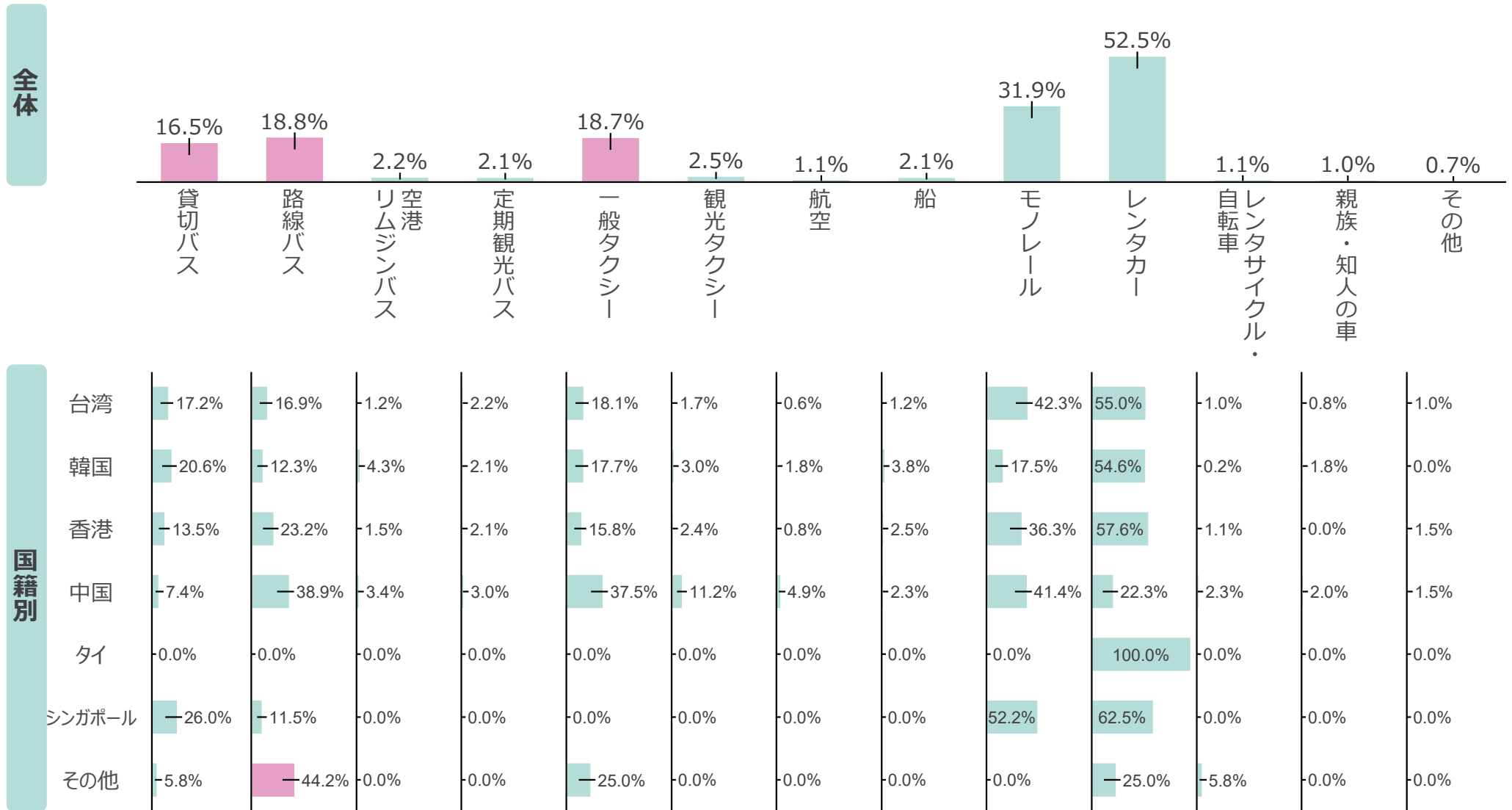
レンタカーが約70%と最も高く、路線バスが20%利用されている



②沖縄の観光来訪状況

沖縄へのインバウンド観光客の交通手段（飛行機利用者）

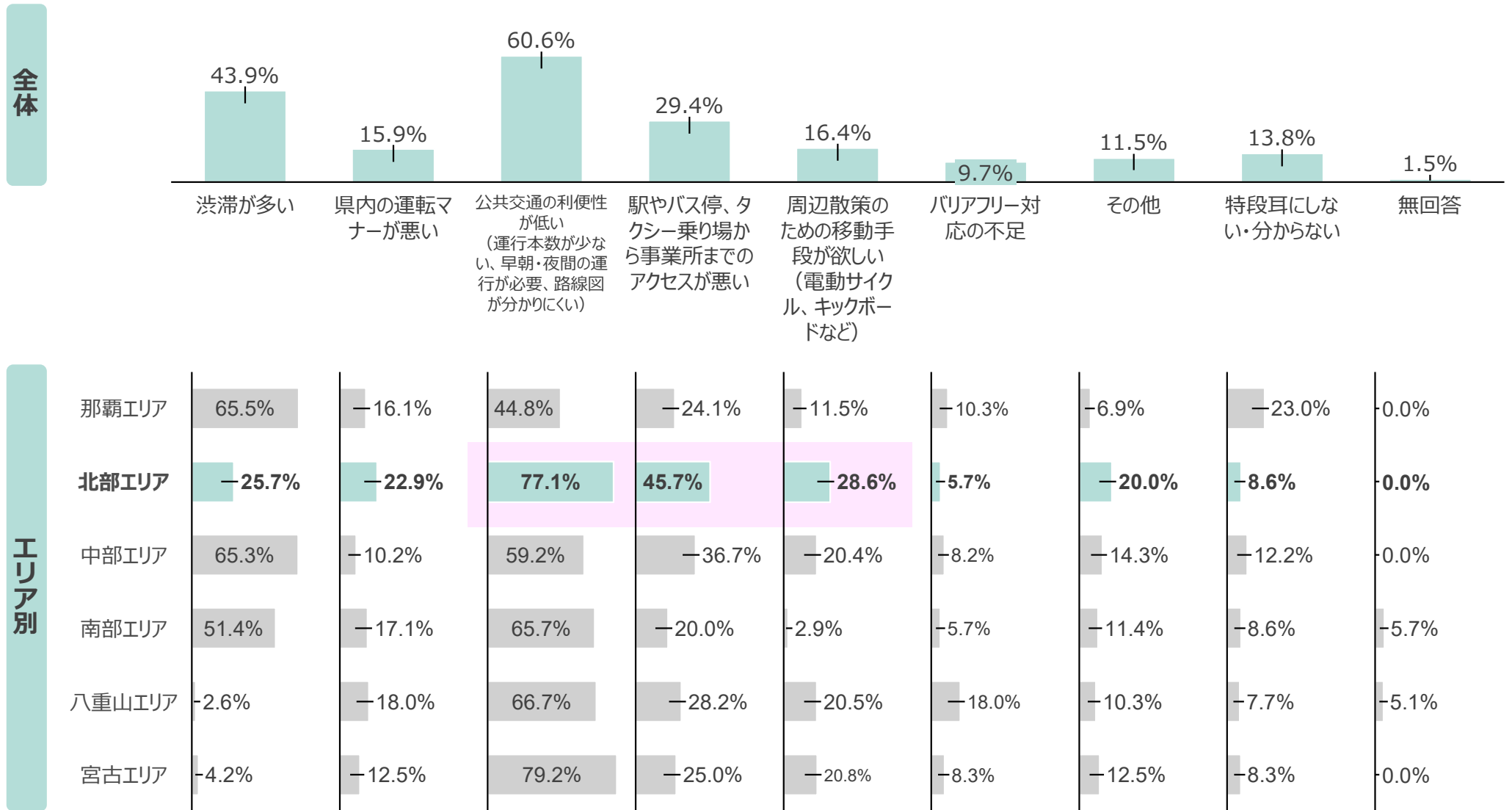
インバウンド旅行者に目を転じると、レンタカーが約半数を占めるもののタクシーや路線バス、貸し切りバス利用も20%弱存在



② 沖縄の観光来訪状況

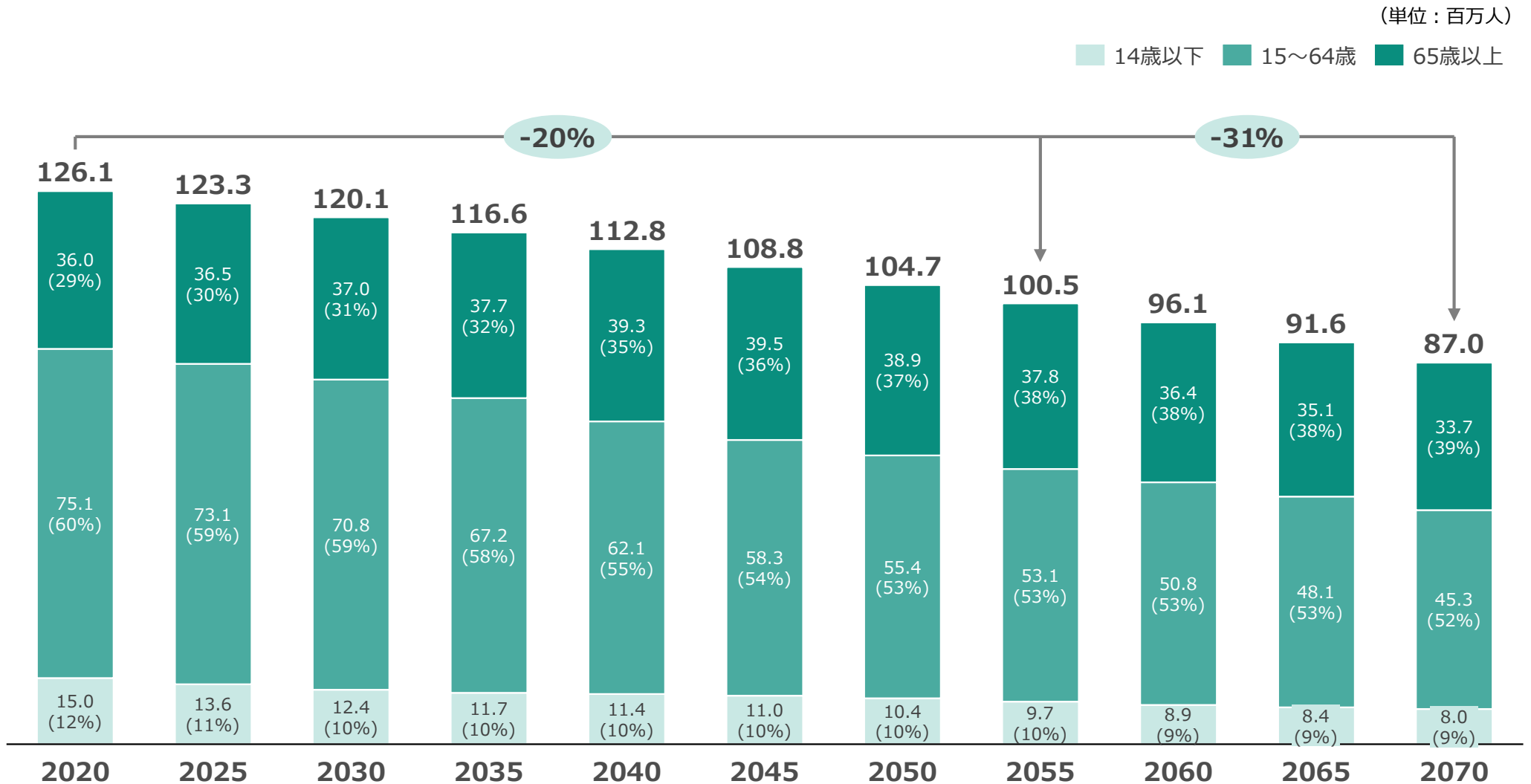
沖縄への日本人観光客の二次交通に対するニーズ

沖縄県への日本人旅行者のニーズとしては、利便性、渋滞があげられているが、北部地域に絞ると利便性に加え、バス停やタクシー乗り場、周辺散策のための移動手段といった回答が他のエリアを上回る



日本人の将来人口

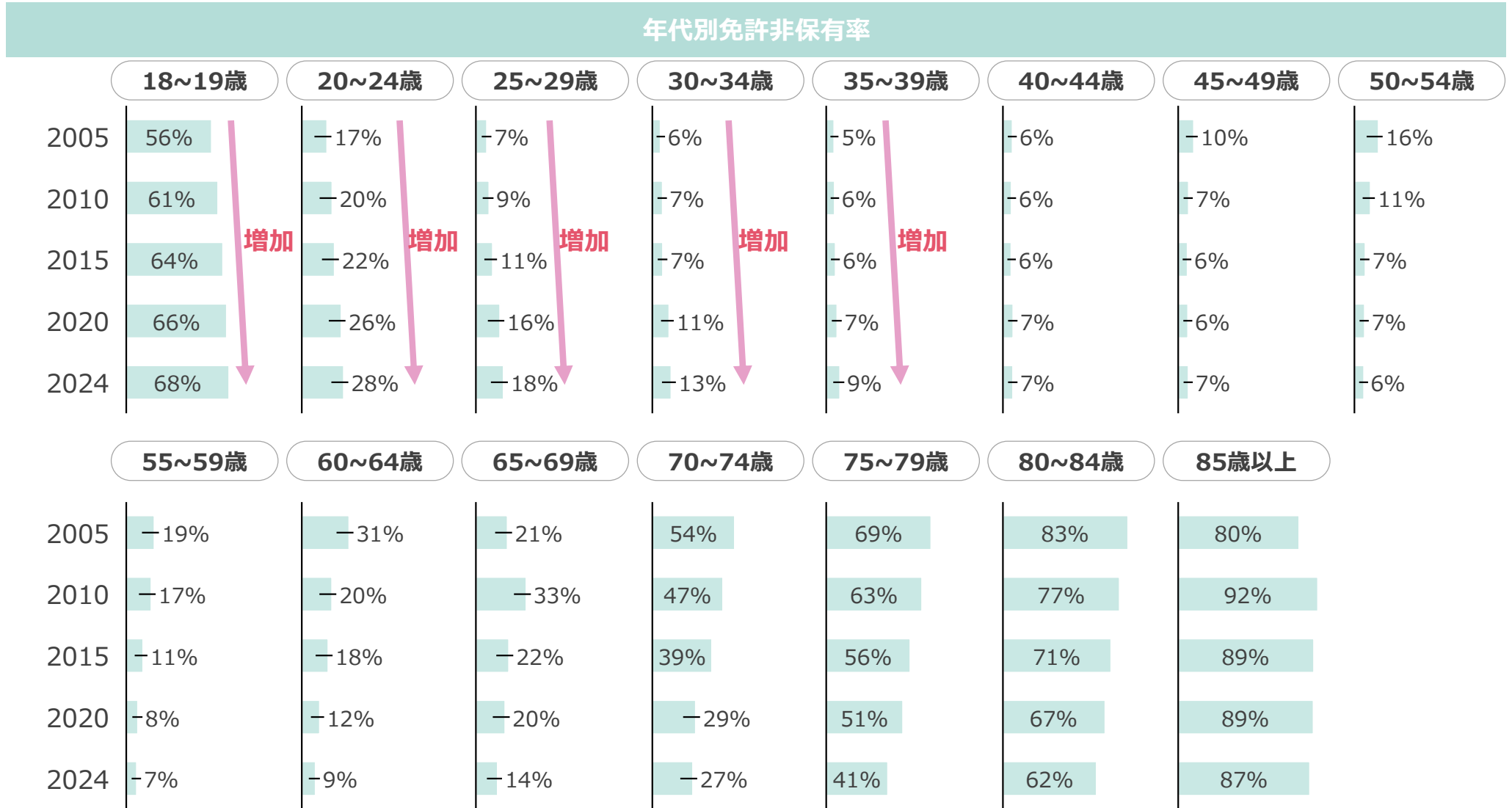
日本の将来推計人口をみると、2055年には総人口が約1億人となり2020年から20%減少、2070年には2020年から31%減少し、65歳以上が39%を占める見通し



②沖縄の観光来訪状況

年齢別免許非保有状況

なお、日本人の免許非保有率は39歳以下の年齢層すべてで増加傾向



出所：免許非保有率 = 1 - (免許保有者数 / 人口) で算出
 <免許保有者数> 運転免許統計 (警視庁) <人口> 人口推計 各年10月1日現在人口 (総務省)

②沖縄の観光来訪状況

北部12市町村別延べ来訪者数（2024年）

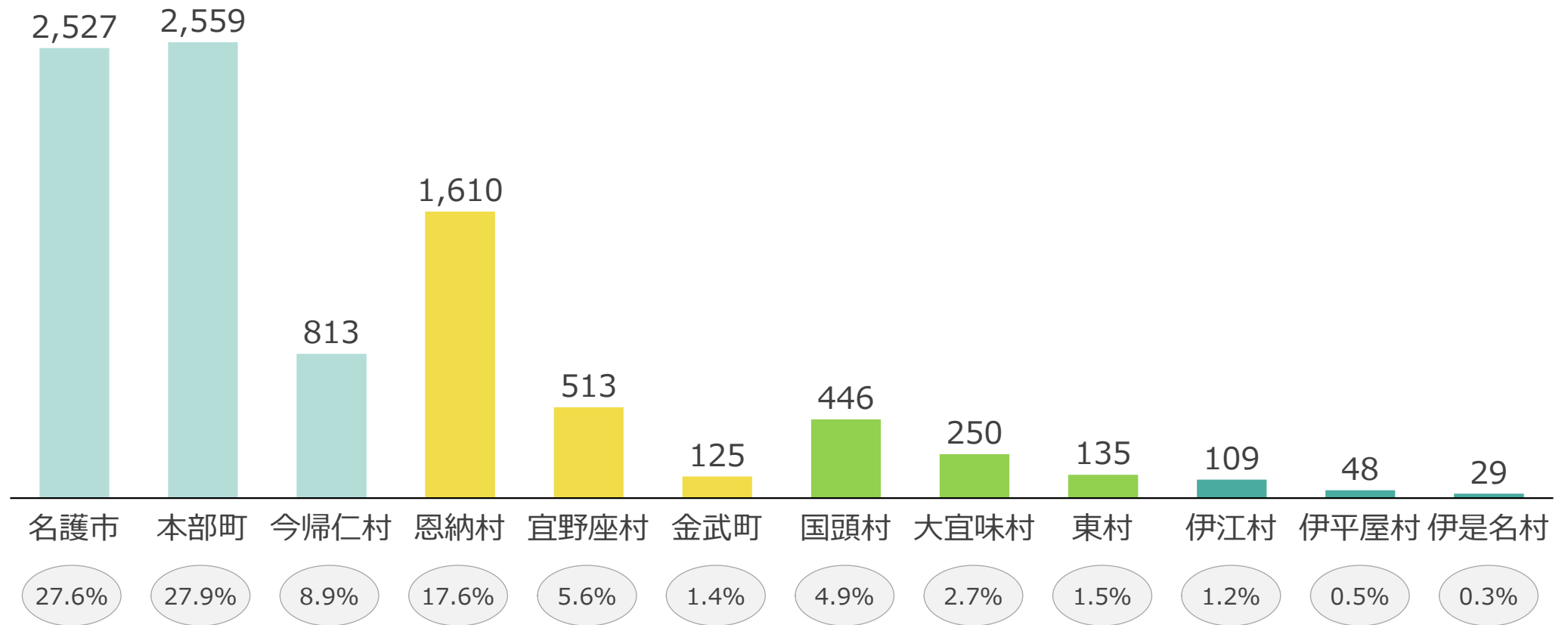
デジタル観光統計オープンデータによる来訪者数をみると、沖縄県全体では32,097千人の来訪があり、北部12市町村合計では9,164千人（ただし北部12市町村の合計値は同一人物が複数市町村を訪れていた場合にダブルカウントされるため、算出不可）

北部地域の市町村別の来訪者数をみると、最も多いのは本部町で2,559千人で、次いで名護市が2,527千人、恩納村が1,610千人

2024年

(単位：千人)

沖縄県全体：32,097千人



②沖縄の観光来訪状況

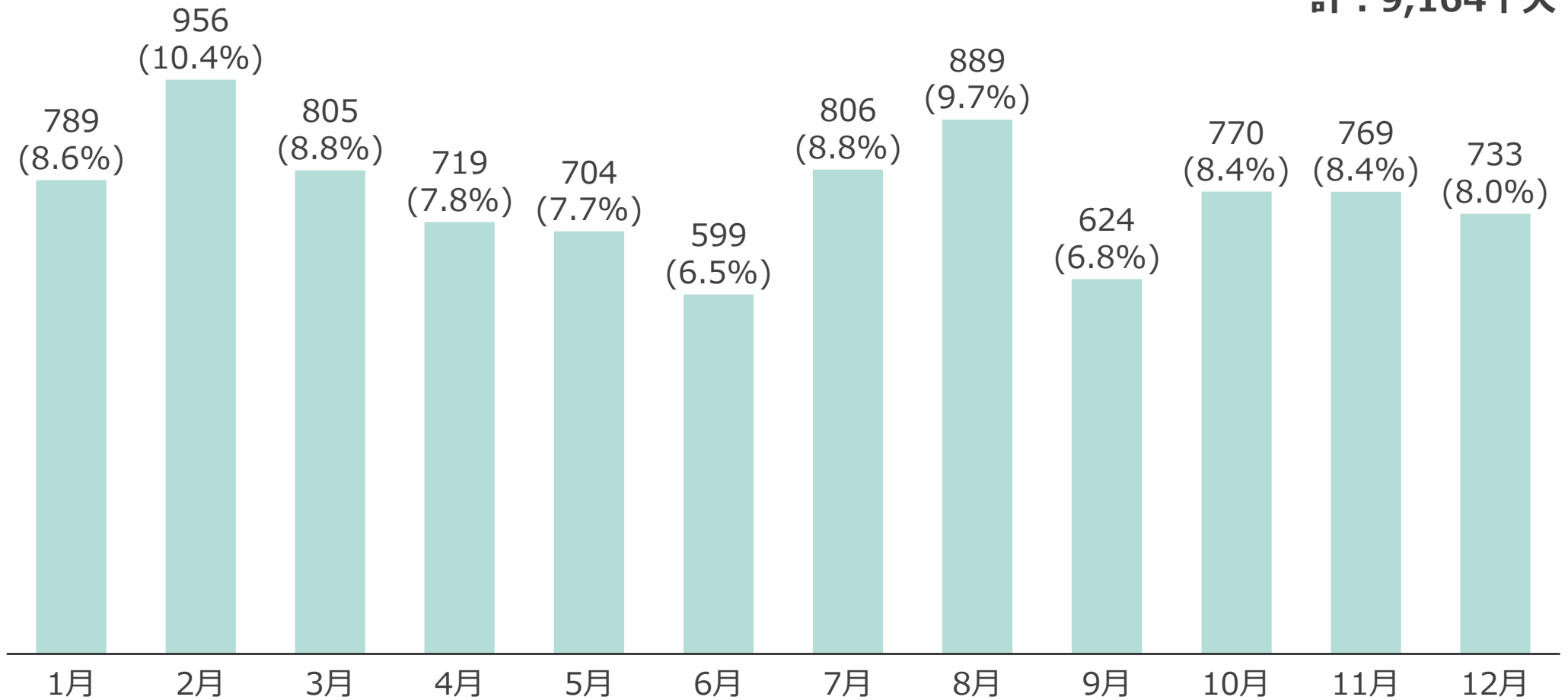
北部12市町村への月別延べ来訪者数（2024年）

北部地域の月別来訪者数をみると、最も多いのは2月で956千人で年間合計の10.4%を占める。次いで8月で889千人で9.7%を占める

2024年

(単位：千人)

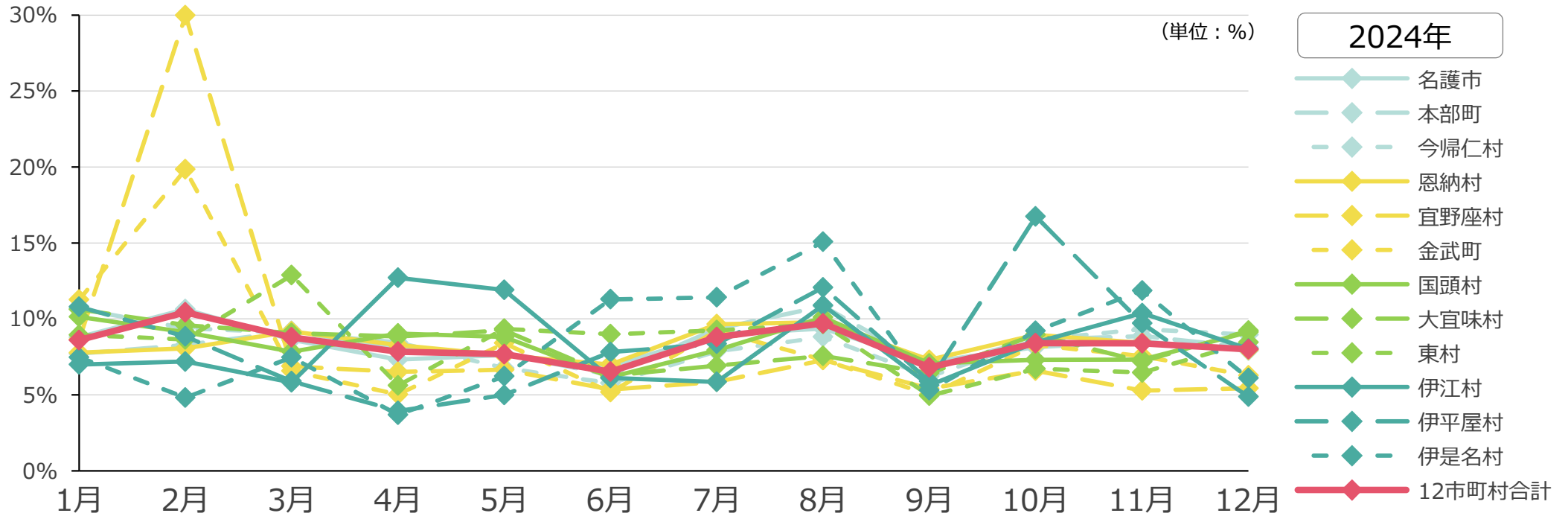
計：9,164千人



②沖縄の観光来訪状況

北部12市町村への月別観光客数の構成比（2024年）

阪神キャンプ開催地である宜野座村と、隣接している金武町では2月の来訪者の構成比が高くなる



	名護市	本部町	今帰仁村	恩納村	宜野座村	金武町	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	伊平屋村	伊是名村	12市町村合計
2024年1月	8.8%	7.7%	10.7%	7.8%	8.7%	11.3%	10.1%	10.6%	9.0%	7.0%	10.8%	7.5%	8.6%
2024年2月	10.6%	8.3%	9.4%	8.1%	30.0%	19.8%	9.1%	9.6%	8.7%	7.2%	8.9%	4.8%	10.4%
2024年3月	8.6%	9.2%	9.1%	9.2%	6.9%	6.6%	7.8%	9.1%	12.9%	5.8%	5.9%	7.5%	8.8%
2024年4月	7.3%	8.0%	8.5%	8.3%	6.5%	5.0%	9.0%	8.8%	5.6%	12.7%	3.9%	3.7%	7.8%
2024年5月	7.6%	7.7%	6.8%	7.6%	6.7%	8.4%	8.8%	9.3%	9.4%	11.9%	5.0%	6.2%	7.7%
2024年6月	6.9%	6.3%	5.8%	7.0%	5.4%	5.2%	6.2%	6.3%	9.0%	6.1%	7.8%	11.3%	6.5%
2024年7月	9.0%	9.4%	7.9%	9.7%	5.9%	9.2%	7.9%	6.9%	9.3%	5.9%	8.4%	11.4%	8.8%
2024年8月	9.4%	10.8%	8.8%	9.8%	7.3%	7.3%	10.1%	7.6%	9.7%	10.9%	12.1%	15.1%	9.7%
2024年9月	7.2%	6.9%	6.2%	7.3%	5.4%	5.0%	7.1%	6.4%	4.9%	5.6%	5.9%	5.3%	6.8%
2024年10月	8.1%	8.6%	8.6%	9.0%	6.6%	8.3%	7.3%	9.0%	6.7%	8.5%	16.7%	9.2%	8.4%
2024年11月	8.5%	8.9%	9.3%	8.4%	5.3%	7.6%	7.3%	7.2%	6.5%	10.4%	9.7%	11.9%	8.4%
2024年12月	7.9%	8.1%	9.0%	8.0%	5.4%	6.3%	9.1%	9.2%	8.5%	8.0%	4.9%	6.1%	8.0%

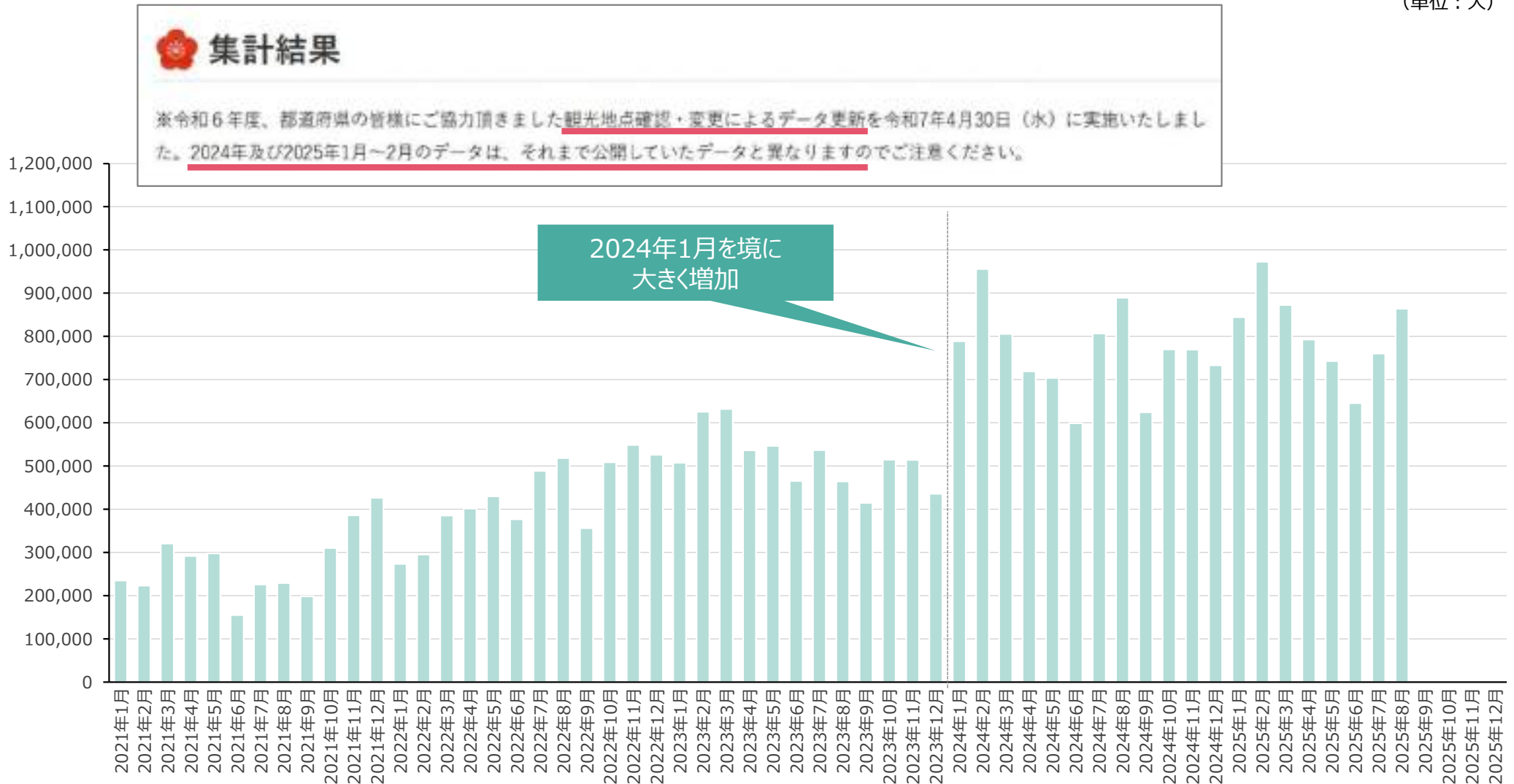
出所：デジタル観光統計オープンデータ（2024.1-12、日本観光振興協会）※日本国内に居住する者で観光目的（＝観光地点来訪、ただし、通勤目的を除く）のため、日常生活圏以外の34観光地点を訪れた者を観光来訪者と、1人の観光来訪者が一日のうちに当該都道府県あるいは当該市町村内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人とカウント

②沖縄の観光来訪状況

<参考>デジタル観光統計オープンデータについて

2024年1月以降のデータは、観光地点の鉛鋳が行われており、来訪者数も大きく増加している。そのため、2023年以前のデータとの比較はできないことに留意

(単位：人)



主要論点

アプローチ

1 観光市場の現状	1 観光市場の 現況	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 	
	2 沖縄の観光 来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 		
2 北部地域の 観光の現状	供給面	1 観光資源と 観光資源別の 来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握
		2 北部地域の 観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 	
		3 体験事業者の 現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握
		4 宿泊事業者の 現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 	
	需要面	5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握
3 北部地域 における交通の現状		1 交通・道路状況 の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握
		2 観光客の交通に 対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握

主要論点

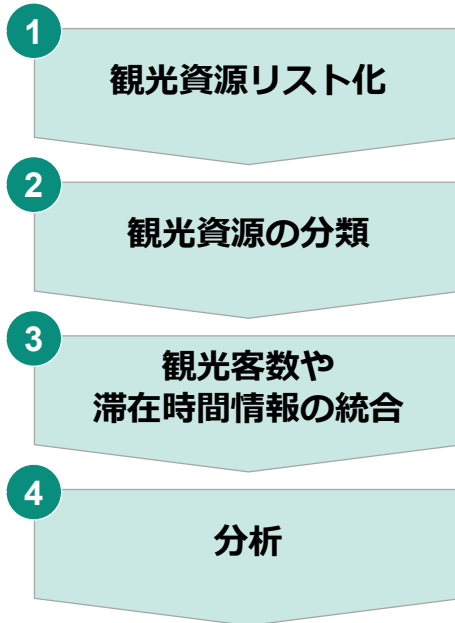
アプローチ

		主要論点	アプローチ		
1 観光市場の現状	1 観光市場の現状	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 		
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 			
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握 	
		2 北部地域の観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 		
		3 体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握
		4 宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 		
		5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうか？ 		
3 北部地域における交通の現状	需要面	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握 	
		2 観光客の交通に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 		<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握

北部地域の観光資源の分析のステップ

下記の4つのステップから北部地域の観光資源の分析を実施した

概要



- ウェブサイト、各種資料より観光資源の情報を一覧化（緯度経度データ等も付与）
- 全国観光資源台帳に記載のある分類に応じて、北部地域の観光資源を分類
- KDDIロケーションアナライザー*の緯度経度情報より観光客数や滞在時間の情報を付与
- 観光資源分類や所在によって観光客の偏りや滞在時間に偏りがあるか？を分析

*auスマートフォン契約者のうち、位置情報の利用許諾を得たユーザーのGPS位置情報データや契約情報に基づく性別/年代を使用して属性や居住地別に来訪者数を抽出できるツールであり、あくまでサンプル調査から国勢調査における市町村ごとの性・年代別人口を比較し、拡大された数値である。各観光資源に設定したジオフェンス内に15分以上滞在していた人のうち、ジオフェンス内に居住・勤務していない人を対象とした来訪者数を掲載。

北部地域の観光資源の分析にあたって

北部地域の観光資源の分析にあたって、市町村から照会をかけて作成した197の資源を財団法人日本交通社の全国観光資源台帳の分類にあてはめた

	分類	内容	代表的な具体例
1	山岳	山頂・山腹・麓までを含む山岳景観	富士山、穂高岳など
2	高原・湿原・原野	名前付きの高原・湿原・原野	霧ヶ峰高原、尾瀬湿原
3	湖沼	名称がある湖や沼	十和田湖、琵琶湖
4	河川・峡谷	河川および峡谷景観	黒部峡谷、保津川
5	滝	名称のある滝	華厳の滝、那智の滝
6	海岸・岬	砂浜・砂丘・断崖・海中景観含む海岸線	三陸海岸、鳥取砂丘
7	岩石・洞窟	地質学的要素の強い岩石・洞窟	秋芳洞、青の洞窟（沖縄）
8	動物	日本固有種や著名な動物の生息地	屋久島のヤクシカなど
9	植物	名木・巨樹・森林・植物帯など	白神山地のブナ林
10	自然現象	気象現象・火山現象など	流氷（オホーツク海）、不知火（熊本）
11	史跡	古代～近代の遺跡（城跡以外）	吉野ヶ里遺跡、関所跡
12	神社・寺院・教会	歴史・建築価値の高い宗教施設	清水寺、明治神宮
13	城跡・城郭・宮殿	城跡・城郭・宮殿	姫路城、首里城
14	集落・街	歴史的街並み・繁華街など	白川郷、祇園、新宿
15	郷土景観	産業・風習・生業が形づくる景観	棚田、朝市（輪島朝市）
16	庭園・公園	作庭された庭園・公園	兼六園、六義園
17	建造物	橋・塔・近代建築など	東京タワー、赤レンガ倉庫
18	年中行事（祭り・伝統行事）	地域に根付いた祭礼・行事	祇園祭、ねぶた祭
19	動植物園・水族館	動植物の展示施設	旭山動物園、海遊館
20	博物館・美術館	歴史・科学・美術資料を展示	東京国立博物館、大原美術館
21	テーマ公園・テーマ施設	特定テーマを体験する施設	USJ、ハウステンボス
22	温泉	温泉浴ができる施設・源泉地	草津温泉、別府温泉
23	食	地域の食文化や食事環境	寿司、讃岐うどん、郷土料理
24	芸能・興行・イベント	文化的な芸能・興行・スポーツ	能楽、相撲、ライブイベント

北部地域の観光資源の全国観光資源台帳への適用例

下記の適用例のように北部地域の観光資源を全国観光資源台帳の分類にあてはめた

分類	適用例
海岸・岬	・ ビーチ／浜／岬／海岸／湾／万座毛／（沖縄語）バンタ等を含む施設（例 真栄田岬、万座ビーチ、塩屋湾）
滝	・ 轟の滝、比地大滝など「滝」を含む名称。
岩石・洞窟	・ 洞／洞窟／洞穴／ロック／岩座／末尾が「岩」等（例ニヤティヤ洞、ハートロック、虎頭岩）。
植物	・ 名木／巨樹／並木／フクギ／サキシマスオウ／平松／クバ、*ヒルギ（マングローブ）*等（例備瀬のフクギ並木、慶佐次湾ヒルギ林）。
山岳	・ 末尾が「山」「岳」「峰」の名称（例多野岳、城山）。
庭園・公園	・ 「公園／緑地／広場」を含む造成公園（例八重岳桜の森公園、リリーフィールド公園）。
建造物	・ 橋／大橋／展望台／タワー／ダム／会館／大学／庁舎／ターミナル／モニュメント／住宅／サービスエリア等（例古宇利大橋、嵐山展望台、万国津梁館、伊芸SA）。
神社・寺院・教会	・ 社寺・御嶽（例*アスムイ（安須森御嶽）*を含む名称）。
城跡・城郭・宮殿	・ 「城跡／グスク」を含む名称（例今帰仁城跡）。
史跡	・ 「...跡」一般、王家陵墓等の歴史遺構（例伊是名玉御殿、公益質屋跡）。
博物館・美術館	・ 博物館／美術館／資料館／民俗館／自然館（例東村立 山と水の生活博物館、やんばるの森おもちゃ美術館）。
動植物園・水族館	・ 動物園／水族館／「生態展示」「...の森（動物）」等（例沖縄美ら海水族館（海洋博公園）、ヤンバルクイナ生態展示学習施設、植物園名の「...園」）。
テーマ公園・テーマ施設	・ テーマ／体験／ビジターセンター／工房・工芸／酒造・蒸留所／○○パーク／ランド／ゴルフ／タラソ／「...の里」等（例琉球村、オリオンハッピーパーク、ナゴパイナップルパーク、JUNGLIA OKINAWA）。
郷土景観*	・ 市場／直売／物産／マルシェ／道の駅／共同売店／商店／港／プロムナード等、生業・風俗・“道”や市場など人の営みの風景（例おんなの駅 なかゆくい市場、道の駅許田、本部港・運天港）。

*財団法人日本交通公社は「市場は郷土景観」「道は郷土景観」と明記。出所：財団法人日本交通公社より作成

①観光資源と観光資源別の来訪状況

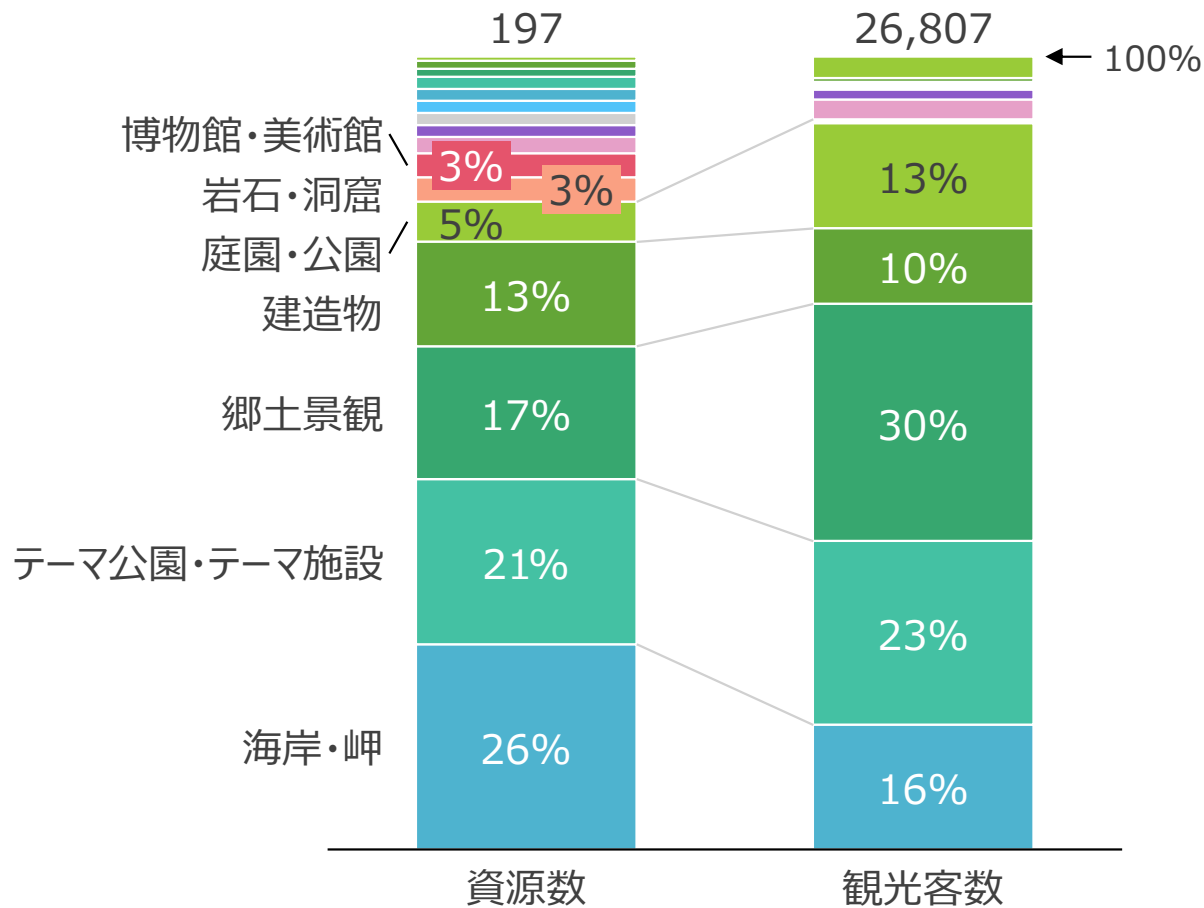
北部地域における観光資源の分類別資源数

全197の資源のうち、海外・岬が51を占め、テーマ講演・テーマ施設が41で次ぐ

	本部町	名護市	伊是名村	恩納村	伊平屋村	今帰仁村	国頭村	大宜味村	伊江村	金武町	東村	宜野座村	総計
海岸・岬	5	7	7	14	3	2	3	2	2	3	1	2	51
テーマ公園・テーマ施設	5	7	3	7	2	2	3	4	3	1	2	2	41
郷土景観	8	4	1	1	6	5	2		2	1	2	1	33
建造物		4	3	1	2	5	1	5	1	3		1	26
庭園・公園	3		5				1		1				10
岩石・洞窟			1		3	1			1				6
博物館・美術館			1				2				2	1	6
植物	1				2						1		4
城跡・城郭・宮殿		1	1			1							3
動植物園・水族館	2						1						3
滝		1					1	1					3
山岳		1						1	1				3
史跡	1		1						1				3
河川・峡谷	1									1			2
神社・寺院・教会							1			1			2
集落・街										1			1
総計	26	25	23	23	18	16	15	13	12	11	8	7	197

分類別北部地域における観光資源数と観光客数の構成比比較

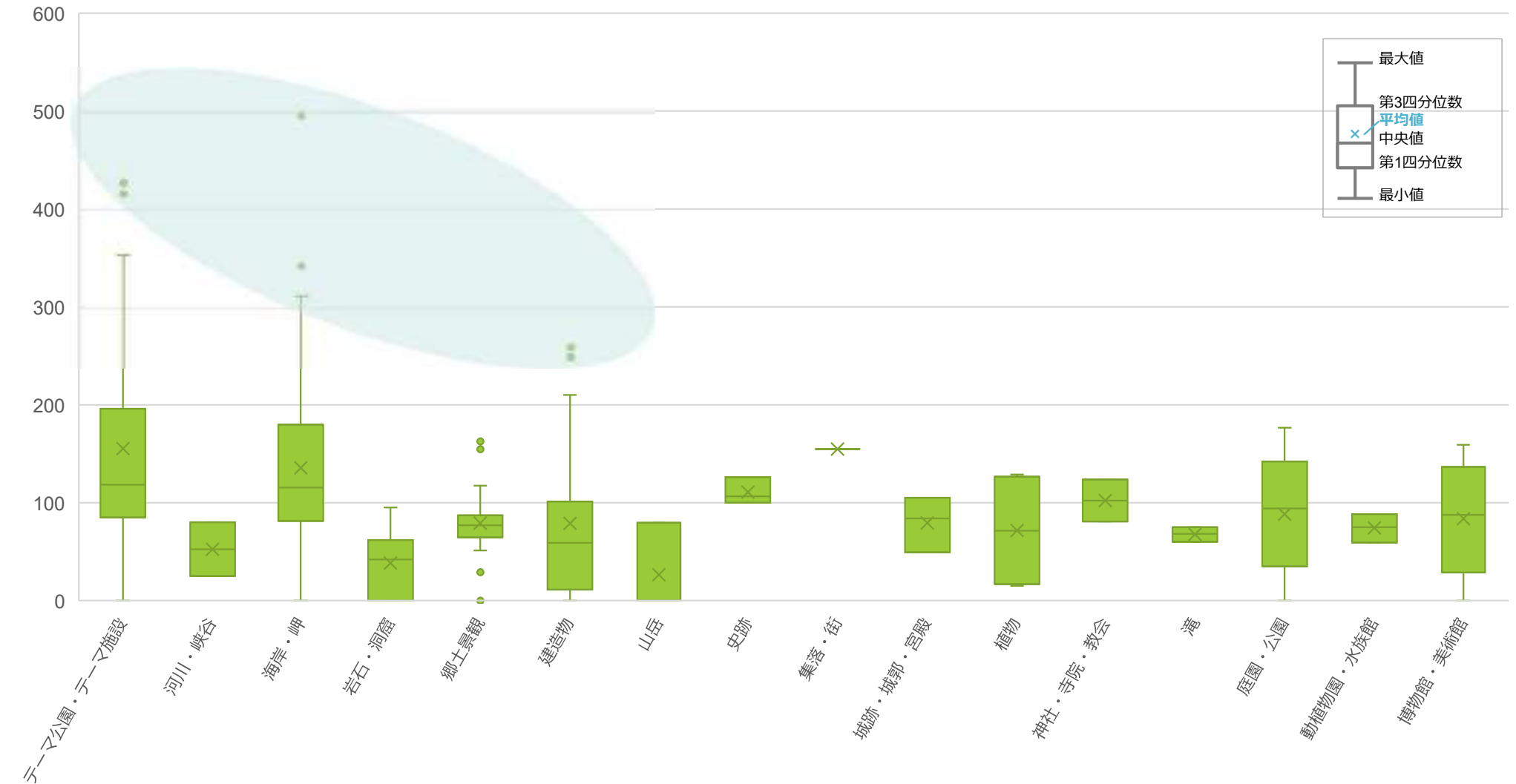
資源数別では海外・岬が26%を占めたものの1日あたりの観光客数では16%となる。郷土景観は資源数が少ないものの、観光客数では30%をしめている



北部地域における観光資源分類別平均滞在時間

テーマ公園・テーマ施設、海岸・岬、建造物において、平均滞在時間が4時間を超える資源が存在

平均滞在時間（単位：分）

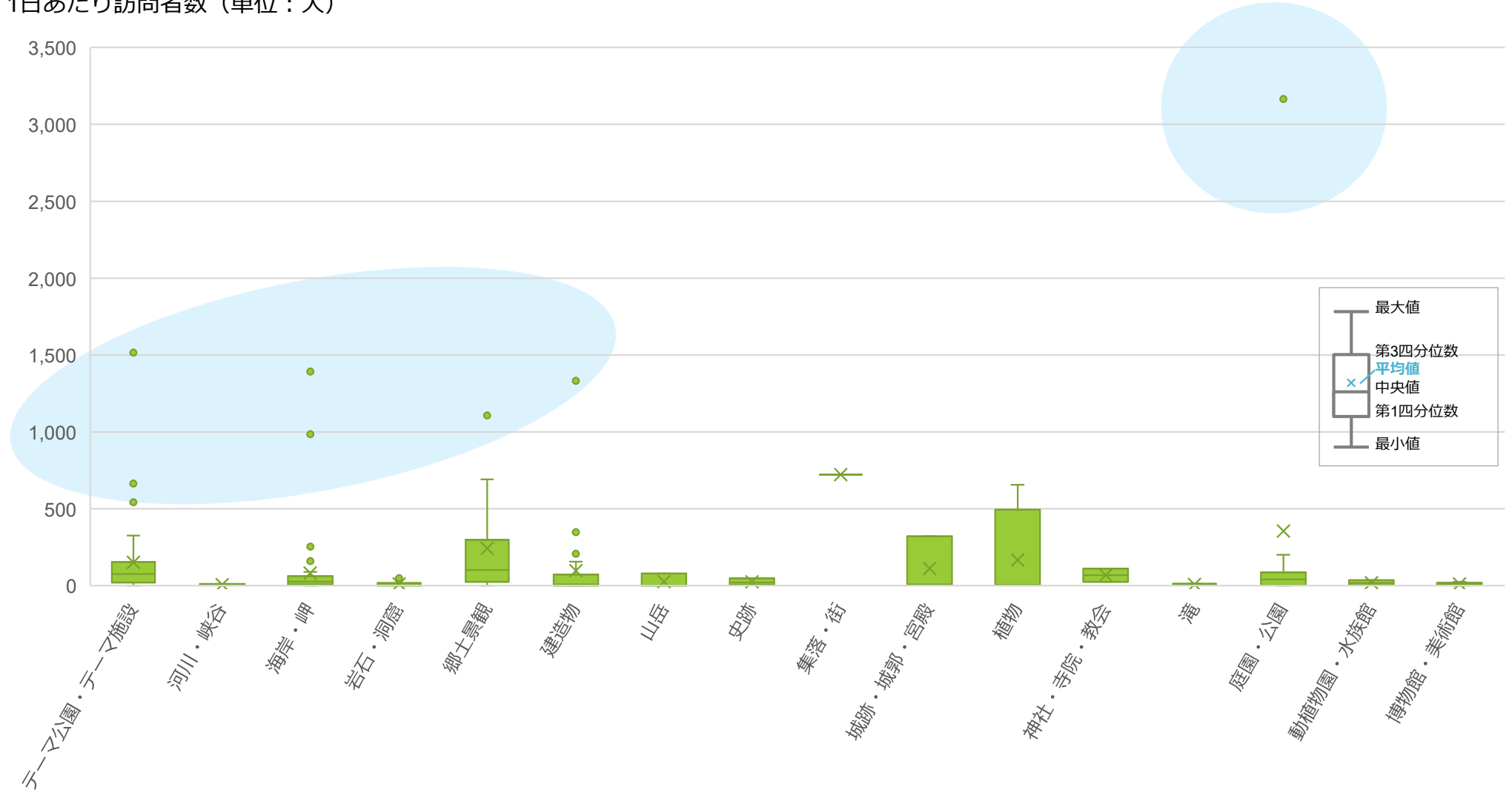


①観光資源と観光資源別の来訪状況

北部地域における観光資源分類別1日あたり訪問人数

訪問人数では、庭園・公園に1日3,000人を超す資源が存在するほか、テーマ公園・テーマ施設、海岸・岬、郷土景観、建造物にも1,000人以上を誘客する資源が存在

1日あたり訪問者数（単位：人）



①観光資源と観光資源別の来訪状況

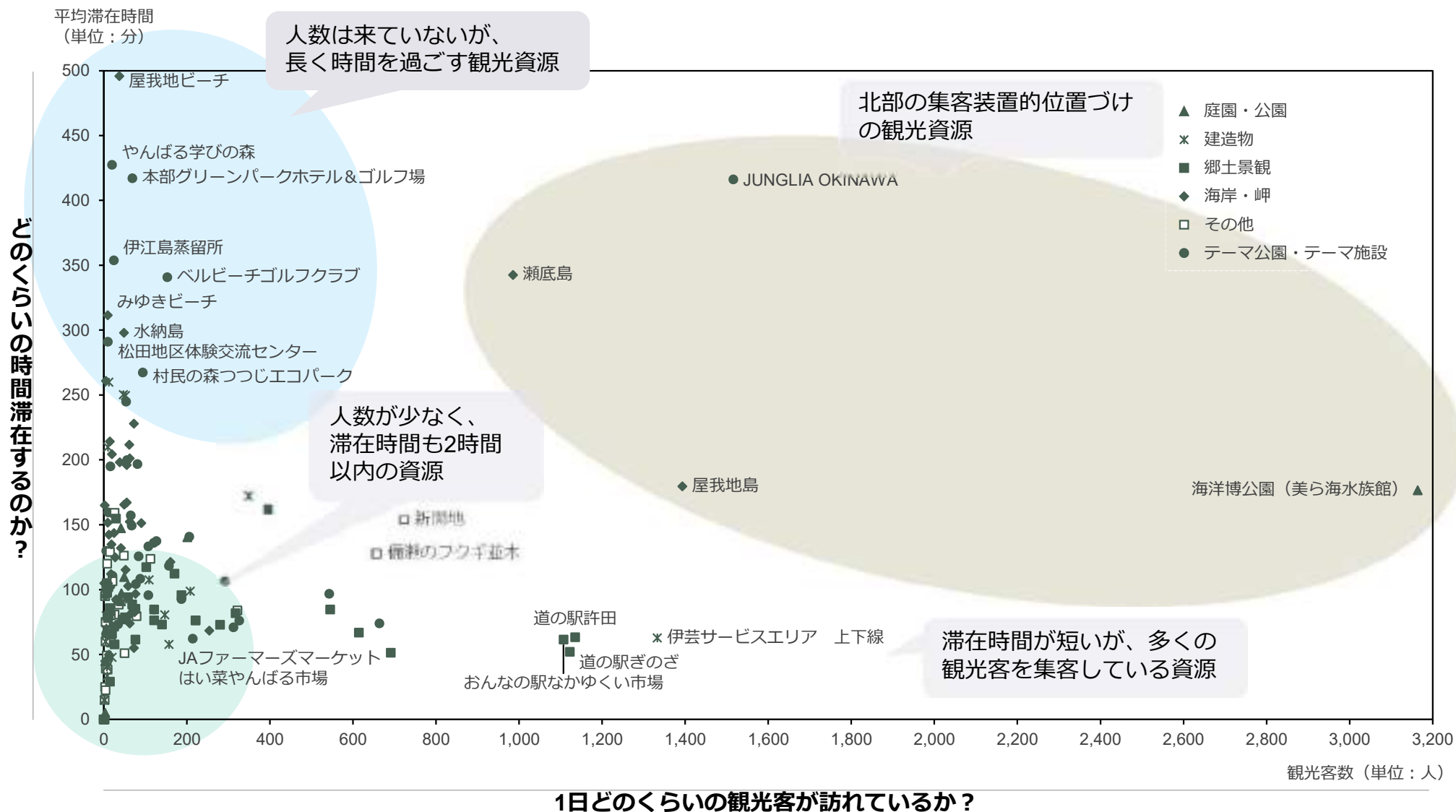
北部地域の観光客の分布

北部地域において観光客の多い観光資源は本部半島（名護市、本部町、今帰仁村）や恩納村の西海岸に集中しており、世界自然遺産のある国頭村、大宜味村や、宜野座村、金武町では北部地域全体でみて相対的に来訪者数は少ない



北部地域における観光資源毎の観光客数と平均滞在時間の関係性

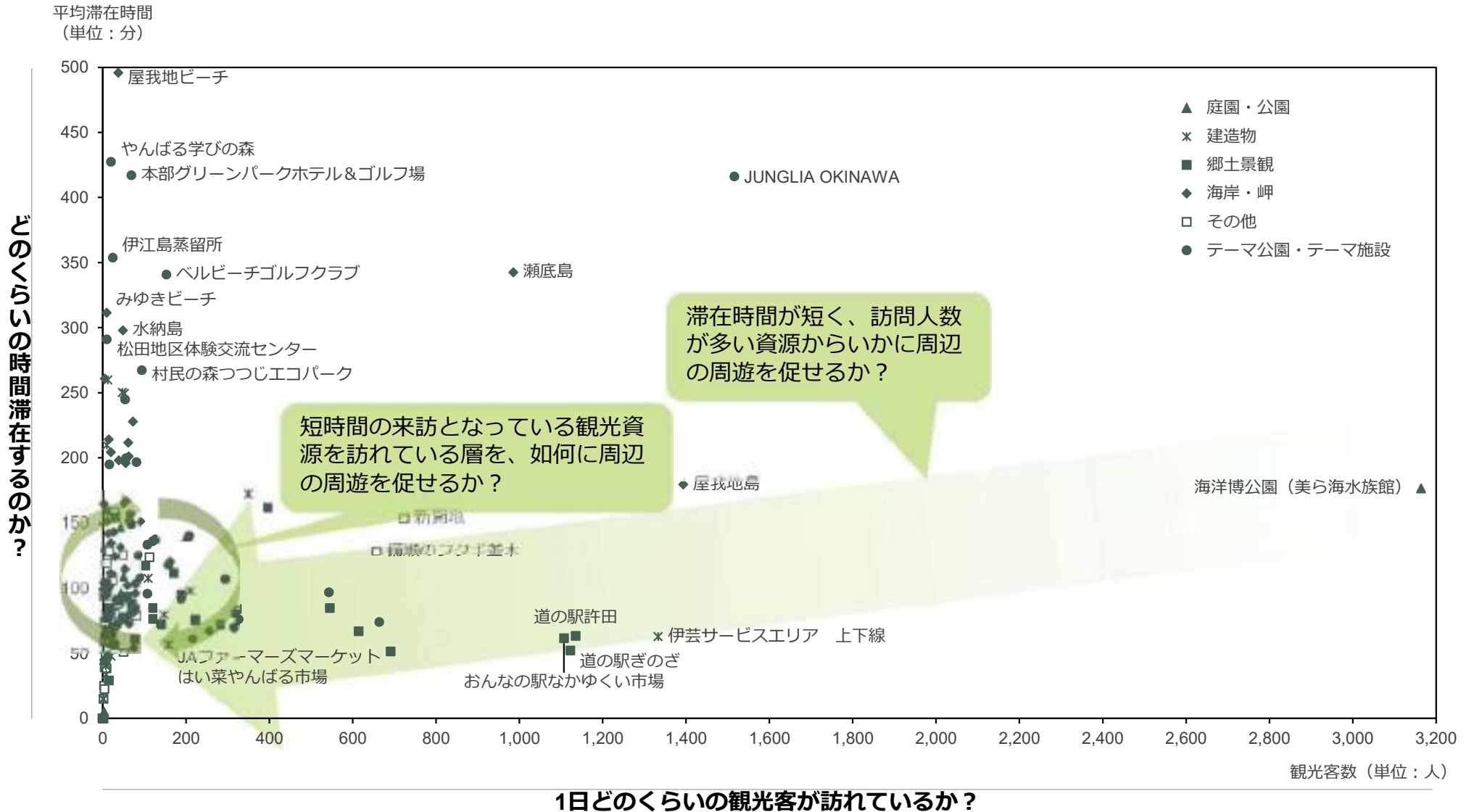
前段の訪問人数と平均滞在日数を散布図にプロットすると、多くが観光客が少なく滞在時間が2時間以内の観光資源であるが、観光客は少ないがゆっくり過ごす目的型の観光資源や、滞在時間は短いが多量の観光客を集客している資源も存在している



①観光資源と観光資源別の来訪状況

観光資源への訪問者数および滞在時間の関係性から見る観光周遊への示唆

北部地域を訪れる観光客の訪問地の特徴を把握した結果、“訪問者数が多く短時間滞在となっている資源”から、いかに周辺の周遊を促せるか？と訪問者数は少ないが短時間滞在の資源同士でいかに周遊を促すか？の2つの方向性が考えられる



主要論点

アプローチ

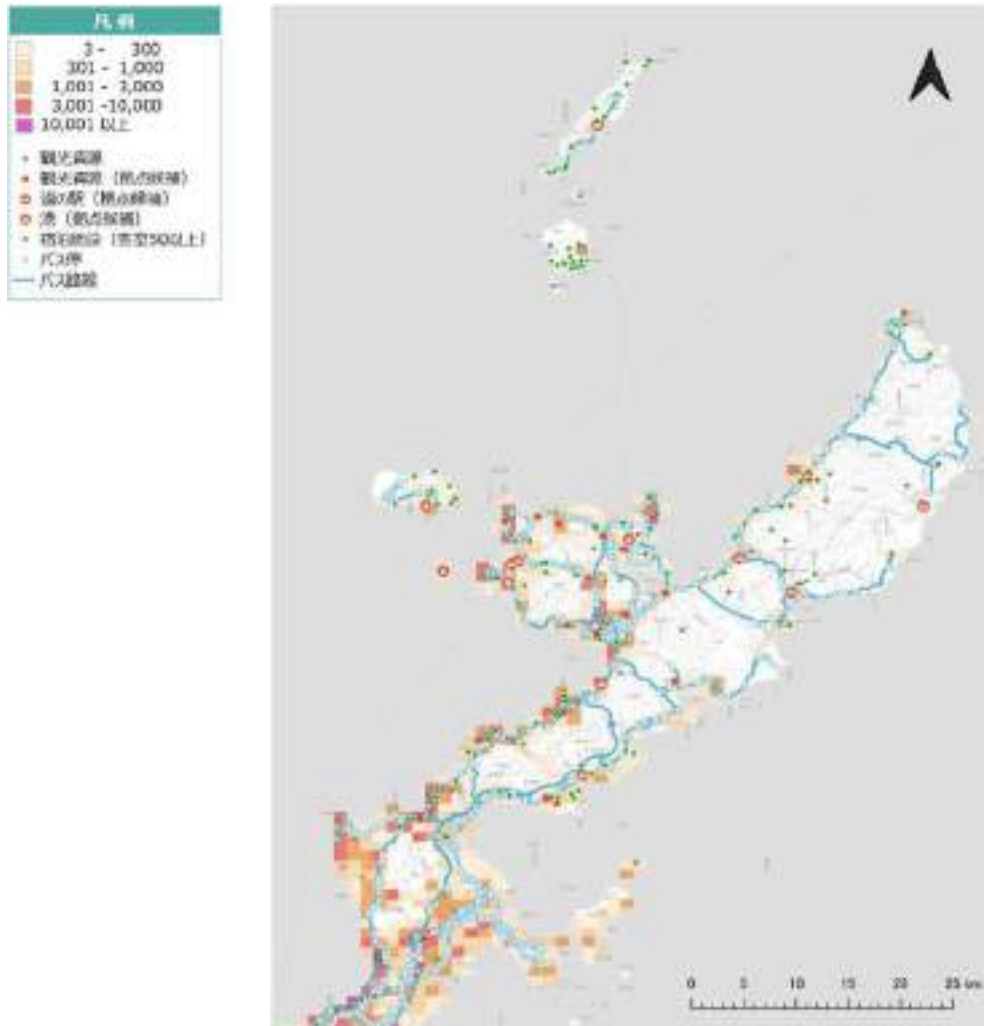
		主要論点	アプローチ	
1 観光市場の現状	1 観光市場の現状	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 	
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 		
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握 	
		2 北部地域の観光周遊状況		<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？
		3 体験事業者の現状		<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？
		4 宿泊事業者の現状		<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？
		5 観光客の現状		<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうなっているか？
3 北部地域における交通の現状	需要面	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握 	
		2 観光客の交通に対するニーズ		<ul style="list-style-type: none"> 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握
		<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握 	
		<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握 	

②北部地域の観光周遊状況

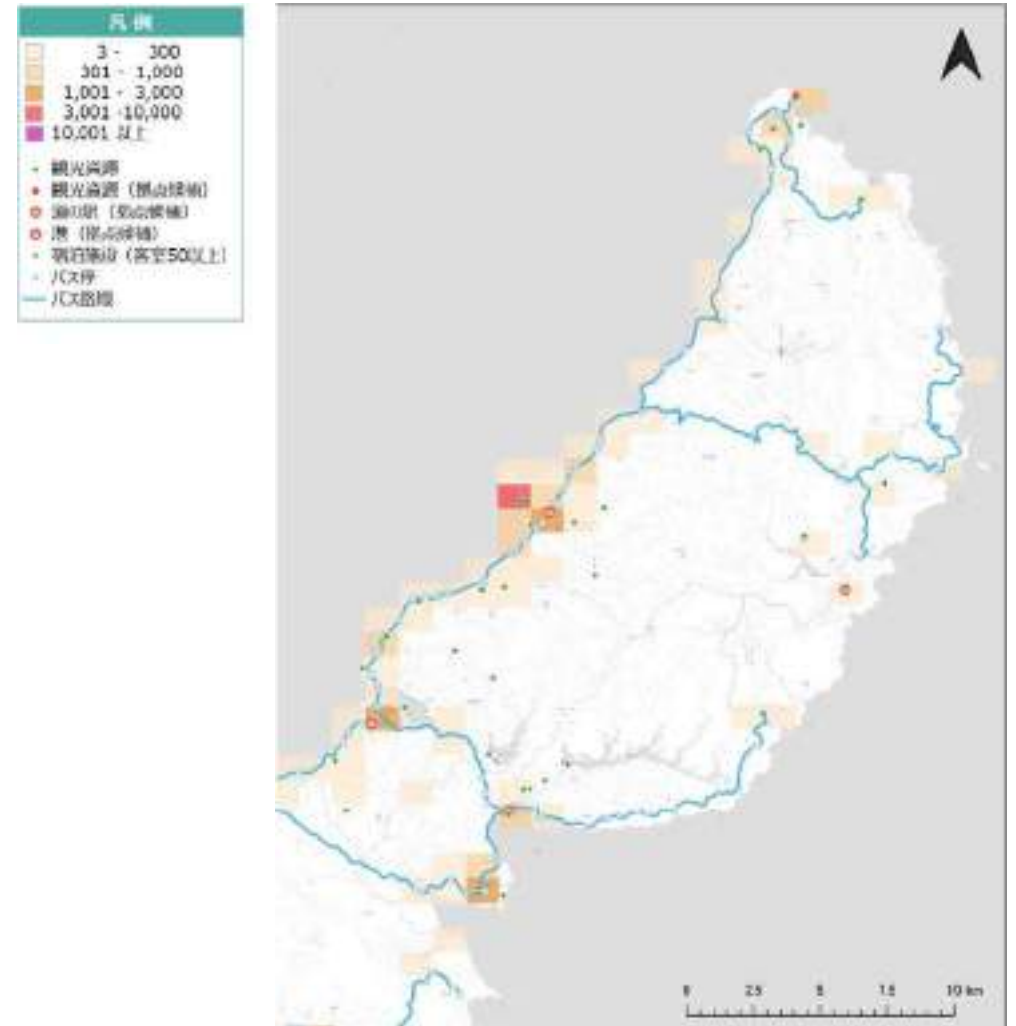
北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 滞在状況）

全体的に西海岸沿いに滞在が多い傾向にあるが、東海岸においても滞在が確認できる箇所が点在している

北部地域



国頭村・大宜味村・東村

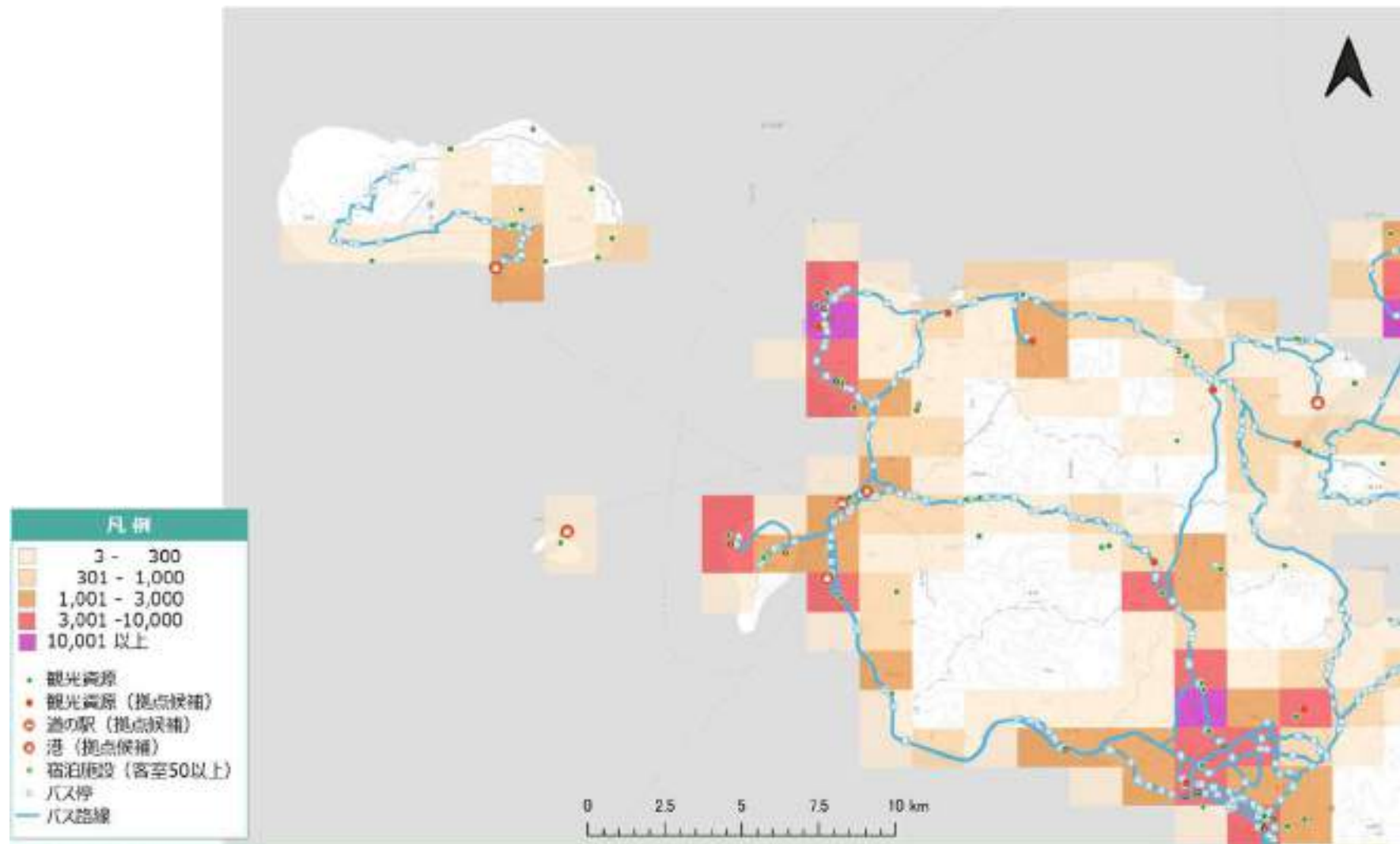


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 滞在状況）

本部町では、瀬底島や海洋博公園周辺に多く滞在されている。一方で、今帰仁村では、古宇利島や今帰仁城跡、JUNGLLIAに多く滞在されている。伊江村では、港をはじめ、周辺にも滞在されている様子が確認できる

本部町・今帰仁村・伊江村

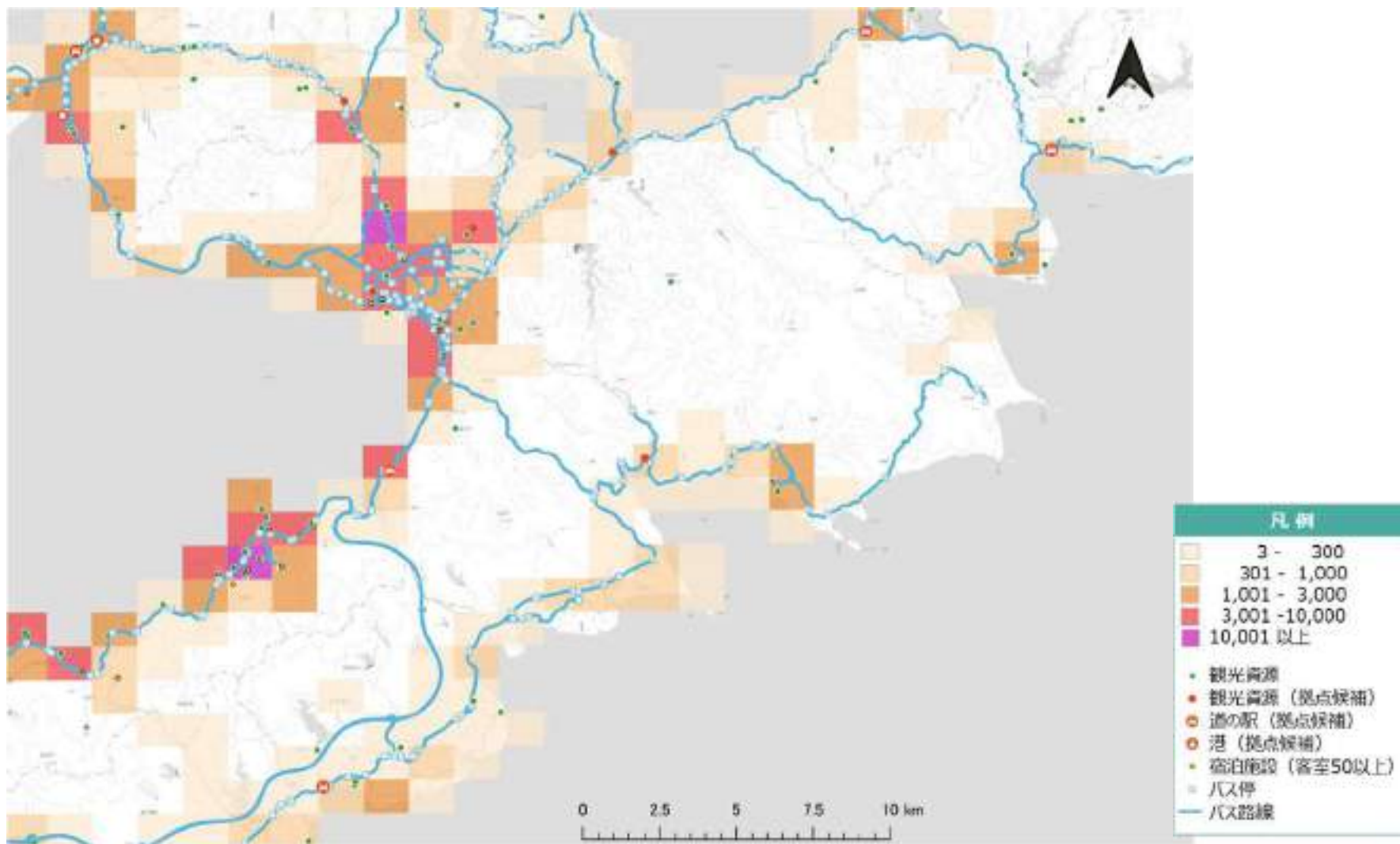


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 滞在状況）

名護市では、国道58号沿いや市街地、ナゴパイナップルパーク、ネオパークオキナワ、カヌチャリゾートに多く滞在が確認できる

名護市

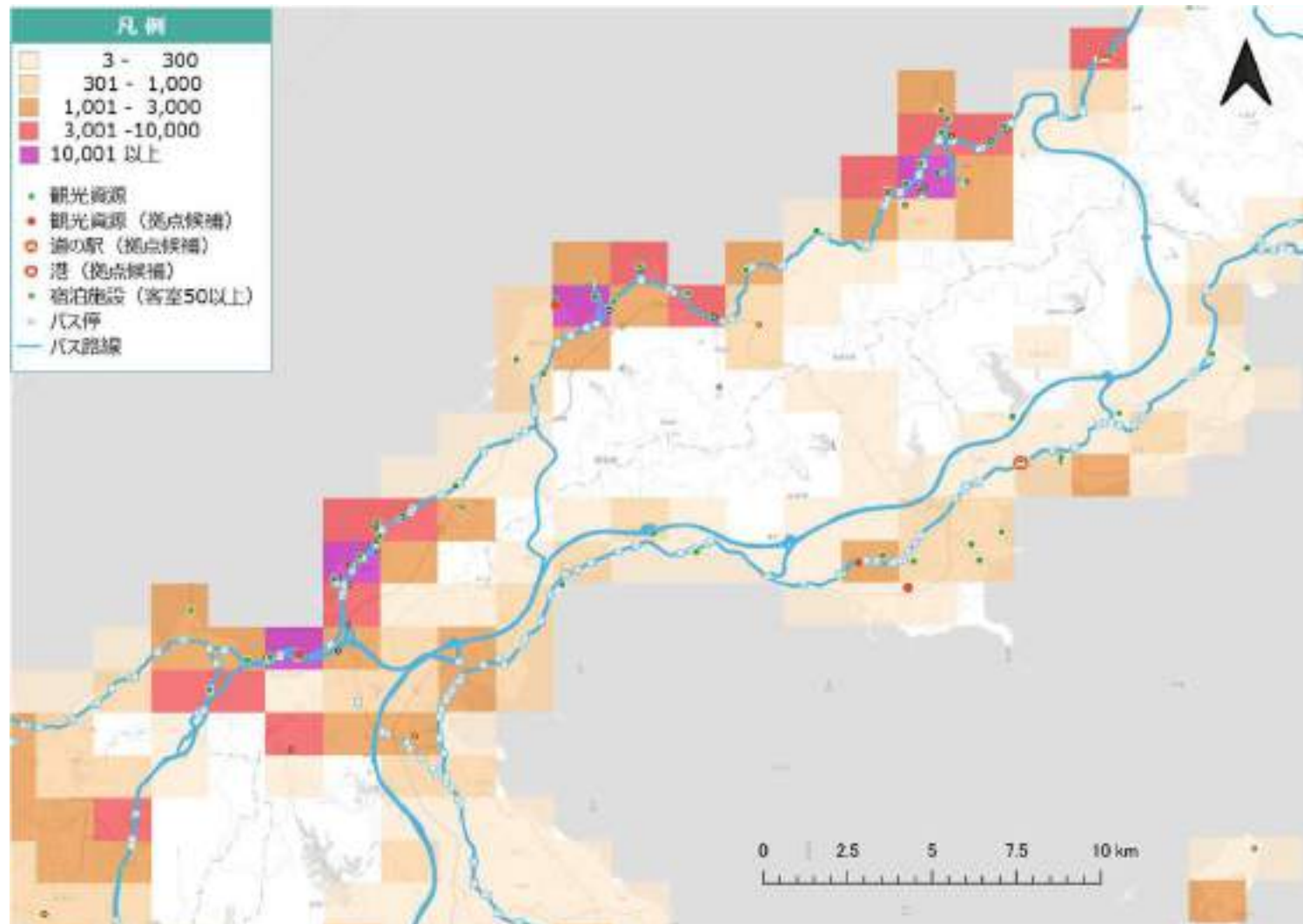


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 滞在状況）

恩納村では、西海岸沿いに滞在が多くみられる
金武町や宜野座村においても人数は少ないものの滞在が確認できる

恩納村・金武町・宜野座村

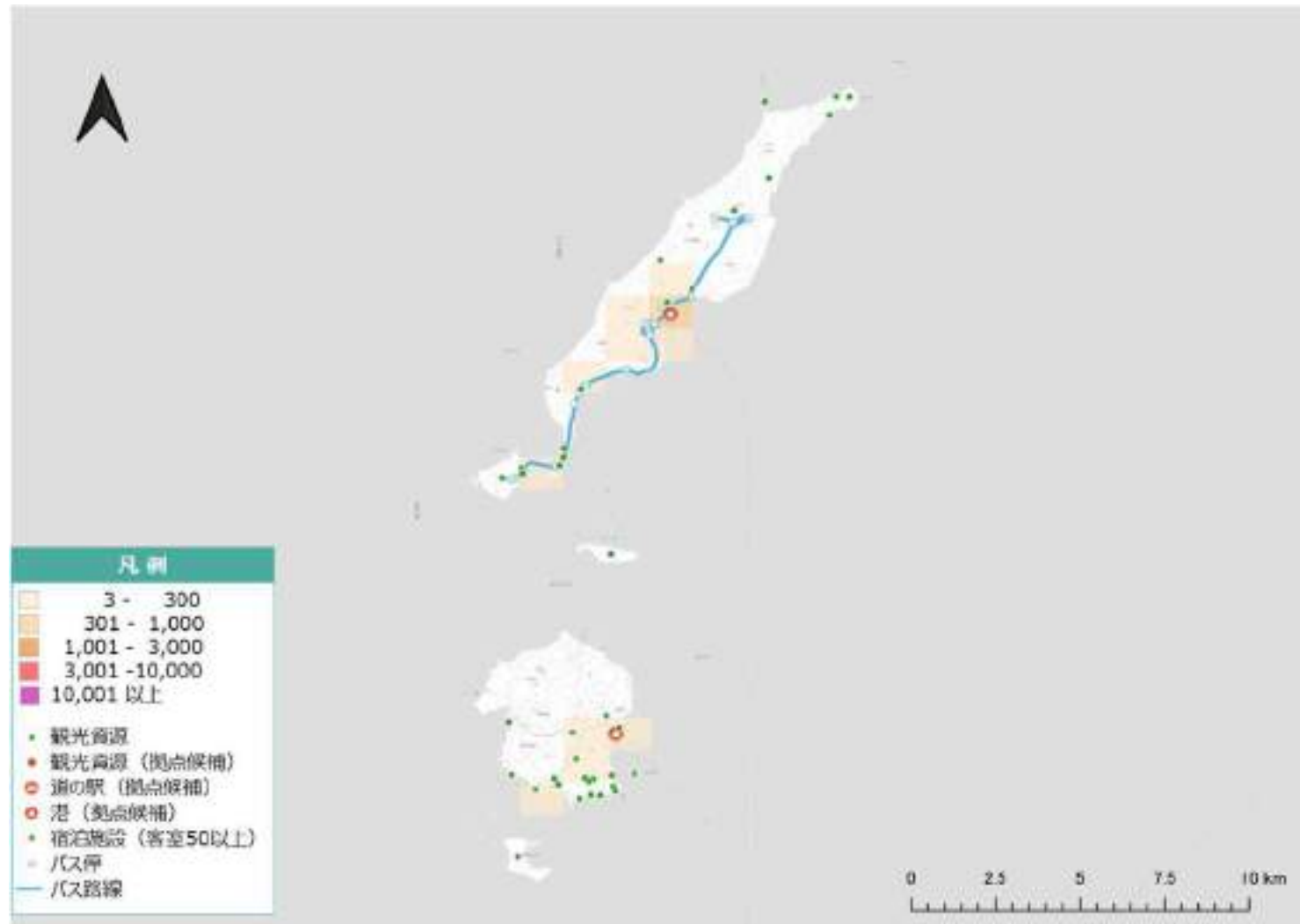


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 滞在状況）

伊平屋村・伊是名村では、滞在者が少ないものの滞在が確認できた

伊平屋村・伊是名村

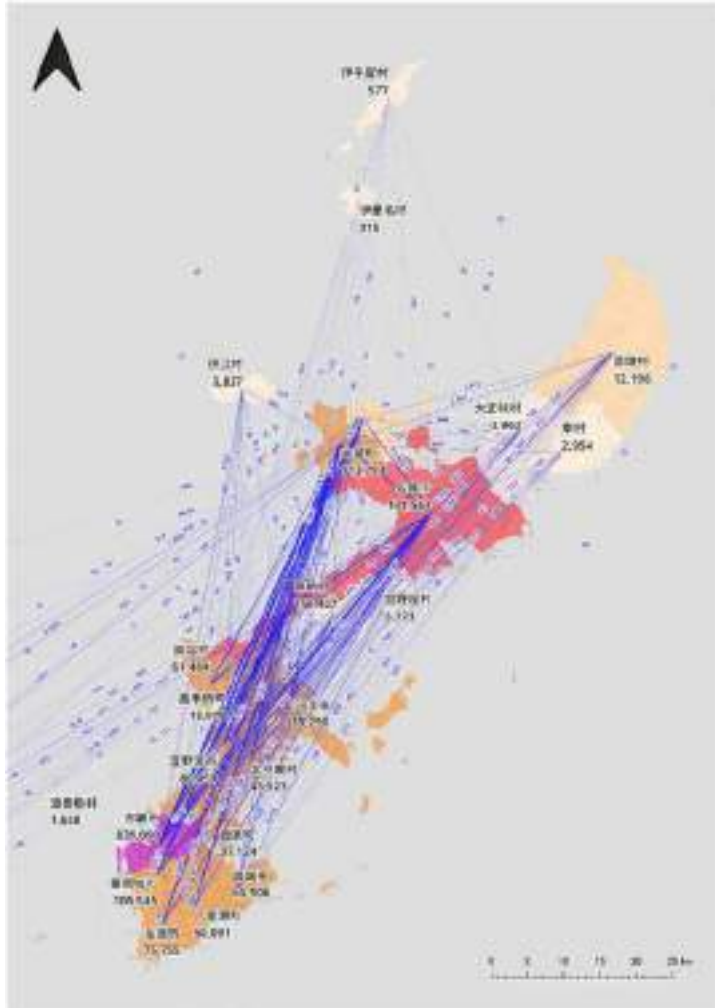


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 相関状況）

北部12市町村に関係する人の流れは那覇市を起点とした移動が大半を占める。特に、那覇市から本部町・恩納村・名護市への移動が上位に集中しており、北部観光は「那覇起点型」の構造が極めて強い

沖縄本島全域



No.	市町村間の移動		人日
1	本部町	那覇市	78,595
2	恩納村	那覇市	69,612
3	名護市	那覇市	56,937
4	恩納村	本部町	37,656
5	名護市	本部町	33,735
6	本部町	北谷町	33,444
7	恩納村	北谷町	30,031
8	名護市	恩納村	24,654
9	今帰仁村	那覇市	22,760
10	名護市	北谷町	21,656
11	本部町	豊見城市	20,246
12	本部町	糸満市	20,105
13	本部町	八重瀬町	17,526
14	恩納村	豊見城市	17,465
15	今帰仁村	本部町	16,375
16	恩納村	糸満市	15,918
17	名護市	豊見城市	14,772
18	恩納村	読谷村	13,990
19	恩納村	八重瀬町	12,905
20	本部町	読谷村	12,513

那覇起点型

- 那覇やレンタカーの受け取り返却に滞在たと思われる豊見城市から北部へのトラフィック

北部内移動

- 北部内でのトラフィック

近隣市町村観光地移動

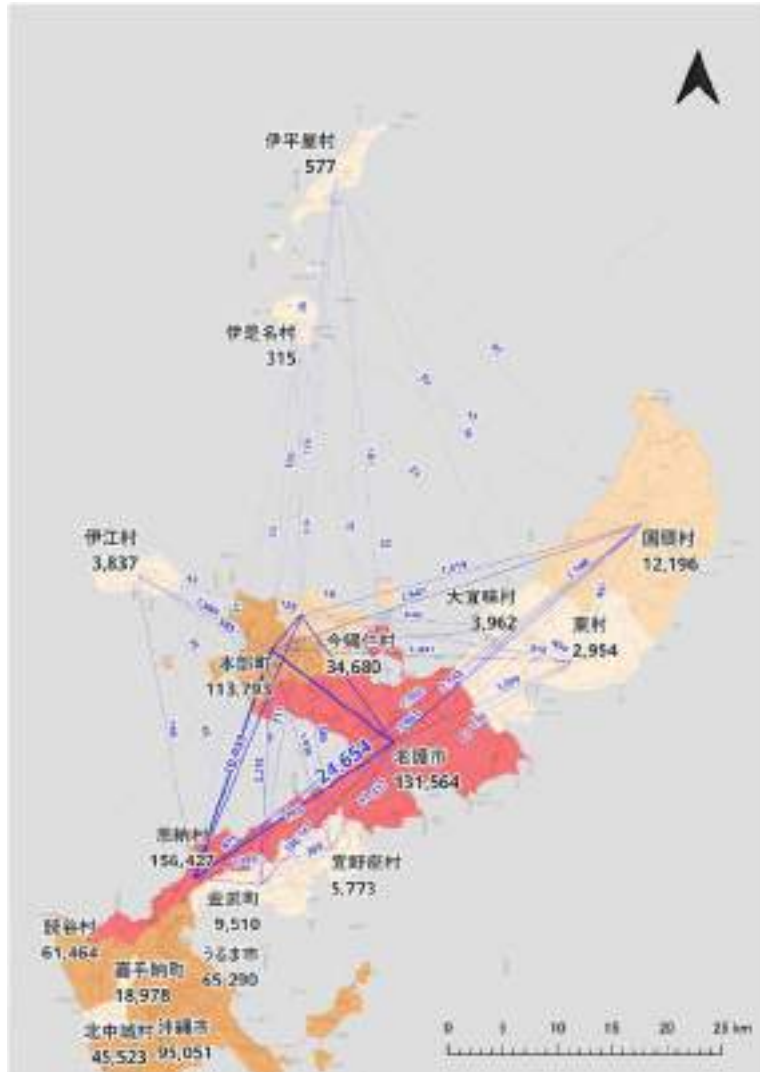
- 北谷や読谷といった集客資源のある地から北部へのトラフィック

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 関連状況）

北部地域内での移動は、一部の市町村間に集中しており、広域的な周遊は限定的である。本部町・恩納村・名護市を軸とした移動が中心であり、特定地域への訪問が主流となっている。北部内で複数市町村を連続的に回遊する動きは十分に形成されていない

北部地域



No.	市町村間の移動		人日
1	恩納村	本部町	37,656
2	名護市	本部町	33,735
3	名護市	恩納村	24,654
4	今帰仁村	本部町	16,375
5	今帰仁村	名護市	11,653
6	今帰仁村	恩納村	10,939
7	名護市	国頭村	3,461
8	国頭村	本部町	2,947
9	恩納村	金武町	2,426
10	本部町	金武町	2,218
11	名護市	金武町	2,212
12	名護市	大宜味村	2,142
13	国頭村	恩納村	1,702
14	伊江村	本部町	1,669
15	大宜味村	本部町	1,502
16	名護市	宜野座村	1,487
17	本部町	東村	1,441
18	今帰仁村	国頭村	1,419
19	名護市	東村	1,299
20	宜野座村	恩納村	1,259

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

名護市の滞在者の前後行程をみると、本部町、那覇市、恩納村など複数の市町村への立ち寄りが一定割合で確認される。特定市町村への一方向的な動きではなく、前後ともに複数先に分散しており、名護市が北部観光における回遊の結節点として位置づけられていることが伺える。国頭村の滞在者は、前後の行程で名護市や那覇市を訪問する割合が相対的に高く、立ち寄り先が一部の市町村に集中している。北部内での多様な回遊というよりも、主要地域と組み合わせさせた訪問が中心となっており、回遊の広がりには限定的である。

名護市：滞在者数 131,564人

名護市の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	本部町	19,808	15.1%
2	那覇市	13,907	10.6%
3	恩納村	12,253	9.3%
4	今帰仁村	6,530	5.0%
5	北谷町	4,126	3.1%
6	読谷村	2,258	1.7%
7	国頭村	1,773	1.3%
8	うるま市	1,439	1.1%
9	豊見城市	1,394	1.1%
10	浦添市	1,319	1.0%
11	沖縄市	1,122	0.9%
12	大宜味村	963	0.7%
13	宜野座村	754	0.6%
14	糸満市	654	0.5%
15	東村	636	0.5%

名護市の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	本部町	19,531	14.8%
2	那覇市	18,456	14.0%
3	恩納村	13,715	10.4%
4	今帰仁村	5,997	4.6%
5	北谷町	4,271	3.2%
6	読谷村	2,413	1.8%
7	国頭村	2,137	1.6%
8	うるま市	1,794	1.4%
9	豊見城市	1,251	1.0%
10	浦添市	1,232	0.9%
11	沖縄市	1,029	0.8%
12	大宜味村	937	0.7%
13	宜野座村	921	0.7%
14	糸満市	919	0.7%
15	東村	868	0.7%

国頭村：滞在者数 12,196人

国頭村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	2,137	17.5%
2	那覇市	1,257	10.3%
3	本部町	951	7.8%
4	大宜味村	576	4.7%
5	今帰仁村	507	4.2%
6	恩納村	291	2.4%
7	北谷町	244	2.0%
8	読谷村	193	1.6%
9	うるま市	157	1.3%
10	沖縄市	145	1.2%
11	豊見城市	113	0.9%
12	宜野湾市	111	0.9%
13	北中城村	101	0.8%
14	浦添市	93	0.8%
15	東村	89	0.7%

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	2,258	18.5%
2	那覇市	1,467	12.0%
3	本部町	1,183	9.7%
4	大宜味村	871	7.1%
5	今帰仁村	528	4.3%
6	恩納村	327	2.7%
7	北谷町	217	1.8%
8	読谷村	184	1.5%
9	うるま市	128	1.0%
10	沖縄市	105	0.9%
11	豊見城市	97	0.8%
12	宜野湾市	79	0.6%
13	北中城村	70	0.6%
14	浦添市	60	0.5%
15	東村	48	0.4%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

大宜味村の滞在者は、前後の行程において名護市や本部町を訪問する割合が高く、北部の主要地域と組み合わさった訪問行動が中心となっている。国頭村や今帰仁村への立ち寄りも一定程度みられるが、多様な市町村を連続的に回遊する動きは限定的である。東村の滞在者の前後行程をみると、名護市や本部町への立ち寄りが上位を占め、行程の組み合わせは限定的である。その他の北部市町村との回遊は一定数確認されるものの割合は低く、東村単体で周遊を生み出す構造には至っていない

大宜味村：滞在者数 3,962人

大宜味村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	937	23.7%
2	本部町	871	22.0%
3	国頭村	360	9.1%
4	那覇市	271	6.8%
5	今帰仁村	181	4.6%
6	東村	164	4.2%
7	北谷町	128	3.2%
8	北中城村	101	2.5%
9	恩納村	95	2.4%
10	嘉手納町	81	2.1%
11	金武町	77	1.9%
12	読谷村	61	1.5%
13	豊見城市	53	1.3%
14	糸満市	51	1.3%
15	南城市	45	1.1%

大宜味村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	1,122	28.3%
2	本部町	589	14.9%
3	国頭村	507	12.8%
4	那覇市	482	12.2%
5	今帰仁村	232	5.9%
6	東村	121	3.1%
7	北谷町	119	3.0%
8	北中城村	97	2.4%
9	恩納村	93	2.3%
10	嘉手納町	86	2.2%
11	金武町	55	1.4%
12	読谷村	40	1.0%
13	豊見城市	31	0.8%
14	糸満市	30	0.8%
15	南城市	27	0.7%

東村：滞在者数 2,954人

東村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	868	29.4%
2	本部町	494	16.7%
3	那覇市	302	10.2%
4	恩納村	298	10.1%
5	国頭村	121	4.1%
6	大宜味村	62	2.1%
7	北谷町	60	2.0%
8	読谷村	58	2.0%
9	金武町	54	1.8%
10	嘉手納町	48	1.6%
11	糸満市	42	1.4%
12	うるま市	31	1.1%
13	沖縄市	31	1.1%
14	今帰仁村	19	0.7%

東村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	754	25.5%
2	本部町	579	19.6%
3	那覇市	353	11.9%
4	恩納村	230	7.8%
5	国頭村	145	4.9%
6	大宜味村	128	4.3%
7	北谷町	87	2.9%
8	読谷村	73	2.5%
9	金武町	51	1.7%
10	嘉手納町	51	1.7%
11	糸満市	26	0.9%
12	うるま市	25	0.9%
13	沖縄市	22	0.8%
14	今帰仁村	22	0.8%
15	伊江村	20	0.7%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

今帰仁村の滞在者は、前後の行程において本部町や名護市を訪問する割合が高く、北部の主要拠点と組み合わさった訪問行動が中心となっている。那覇市や恩納村への立ち寄りも一定程度みられるが、比較的限定されている

本部町の滞在者は、前後の行程において那覇市、名護市、恩納村、今帰仁村など多様な市町村を訪問しており、立ち寄り先が広範囲に分散している。特定先への集中ではなく、多方向の回遊が確認されることから、本部町が北部観光における中核的なハブとして機能している

今帰仁村：滞在者数 34,680人

今帰仁村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	本部町	10,255	29.6%
2	名護市	5,997	17.3%
3	那覇市	3,181	9.2%
4	恩納村	2,238	6.5%
5	北谷町	779	2.2%
6	うるま市	635	1.8%
7	読谷村	573	1.7%
8	豊見城市	528	1.5%
9	沖縄市	254	0.7%
10	国頭村	234	0.7%
11	宜野湾市	232	0.7%
12	北中城村	229	0.7%
13	大宜味村	226	0.7%
14	糸満市	174	0.5%
15	浦添市	126	0.4%

今帰仁村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	本部町	7,411	21.4%
2	名護市	6,530	18.8%
3	那覇市	4,219	12.2%
4	恩納村	3,491	10.1%
5	北谷町	1,778	5.1%
6	うるま市	592	1.7%
7	読谷村	551	1.6%
8	豊見城市	304	0.9%
9	沖縄市	303	0.9%
10	国頭村	291	0.8%
11	宜野湾市	233	0.7%
12	北中城村	190	0.5%
13	大宜味村	181	0.5%
14	糸満市	176	0.5%
15	浦添市	141	0.4%

本部町：滞在者数 113,793人

本部町の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	19,531	17.2%
2	名護市	18,948	16.7%
3	恩納村	17,448	15.3%
4	今帰仁村	7,411	6.5%
5	北谷町	6,011	5.3%
6	読谷村	3,337	2.9%
7	伊江村	1,635	1.4%
8	うるま市	1,584	1.4%
9	豊見城市	1,183	1.0%
10	沖縄市	1,148	1.0%
11	国頭村	1,107	1.0%
12	浦添市	887	0.8%
13	北中城村	825	0.7%
14	糸満市	700	0.6%
15	宜野湾市	632	0.6%

本部町の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	23,593	20.7%
2	名護市	19,808	17.4%
3	恩納村	15,432	13.6%
4	今帰仁村	10,255	9.0%
5	北谷町	6,853	6.0%
6	読谷村	3,138	2.8%
7	伊江村	1,307	1.1%
8	うるま市	1,274	1.1%
9	豊見城市	1,174	1.0%
10	沖縄市	989	0.9%
11	国頭村	951	0.8%
12	浦添市	875	0.8%
13	北中城村	797	0.7%
14	糸満市	763	0.7%
15	宜野湾市	687	0.6%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

恩納村の滞在者は、前後の行程において那覇市、本部町、名護市、北谷町など複数の主要市町村を訪問しており、立ち寄り先が特定先に集中していない。恩納村が県内広域の観光動線上に位置し、多方面への回遊が生じやすい地域である

宜野座村の滞在者は、前後の行程において那覇市、恩納村、名護市への立ち寄りを中心であり、特定の主要地域と組み合わせられた訪問行動が多い。北部内での多様な回遊は限定的である

恩納村：滞在者数 156,427人

恩納村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	20,961	13.4%
2	本部町	15,432	9.9%
3	名護市	13,715	8.8%
4	北谷町	11,271	7.2%
5	読谷村	6,649	4.3%
6	うるま市	6,067	3.9%
7	金武町	3,491	2.2%
8	今帰仁村	2,380	1.5%
9	北中城村	2,350	1.5%
10	豊見城市	2,164	1.4%
11	沖縄市	1,800	1.2%
12	八重瀬町	1,739	1.1%
13	浦添市	1,734	1.1%
14	嘉手納町	1,659	1.1%
15	宜野湾市	1,566	1.0%

恩納村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	31,939	20.4%
2	本部町	17,448	11.2%
3	名護市	12,253	7.8%
4	北谷町	10,589	6.8%
5	読谷村	7,370	4.7%
6	うるま市	5,960	3.8%
7	金武町	2,280	1.5%
8	今帰仁村	2,238	1.4%
9	北中城村	2,160	1.4%
10	豊見城市	2,135	1.4%
11	沖縄市	1,653	1.1%
12	八重瀬町	1,640	1.0%
13	浦添市	1,440	0.9%
14	嘉手納町	1,369	0.9%
15	宜野湾市	1,207	0.8%

宜野座村：滞在者数 5,773人

宜野座村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	921	16.0%
2	恩納村	723	12.5%
3	名護市	626	10.8%
4	金武町	241	4.2%
5	北谷町	237	4.1%
6	読谷村	201	3.5%
7	沖縄市	177	3.1%
8	うるま市	120	2.1%
9	本部町	105	1.8%
10	北中城村	93	1.6%
11	浦添市	79	1.4%
12	豊見城市	79	1.4%
13	糸満市	71	1.2%
14	今帰仁村	59	1.0%
15	南城市	38	0.7%

宜野座村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	871	15.1%
2	恩納村	804	13.9%
3	名護市	591	10.2%
4	金武町	246	4.3%
5	北谷町	235	4.1%
6	読谷村	228	3.9%
7	沖縄市	183	3.2%
8	うるま市	175	3.0%
9	本部町	159	2.8%
10	北中城村	124	2.2%
11	浦添市	116	2.0%
12	豊見城市	98	1.7%
13	糸満市	98	1.7%
14	今帰仁村	73	1.3%
15	南城市	34	0.6%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

金武町の滞在者は、前後の行程において那覇市や恩納村への立ち寄り割合が相対的に高い他、名護市・本部町など北部主要地域との組み合わせも一定数みられる

伊江村の滞在者は、前後の行程において那覇市および本部町への立ち寄り割合が高く、本部町との結びつきが際立っている。フェリーアクセスを前提としたものであり、回遊先は特定の市町村に集中している

金武町：滞在者数 9,510人

金武町の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	2,280	24.0%
2	恩納村	1,401	14.7%
3	うるま市	758	8.0%
4	本部町	573	6.0%
5	名護市	494	5.2%
6	北谷町	346	3.6%
7	読谷村	246	2.6%
8	宜野座村	228	2.4%
9	浦添市	161	1.7%
10	西原町	144	1.5%
11	宜野湾市	115	1.2%
12	今帰仁村	102	1.1%
13	国頭村	101	1.1%
14	糸満市	99	1.0%
15	沖縄市	80	0.8%

金武町の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	1,808	19.0%
2	恩納村	1,800	18.9%
3	うるま市	774	8.1%
4	本部町	632	6.6%
5	名護市	632	6.6%
6	北谷町	468	4.9%
7	読谷村	319	3.4%
8	宜野座村	241	2.5%
9	浦添市	160	1.7%
10	西原町	151	1.6%
11	宜野湾市	121	1.3%
12	今帰仁村	113	1.2%
13	国頭村	111	1.2%
14	糸満市	104	1.1%
15	沖縄市	99	1.0%

伊江村：滞在者数 3,837人

伊江村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	1,307	34.1%
2	本部町	200	5.2%
3	恩納村	135	3.5%
4	浦添市	117	3.1%
5	北谷町	83	2.2%
6	名護市	63	1.6%
7	うるま市	34	0.9%
8	宜野座村	25	0.7%
9	与那原町	22	0.6%
10	北中城村	20	0.5%
11	八重瀬町	19	0.5%

伊江村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	那覇市	653	17.0%
2	本部町	555	14.5%
3	恩納村	284	7.4%
4	浦添市	124	3.2%
5	北谷町	96	2.5%
6	名護市	95	2.5%
7	うるま市	45	1.2%
8	宜野座村	35	0.9%
9	与那原町	34	0.9%
10	北中城村	31	0.8%
11	八重瀬町	25	0.7%
12	宜野湾市	25	0.7%
13	国頭村	22	0.6%
14	読谷村	20	0.5%
15	豊見城市	19	0.5%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 流動・周遊状況）

伊平屋村の滞在者は、前後の行程において名護市への立ち寄り割合が最も高く、那覇市や本部町との組み合わせもみられる。特定の市町村に集中しており、訪問先の選択肢は限定的である

伊是名村の滞在者は、前後の行程において名護市への立ち寄り割合が高く、北谷町や中城村など一部市町村との組み合わせが続いている。立ち寄り先は限られている

伊平屋村：滞在者数 577人

伊平屋村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	162	28.1%
2	那覇市	71	12.3%
3	本部町	42	7.2%

伊平屋村の次に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	97	16.7%
2	那覇市	26	4.6%
3	本部町	25	4.4%
4	大宜味村	19	3.4%
5	国頭村	19	3.4%

伊是名村：滞在者数 315人

伊是名村の前に滞在した市町村

No	市町村名	人数	割合
1	名護市	117	37.1%
2	北谷町	43	13.6%

伊是名村の次に滞在した市町村

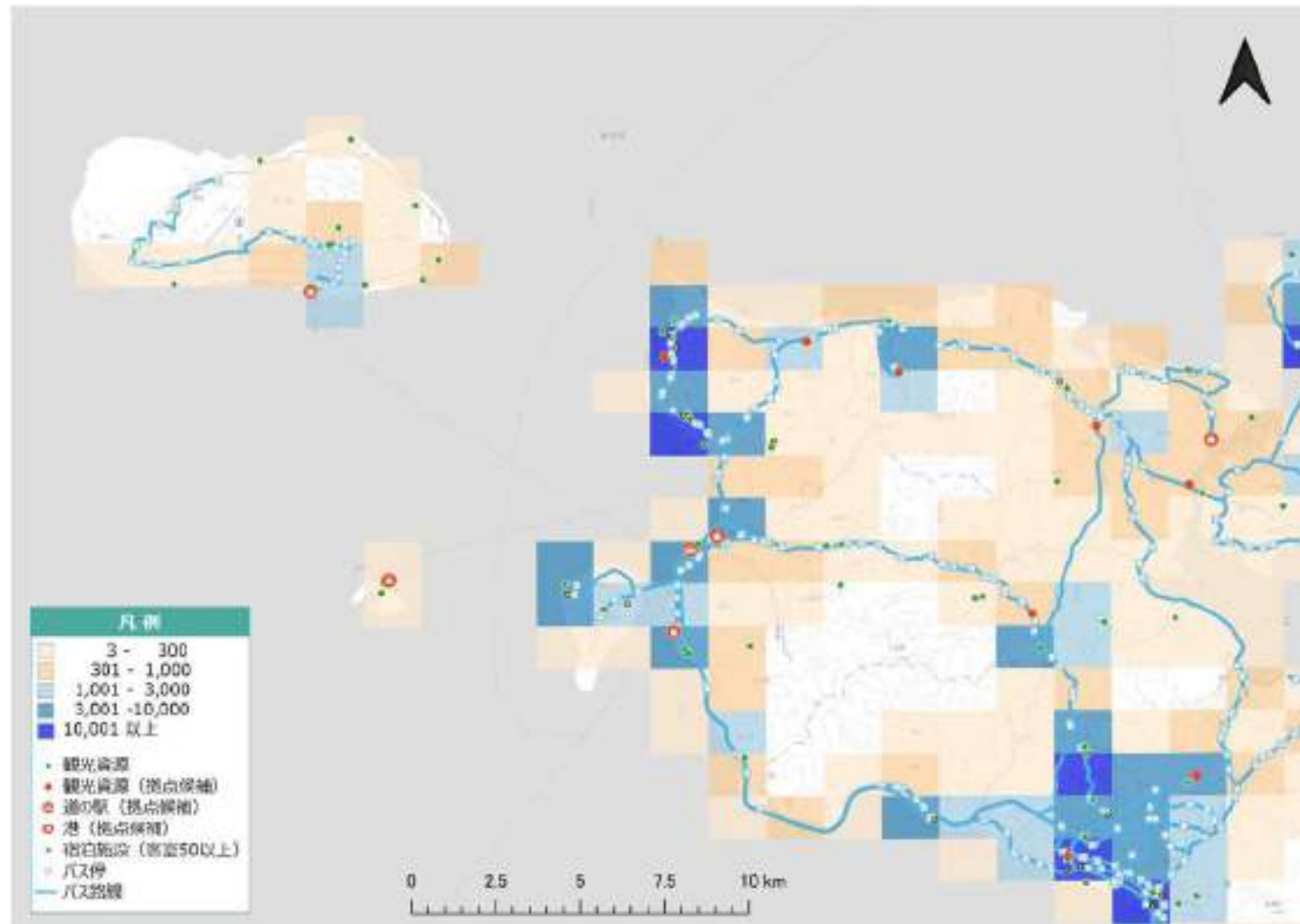
No	市町村名	人数	割合
1	名護市	72	22.9%
2	北谷町	25	8.1%
3	中城村	22	7.1%
4	浦添市	19	6.1%

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 動線状況）

人の流れは沿岸沿いの幹線や港・観光資源周辺に集中し、内陸部の通行は限定的である
本部半島では、市街地や海洋博公園などを主要地点を結ぶ動線が多い

本部町・今帰仁村・伊江村

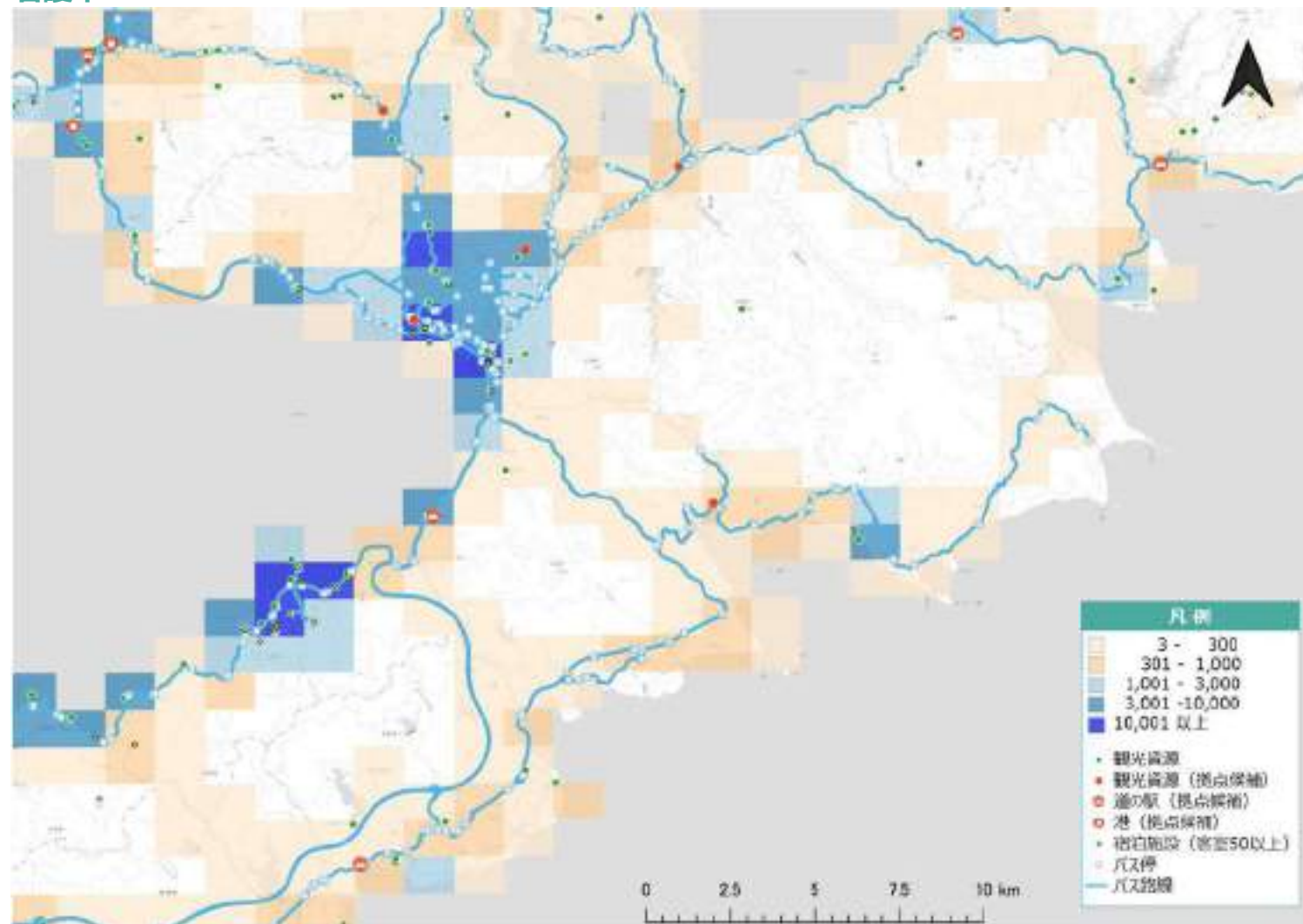


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 動線状況）

人の流れは名護市中心部に集中し、沿岸部の幹線道路を軸に周辺市町村へ広がっている
名護市街地から本部町方面、国頭方面、東海岸方面へ向かう主要動線への移動も一定程度確認できる

名護市

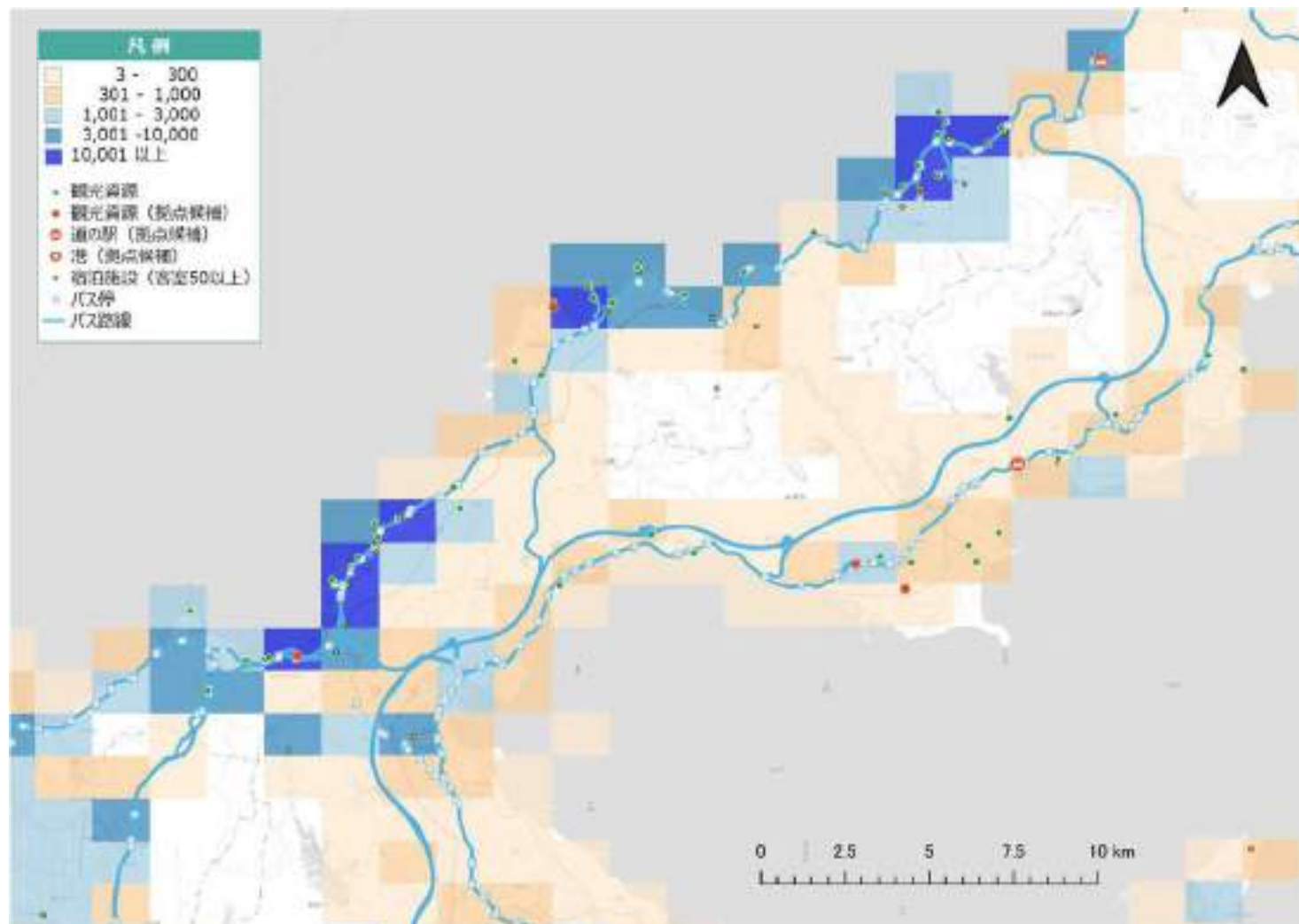


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 動線状況）

人の流れは西海岸沿岸の幹線道路に沿って連続的に分布しており、一本の主要動線が形成されている
特に、沿岸リゾートエリアで測位人数が多く、西海岸と東海岸を行き来する動線は相対的に少ない

恩納村・金武町・宜野座村

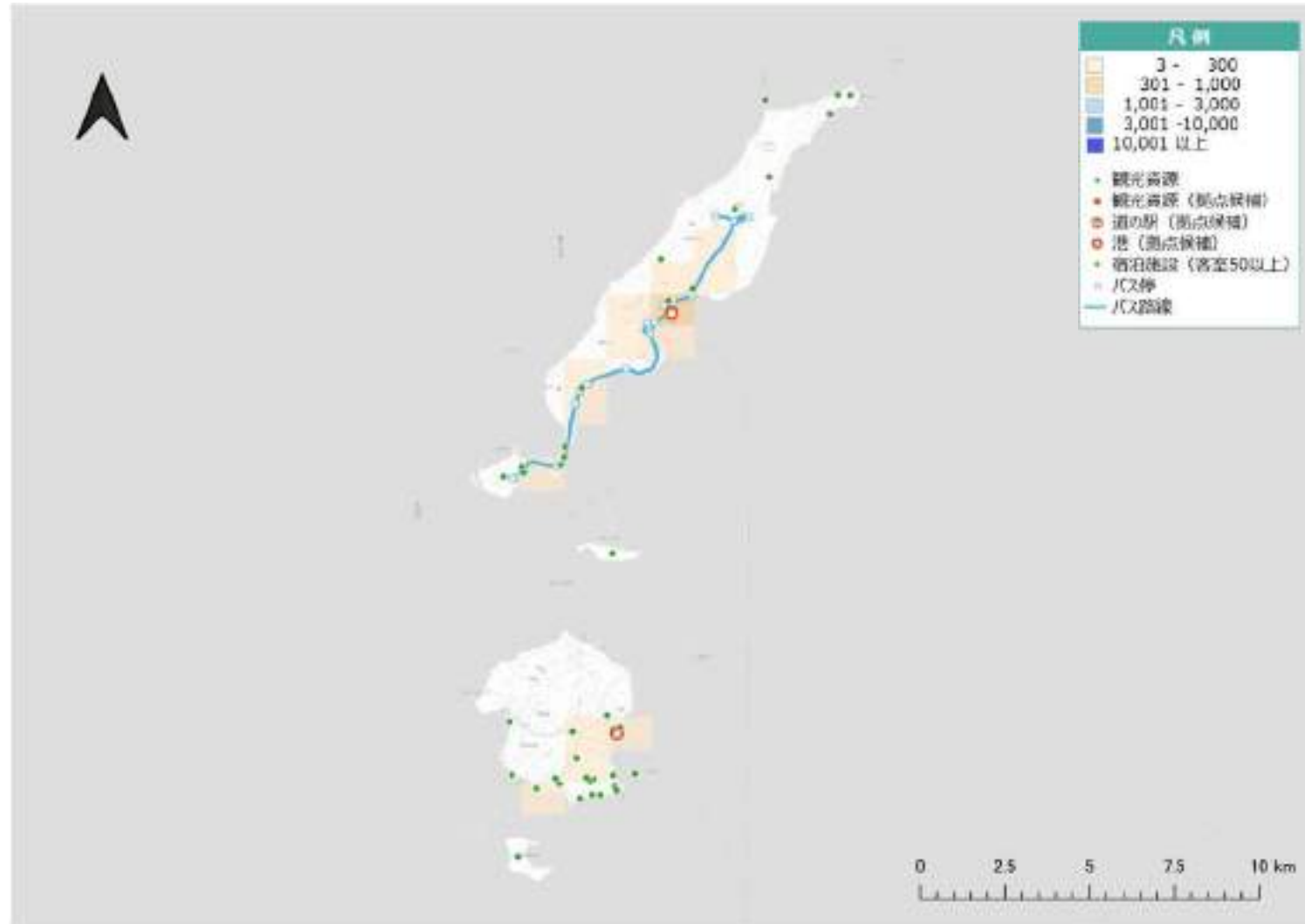


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 動線状況）

人の流れは港を起点に島内の主要道路を移動していることが伺える

伊平屋村・伊是名村



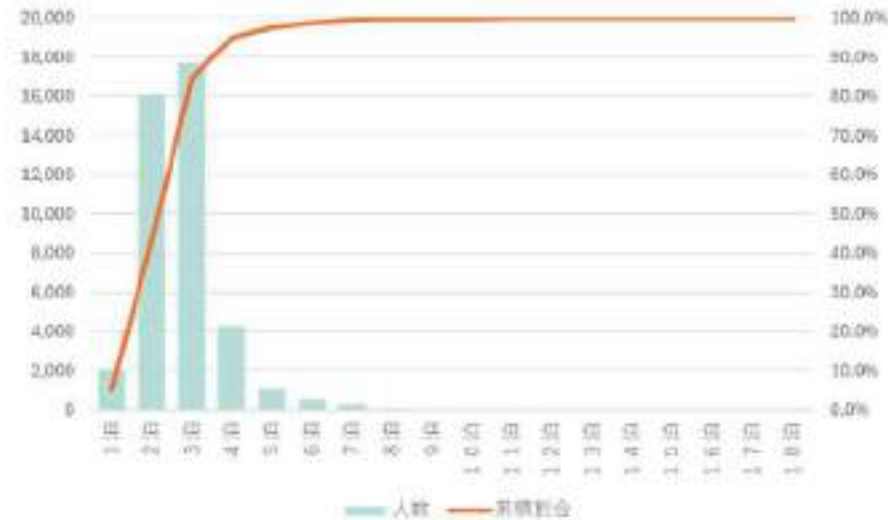
②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 旅程）

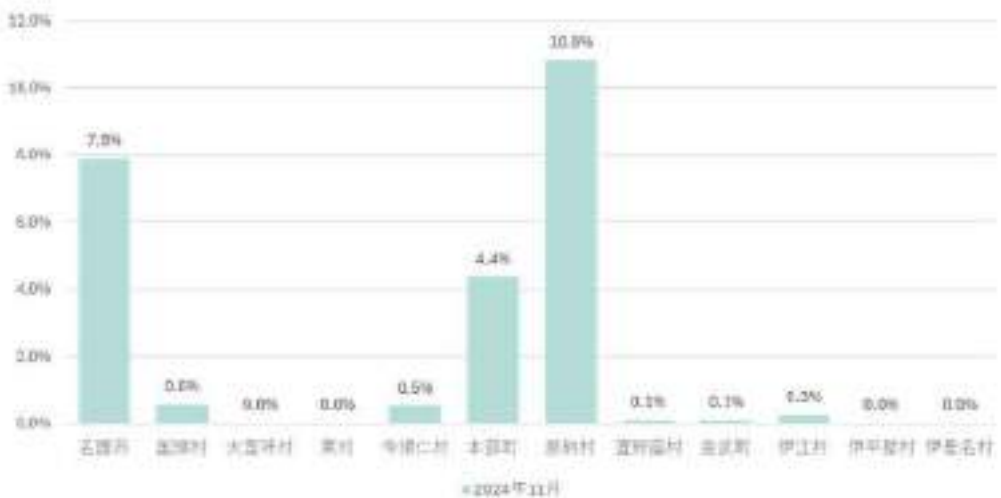
宿泊数の分布をみると、2泊および3泊が全体の約8割を占めており、4泊以上の長期滞在は限定的である。北部地域観光は、短期間で拠点的に滞在する行動が主流となっている

宿泊数	人数	割合	累積割合
1泊	2,079	4.9%	4.9%
2泊	16,089	38.0%	42.9%
3泊	17,680	41.7%	84.6%
4泊	4,294	10.1%	94.7%
5泊	1,157	2.7%	97.4%
6泊	556	1.3%	98.8%
7泊	299	0.7%	99.5%
8泊	72	0.2%	99.6%
9泊	65	0.2%	99.8%
10泊	0	0.0%	99.8%
11泊	40	0.1%	99.9%
12泊	0	0.0%	99.9%
13泊	0	0.0%	99.9%
14泊	0	0.0%	99.9%
15泊	0	0.0%	99.9%
16泊	22	0.1%	99.9%
17泊	0	0.0%	99.9%
18泊	31	0.1%	100.0%
合計	42,382	100.0%	-

2～3泊の割合が高い



北部地域宿泊者の宿泊数の割合を確認したところ、恩納村と名護市が多い



②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：国内 県外旅行者 旅程）

市町村別の宿泊者割合を見ると、恩納村と名護市が他市町村を大きく上回っており、北部地域の宿泊拠点が限られた市町村に集積していることが確認できる

2泊 2024年11月

RANK	宿泊地パターン	人数
1	恩納村-恩納村	4,718
2	名護市-名護市	2,860
3	名護市-那覇市	1,282
4	本部町-本部町	1,246
5	那覇市-恩納村	1,048
6	恩納村-那覇市	890
7	那覇市-名護市	709
8	本部町-那覇市	505
9	那覇市-本部町	340
10	恩納村-名護市	191

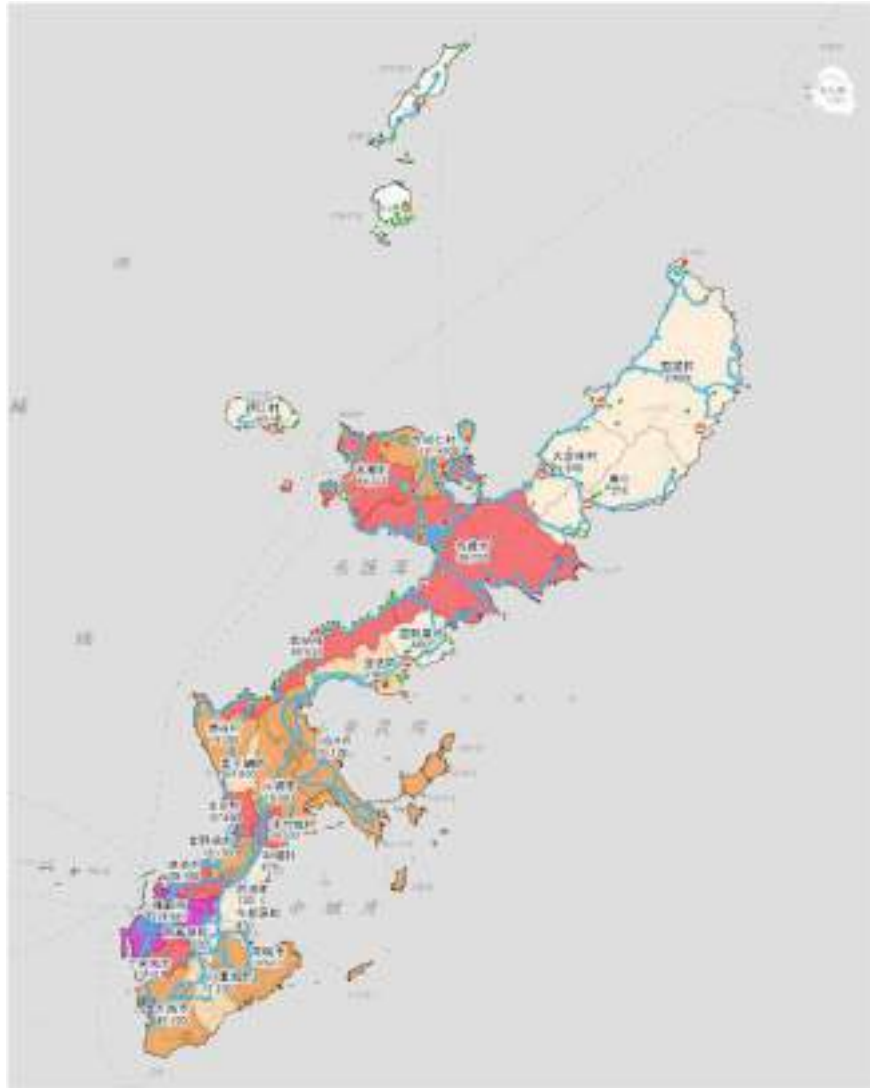
3泊 2024年11月

RANK	宿泊地パターン	人数
1	恩納村-恩納村-恩納村	2,031
2	恩納村-恩納村-那覇市	1,579
3	那覇市-恩納村-恩納村	1,276
4	名護市-名護市-名護市	1,091
5	本部町-本部町-本部町	960
6	那覇市-名護市-名護市	835
7	名護市-名護市-那覇市	779
8	那覇市-読谷村-恩納村	572
9	那覇市-名護市-那覇市	410
10	宜野湾市-本部町-名護市	380

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：インバウンド 滞在状況）

インバウンドの滞在は那覇市が突出して多く、一部地域に集中することで地域間に大きな偏在が生じている



No.	市町村名	滞在者数
1	那覇市	274,567
2	北谷町	87,490
3	本部町	68,071
4	恩納村	46,924
5	豊見城市	41,161
6	北中城村	36,532
7	名護市	36,203
8	浦添市	35,195
9	読谷村	19,250
10	沖縄市	18,893
11	南城市	18,623
12	今帰仁村	18,148
13	宜野湾市	16,150
14	糸満市	15,190
15	うるま市	10,130
16	嘉手納町	7,850
17	八重瀬町	7,230
18	金武町	3,440
19	国頭村	2,490
20	中城村	970
21	西原町	730
22	宜野座村	680
23	南風原町	680
24	大宜味村	640
25	与那原町	470
26	東村	210
27	伊江村	80
28	伊平屋村	0
29	伊是名村	0

②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：インバウンド 滞在状況）

北部12市町村を訪れる観光客の約8割は日が東アジアからの来訪者
 今帰仁村、国頭村、大宜味村には欧州系の観光客が訪れているのが特徴的

No.	地域	国	12市町村別												合計	
			本部町	恩納村	名護市	今帰仁村	金武町	国頭村	宜野座村	大宜味村	東村	伊江村	伊平屋村	伊是名村	訪問者数	構成比
1	東アジア	台湾	22,256	9,176	11,170	7,558	0	280	140	0	0	0	0	0	50,580	32%
2	東アジア	中国	11,787	11,977	4,590	1,760	970	0	0	0	0	0	0	0	31,084	20%
3	東アジア	韓国	12,288	6,431	6,753	3,920	0	0	430	0	0	0	0	0	29,822	19%
4	東アジア	香港	5,280	4,380	3,930	1,870	100	170	70	70	0	80	0	0	15,950	10%
5	北米	アメリカ	3,770	4,170	2,330	740	1,890	180	0	0	0	0	0	0	13,080	8%
6	北米	カナダ	1,170	810	860	0	110	450	0	0	0	0	0	0	3,400	2%
7	豪州	オーストラリア	1,190	1,450	350	70	0	120	0	50	0	0	0	0	3,230	2%
8	欧州	ドイツ	1,160	730	580	270	40	180	0	60	0	0	0	0	3,020	2%
9	欧州	イギリス	1,010	1,240	290	70	0	60	0	120	0	0	0	0	2,790	2%
10	東南アジア	タイ	850	570	470	180	30	80	0	0	0	0	0	0	2,180	1%
11	東南アジア	シンガポール	470	380	330	210	20	140	0	70	30	0	0	0	1,650	1%
12	欧州	フランス	630	290	200	160	0	90	0	0	0	0	0	0	1,370	1%
13	東南アジア	マレーシア	240	260	310	210	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020	1%
14	欧州	ロシア	340	130	280	80	0	0	0	0	0	0	0	0	830	1%
15	その他アジア	インド	260	250	140	110	0	50	0	0	0	0	0	0	810	1%
16	欧州	イタリア	460	150	20	40	20	0	0	40	0	0	0	0	730	0%
17	東南アジア	インドネシア	80	120	360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	560	0%
18	東南アジア	ベトナム	300	220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	520	0%
19	欧州	スペイン	30	120	70	30	30	0	0	0	0	0	0	0	280	0%
20	東南アジア	フィリピン	40	0	140	0	40	0	40	0	0	0	0	0	260	0%
21	その他アジア	その他	4,460	4,070	3,030	870	190	690	0	230	180	0	0	0	13,720	9%
地域別	東アジア		51,611	31,964	26,443	15,108	1,070	450	640	70	0	80	0	0	127,436	80%
	東南アジア		1,980	1,550	1,610	600	90	220	40	70	30	0	0	0	6,190	4%
	北米		4,940	4,980	3,190	740	2,000	630	0	0	0	0	0	0	16,480	10%
	欧州		3,630	2,660	1,440	650	90	330	0	220	0	0	0	0	9,020	6%
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	訪問者数		62,161	41,154	32,683	17,098	3,250	1,630	680	360	30	80	0	0	159,126	100%
	構成比		39%	26%	21%	11%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	-

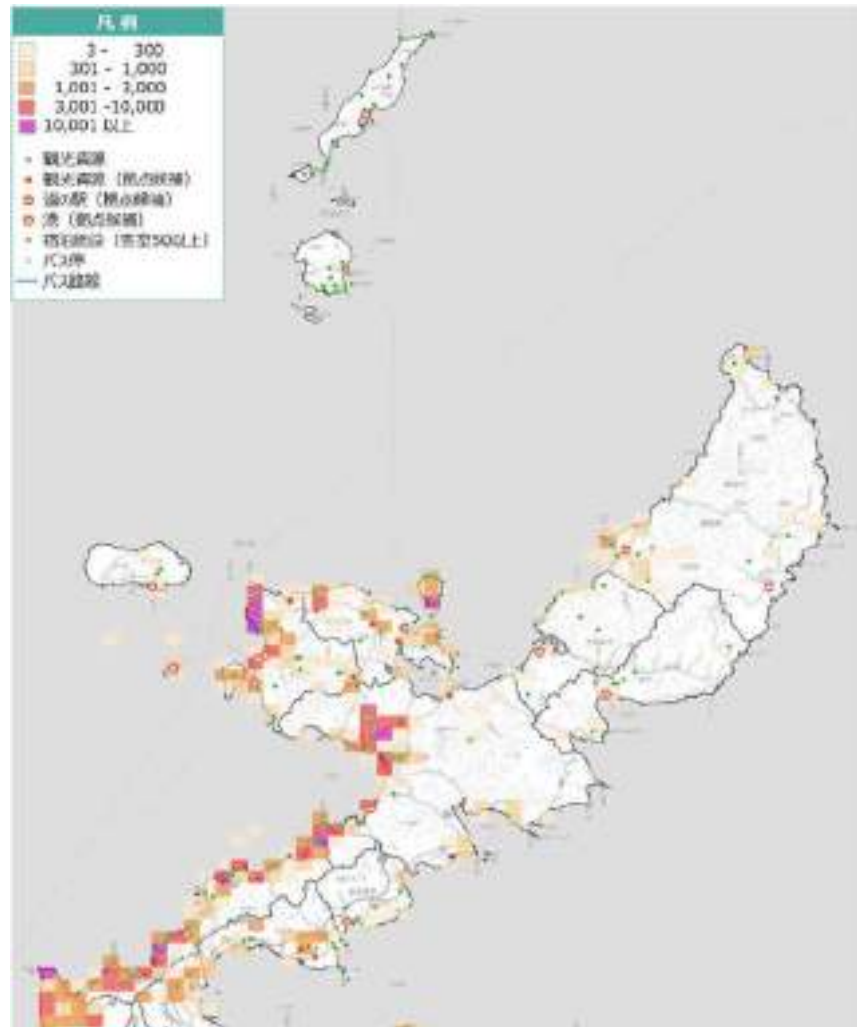
出所：インバウンドGPSデータ（2024年4月～2025年3月）

②北部地域の観光周遊状況

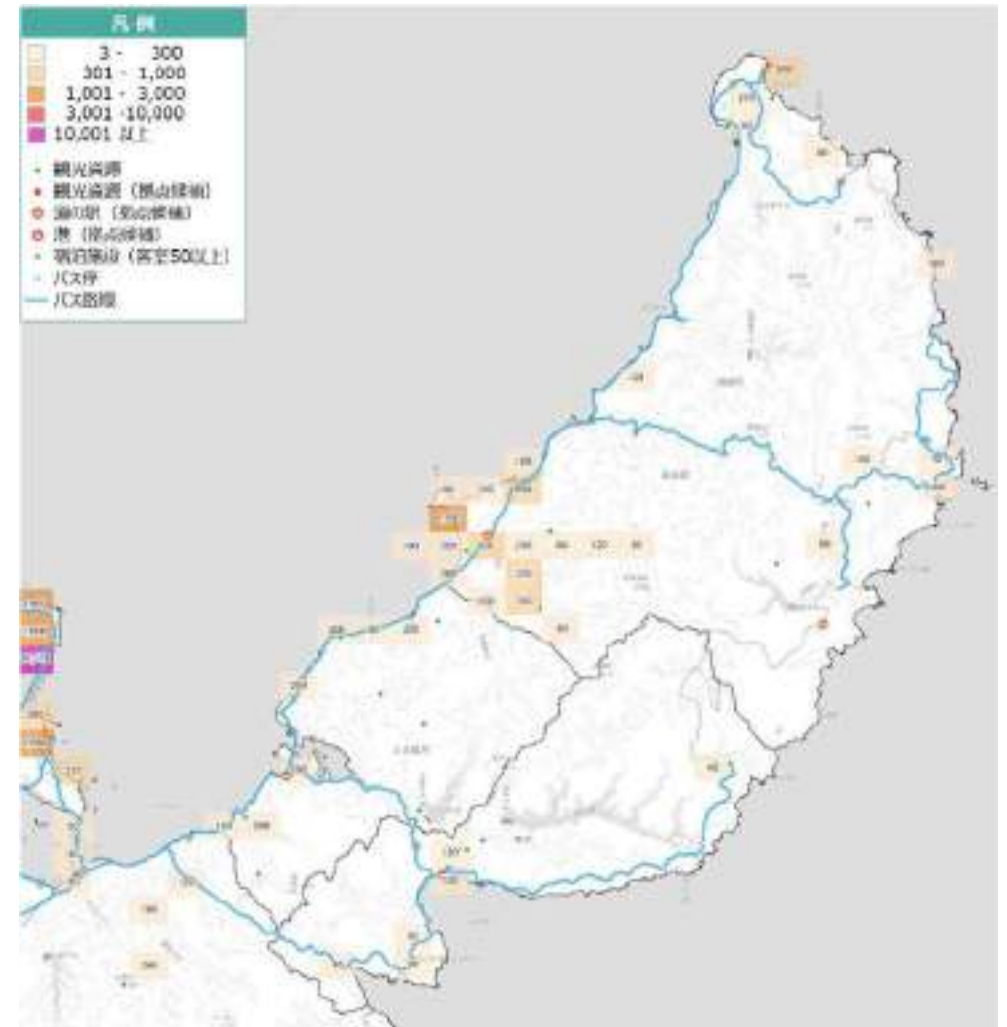
北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：インバウンド 滞在状況）

西海岸沿いに滞在者が多い。滞在者が少ない国頭村や大宜味村、東村においても特定の観光施設や観光資源については、滞在されている

北部地域



国頭村・大宜味村・東村



②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：インバウンド 滞在状況）

恩納村を中心に西海岸・国道58号沿いで滞在が多くみられる。金武町や宜野座村においても、一部エリアで滞在が確認できる

恩納村・金武町・宜野座村

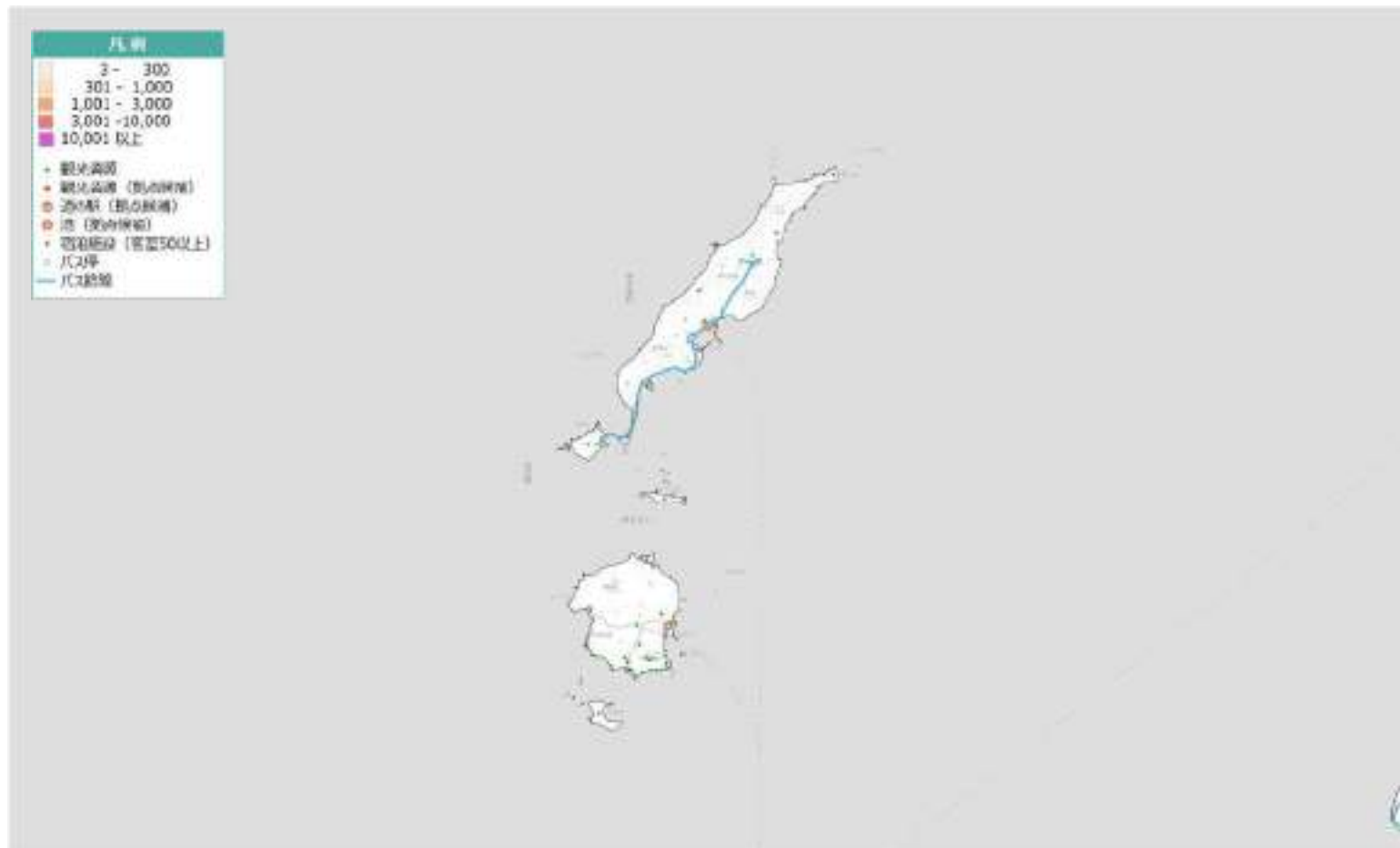


②北部地域の観光周遊状況

北部地域の観光周遊状況（人流データ分析：インバウンド 滞在状況）

伊平屋村、伊是名村への滞在は今回のデータからは確認できなかった

伊平屋村・伊是名村



主要論点

アプローチ

		主要論点	アプローチ	
1 観光市場の現状	1 観光市場の現状	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 	
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 		
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握
		2 北部地域の観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 	
		3 体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握
		4 宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 	
		5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうなっているか？ 	
3 北部地域における交通の現状	需要面	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握
		2 観光客の交通に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握

体験事業者の分析フロー

日本国内における体験プログラムプラットフォーム企業のアソビュー社に掲載のある沖縄県の全体験プログラムをもとに、北部地域における体験プログラムの傾向を把握するために調査を実施

概要

1 沖縄県全体
体験プログラムリスト
の作成

- 日本国内における体験プログラムプラットフォーム企業のアソビュー社に掲載のある沖縄県の全体験プログラムを抽出（2026年3月上旬）

2 再カテゴリー化

- アクティビティのカテゴリーを沖縄県の「観光統計実態調査報告書」の観光目的にカテゴリーへと振り分け

3 分析対象の絞り込み

- 宮古諸島、慶良間諸島、八重山諸島を除き、本島へと対象を絞り込み

4 分析

- 本島のアクティビティを対象に地区別の傾向や北部内の傾向を分析

北部地域において観光客が体験できるプログラムを提供している事業者の所在やプログラムの傾向を把握

③体験事業者の現状

民間体験プログラムプラットフォームに掲載されている体験プログラム情報の抽出例

下記のように、カテゴリーや市町村、地区、所在、業者名、年齢制限といった情報を抽出

例示

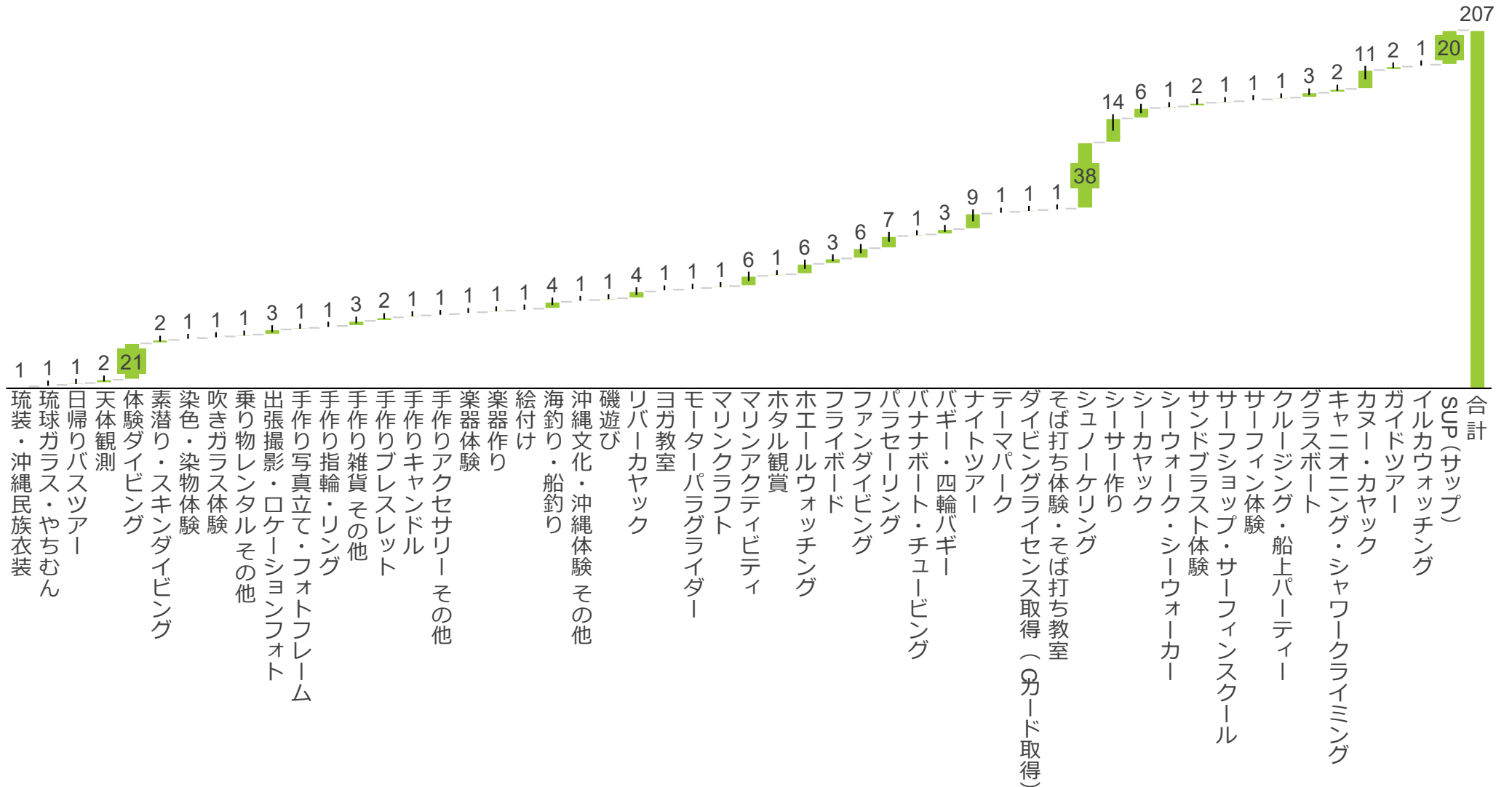
Asoviewカテゴリー	市町村	地区	所在	業者名	年齢制限
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	宮古島マリンショップSmiley	1歳以上
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	COORPAROO	1歳以上
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	CHAMP TOUR 宮古島	2歳以上
ナイトツアー	石垣市	石垣市	八重山諸島	スターライフ石垣島	3歳以上
ホエールウォッチング	那覇市	南部	本島	NEWS那覇店	3歳以上
ホエールウォッチング	那覇市	南部	本島	South to South (サウス トゥ サウス)	3歳以上
ナイトツアー	南城市	南部	本島	ウワーガージャングル	7歳以上
天体観測	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	STARGATE ENTERTAINMENT (スターゲートエンターテイメント)	指定無し
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	Nami宮古島	指定無し
ホエールウォッチング	那覇市	南部	本島	マリクラブ ベリー 那覇店	指定無し
ホエールウォッチング	北谷町	中部	本島	セルリアンブルー	指定無し
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	元気玉	指定無し
ホエールウォッチング	座間味村	座間味村	慶良間諸島	Oscamintol (オスカミントル)	指定無し
天体観測	石垣市	石垣市	八重山諸島	(株) 美ら星アイランド	指定無し
ナイトツアー	宮古島市	宮古島市	宮古諸島	COCO宮古島	指定無し
ホエールウォッチング	沖縄市	中部	本島	シーワークス沖縄アイランド	指定無し

出所：Asoviewウェブサイトより沖縄県の体験プログラムを検索して表示のあったプログラムを抽出（2026年3月初旬）

③体験事業者の現状

沖縄県内の体験プログラムの一覧

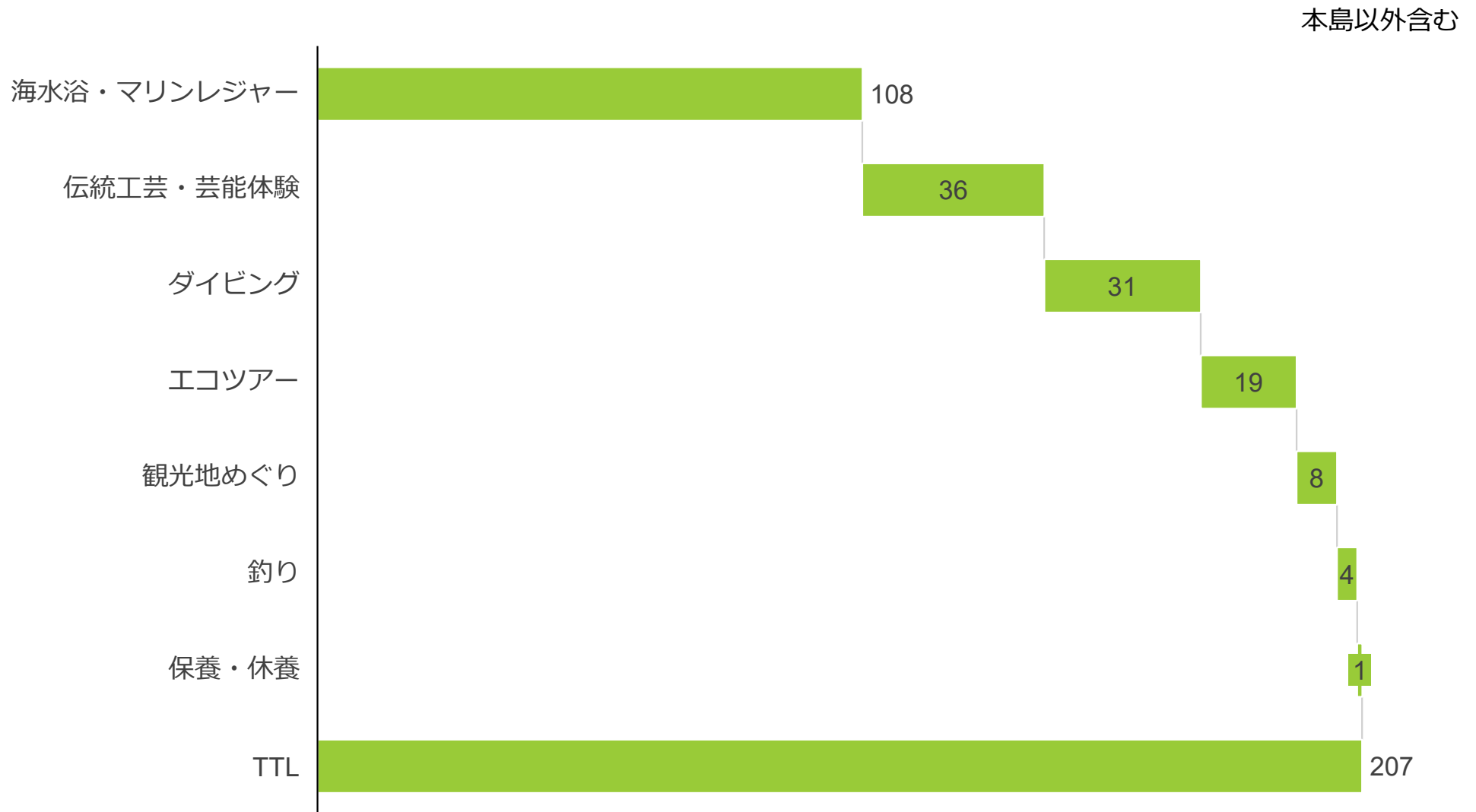
各事業者によってカテゴリー分けがされており、伝統体験やマリナクティビティといったプログラム等、多岐にわたる



③体験事業者の現状

沖縄県における体験プログラム提供事業者の全体像

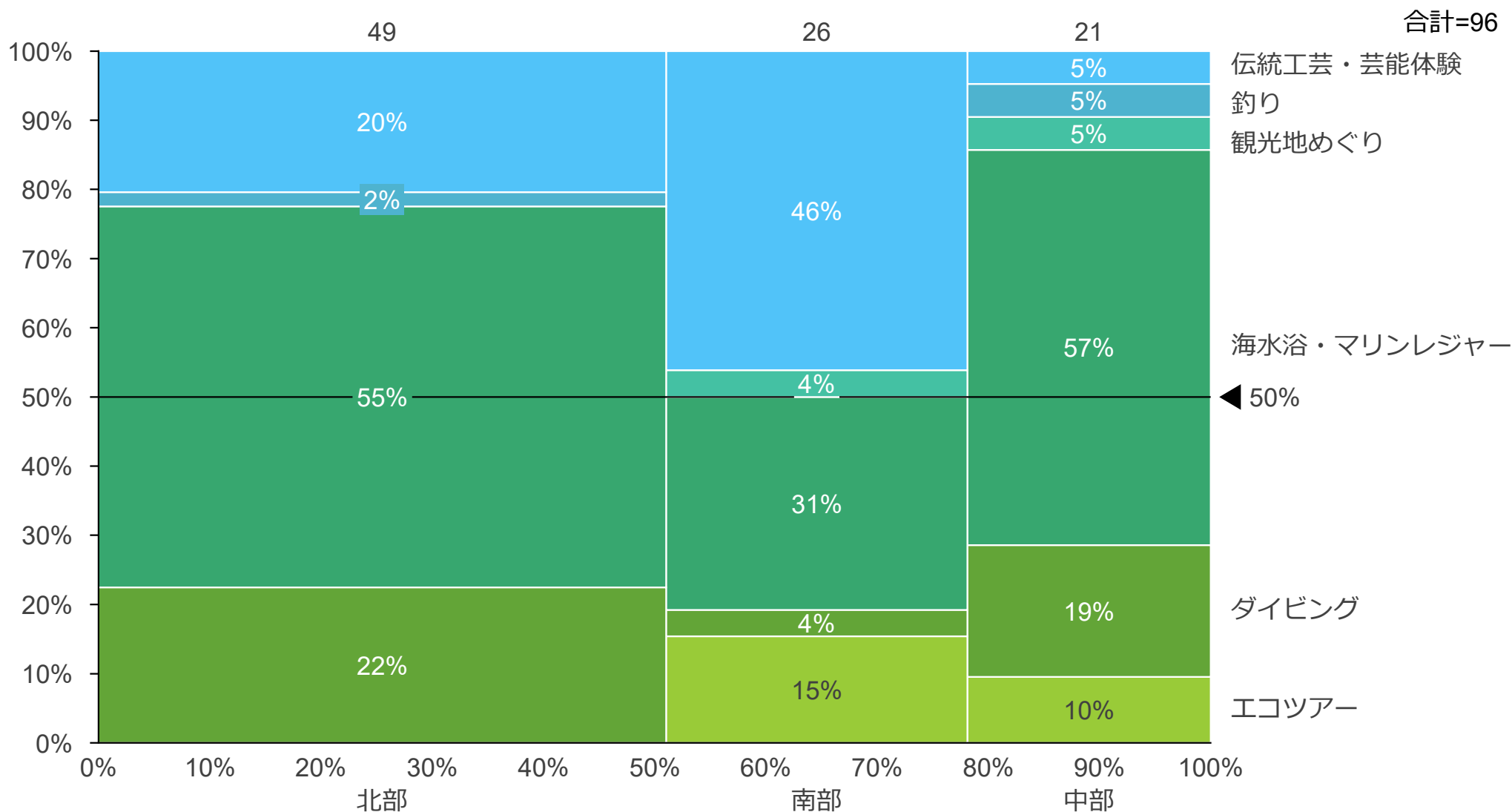
沖縄県の統計の目的にカテゴリーを振り分けると、海水浴・マリレジャーやダイビングといったマリレジャー、伝統工芸・芸能体験等のプログラムが多い



③体験事業者の現状

沖縄県本島における体験プログラム提供事業者の全体像

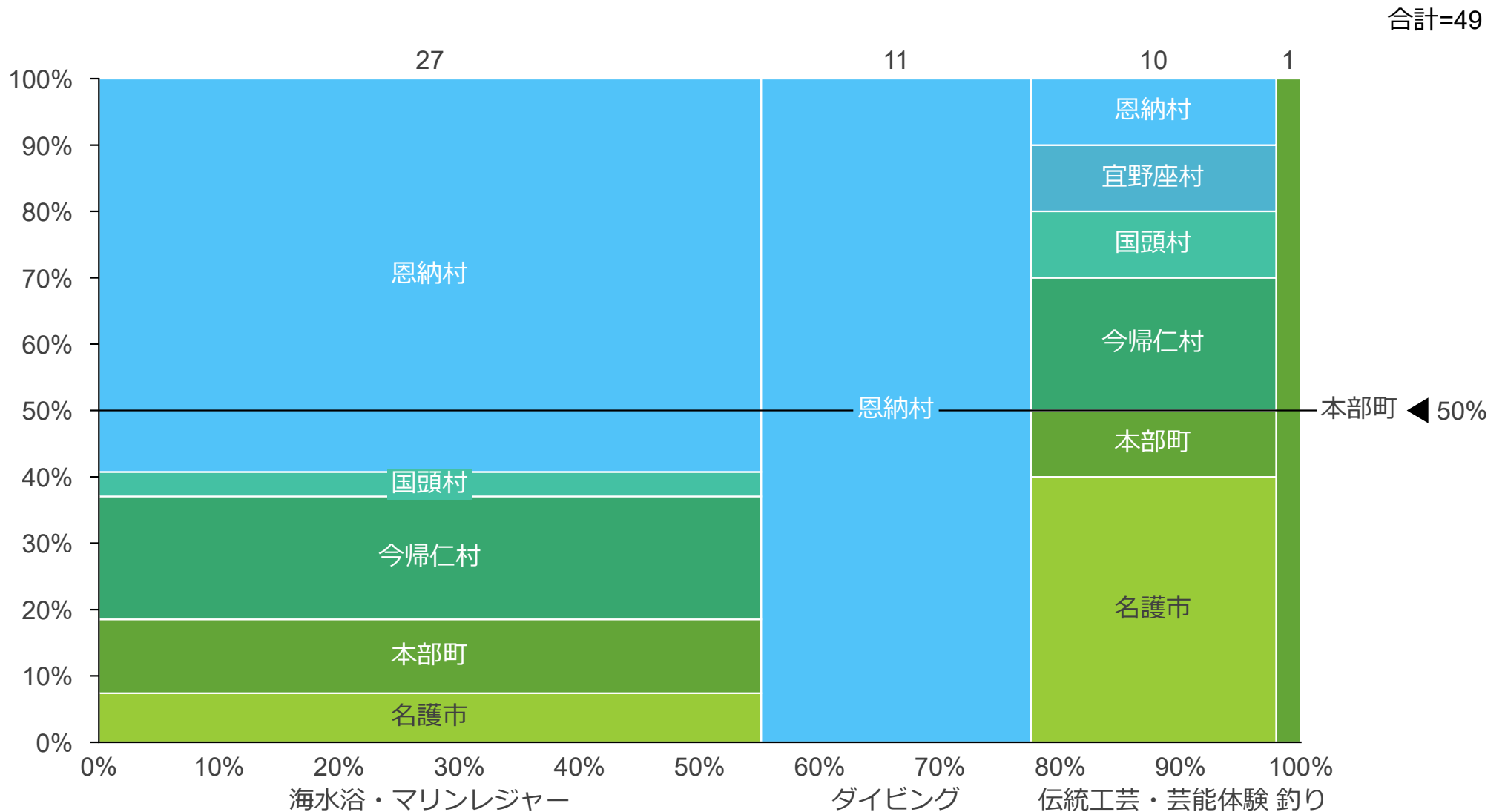
民間企業のウェブサイトに掲載されている、沖縄県における一般観光客向け体験プログラムの半数以上は北部が占める。その中で、多くが海水浴・マリンレジャー及びダイビングといったマリンアクティビティが約80%を占めている



③体験事業者の現状

北部地域における体験プログラム提供事業者の全体像

北部地域内に目を転じると、多くのマリレジャー関連の体験プログラム事業者は恩納村に所在。民間企業のウェブサイトには流通している体験プログラムは名護市、恩納村、本部町、今帰仁村、国頭村、宜野座村に限られる



主要論点

アプローチ

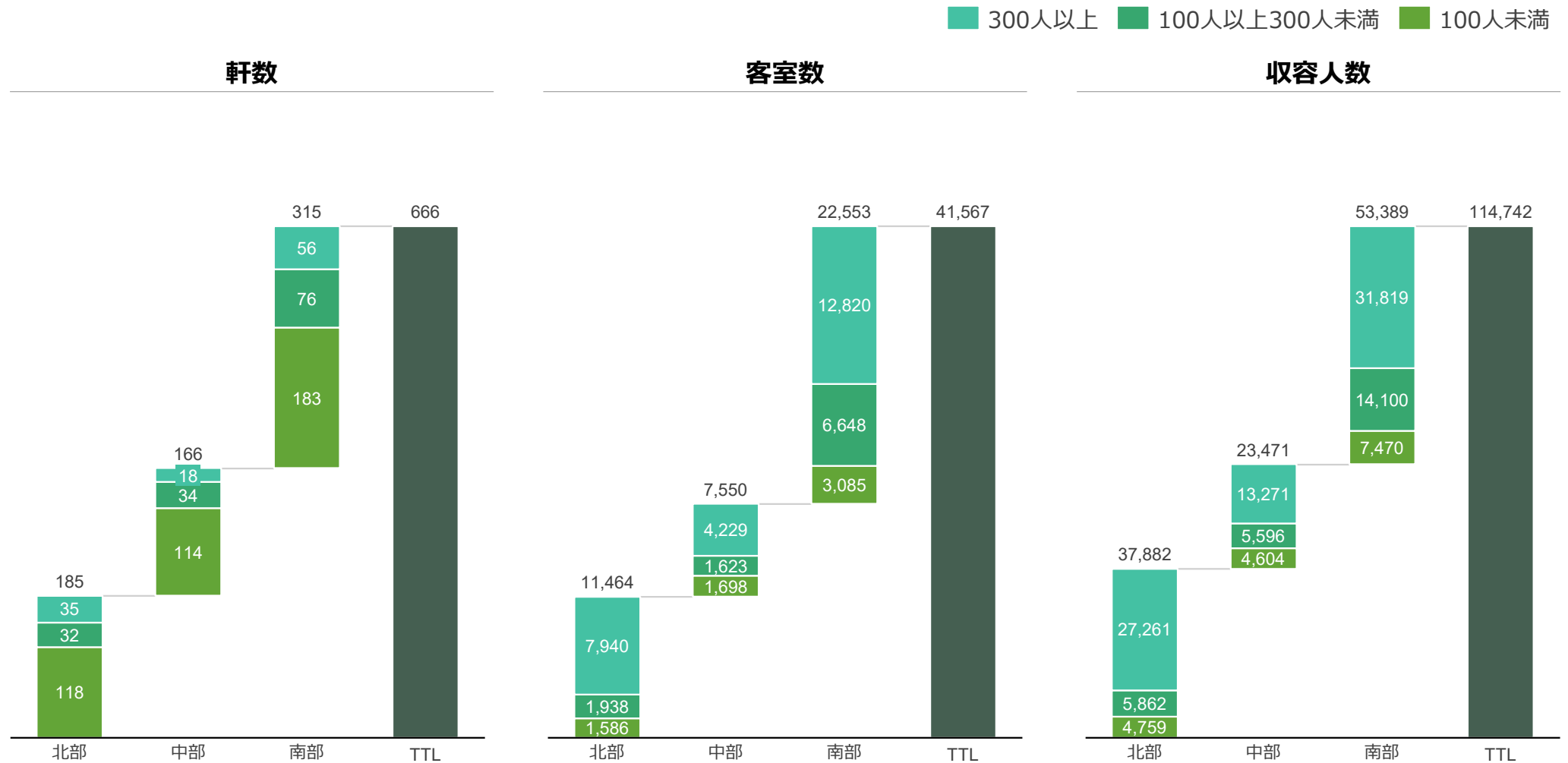
		主要論点	アプローチ	
1 観光市場の現状	1 観光市場の現状	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 	
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 		
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握
		2 北部地域の観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 	
		3 体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握
		4 宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 	
		5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうか？ 	
3 北部地域における交通の現状	需要面	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握
		2 観光客の交通に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握

④ 宿泊事業者の現状

沖縄県の地域別宿泊施設の規模別軒数・客室数・収容人数

北部の宿泊施設は、軒数・客室数・収容人数ベースともに、南部に次ぐ

北部域内では、100人未満の宿泊施設が多く、300人以上の大規模宿泊施設の所在によって収容人数が多い



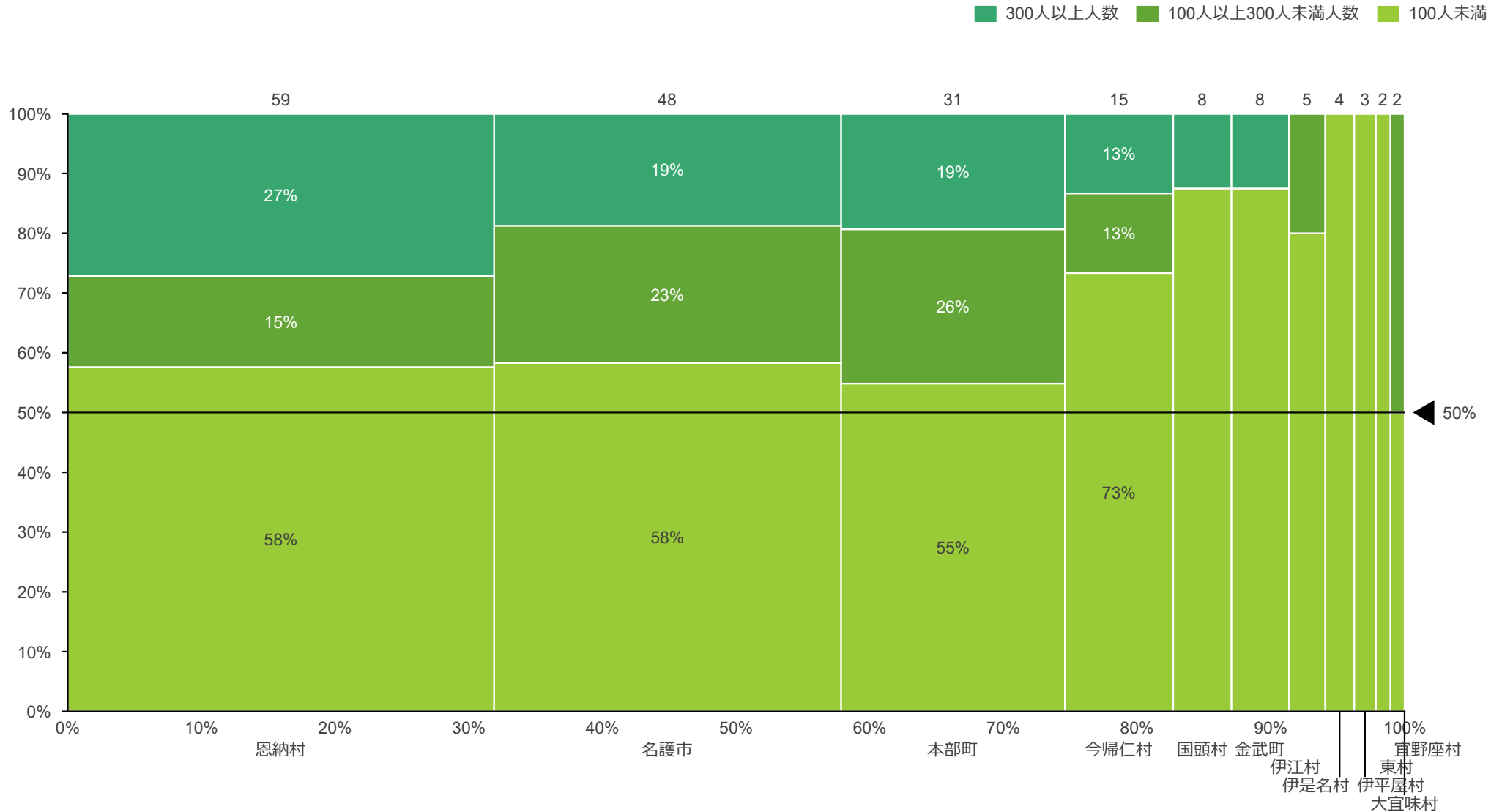
*北部は北部12市町村（伊江村、伊平屋村、伊是名村を含む）

出所：沖縄県「宿泊統計実態調査（令和6年度調査結果）」より分析

④ 宿泊事業者の現状

北部地域の市町村別規模別宿泊施設の全体像（軒数ベース）

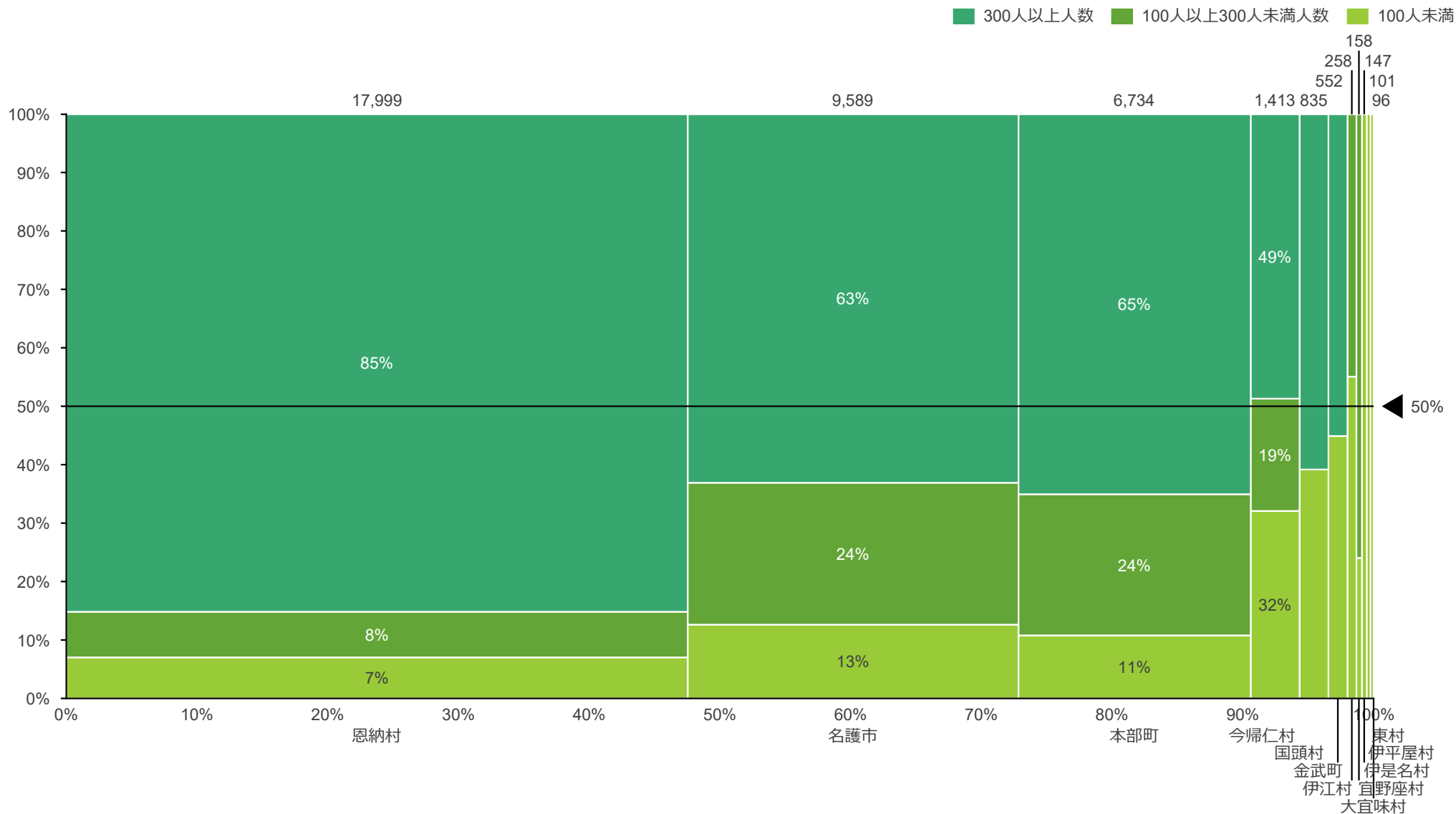
恩納村、名護市、本部町は中規模・大規模の宿泊施設で40%弱を占めるが、その他の地域では収容人数100人未満の宿泊施設が大半を占める
また、小規模施設は12市町村全体に分布していることがわかる



④ 宿泊事業者の現状

北部地域の市町村別規模別宿泊施設の全体像（収容人数ベース）

一方収容人数ベースでは、恩納村、名護市、本部町の宿泊施設の60%以上を大規模施設が占めており、大規模施設が北部地域の宿泊キャパの半分以上を占めていることがわかる

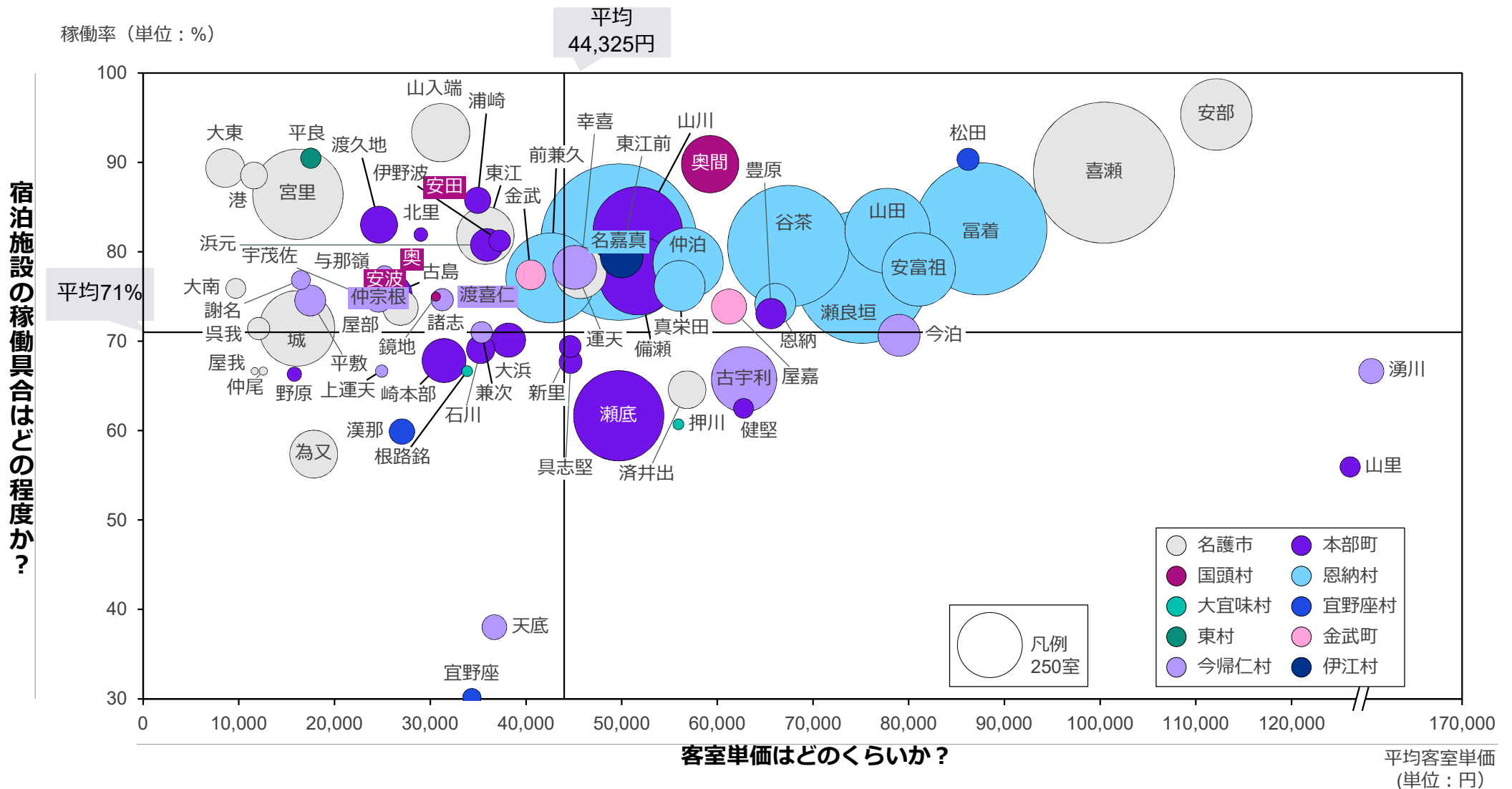


出所：沖縄県「宿泊統計実態調査（令和6年度調査結果）」より分析

④ 宿泊事業者の現状

北部12市町村の字別宿泊施設の平均客室単価、平均稼働率、客室数*

北部12市町村の宿泊施設を字別に見ると、名護は高価格からビジネスユースの安価なホテルが偏在。恩納村は高価格帯のホテルが集積、本部町や今帰仁村も高価格から1万円前後までの幅広い宿泊施設が集積。様々な価格帯の宿泊施設が所在していることがわかる



*2022年1月~2023年10月までの名護市周辺の市町村における地区別客室稼働率 (右軸) 平均客室単価 (左軸) 総客室数 (バブル)

出所: メトロエンジンロールデータより分析

主要論点

アプローチ

		主要論点	アプローチ		
1 観光市場の現状	1 観光市場の現状	<ul style="list-style-type: none"> 観光市場の様相はどう変化してきているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 公官庁統計や各種調査データより定量的に概況を把握 		
	2 沖縄の観光来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 来沖観光客の様相はどう変化しているか？ 			
2 北部地域の観光の現状	供給面	1 観光資源と観光資源別の来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域における観光資源に所在している観光資源の現状とそれらへの観光資源への来訪の特徴は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより観光資源の所在や観光資源への来訪客数の傾向や、周遊状況を把握 	
		2 北部地域の観光周遊状況	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において観光客はどのように周遊しているか？ 		
		3 体験事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような体験事業者がどの程度存在しているか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 民間データや市町村へのヒアリングにより北部地域における体験事業者、宿泊事業者の所在や営業状況を把握
		4 宿泊事業者の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような宿泊事業者がどの程度存在しているか？ 		
	5 需要面	5 観光客の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域を訪れる観光客の特徴やニーズはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者へのアンケート調査より観光に対するニーズや課題の把握 	
3 北部地域における交通の現状	1 交通・道路状況の現状	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域にはどのような交通事業者がどの程度存在しているか？道路の混雑状況等は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域において運行されている交通とその手段、道路状況について把握 		
	2 観光客の交通に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はどのような手段で移動をしているか？移動手段やニーズに対する評価は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の際の交通や交通に対する評価の把握 		

⑤観光客の現状

観光客の沖縄の旅行先・訪問地の純粹想起

消費者の沖縄に占めるイメージにおいて“北部地域の観光資源”が占める割合は高い

設問：あなたが沖縄での旅行先・訪問地を選択する際に思い浮かべる地域を5つまで教えてください。

■ 北部由来地域
■ 北部由来かつ全体ランキングに入っていない地域

No.	全体 (4,906)		20代 (826)		30代 (834)		40代 (1,069)		50代 (1,324)		60歳以上(853)	
	想起地域	件数	想起地域	件数	想起地域	件数	想起地域	件数	想起地域	件数	想起地域	件数
1	那覇	676	那覇	120	那覇	123	那覇	140	那覇	174	那覇	119
2	美ら海水族館	393	国際通り	69	美ら海水族館	93	美ら海水族館	92	美ら海水族館	93	恩納村	62
3	恩納村	326	美ら海水族館	64	恩納村	72	恩納村	73	恩納村	84	首里城	58
4	国際通り	312	アメリカンビレッジ	43	国際通り	62	那覇市	52	国際通り	77	国際通り	55
5	首里城	244	那覇市	36	那覇市	46	国際通り	49	首里城	69	美ら海水族館	51
6	那覇市	214	恩納村	35	首里城	37	北谷	46	名護	63	名護	31
7	名護	193	首里城	35	名護	31	首里城	45	北谷	58	那覇市	24
8	北谷	182	北谷	28	アメリカンビレッジ	27	名護	45	那覇市	56	北谷	23
9	アメリカンビレッジ	115	宮古島	26	北谷	27	石垣島	25	本部	39	石垣島	16
10	古宇利島	99	石垣島	23	古宇利島	22	宮古島	24	読谷村	30	宮古島	15
11	本部	93	名護	23	宮古島	17	古宇利島	19	古宇利島	28	本部	15
12	宮古島	92	古宇利島	18	ジャングルリア	15	本部	18	糸満	21	万座	13
13	石垣島	92	パイナップル	11	石垣島	14	アメリカンビレッジ	17	アメリカンビレッジ	20	万座毛	13
14	ジャングルリア	66	海	11	沖縄	13	ジャングルリア	17	ジャングルリア	18	古宇利島	12
15	糸満	61	パーク	10	名護市	13	沖縄市	16	ひめゆりの塔	18	美	12
16	読谷村	59	ジャングルリア	9	本部	12	糸満	16	沖縄市	17	ひめゆりの塔	11
17	名護市	58	本部	9	海	11	名護市	16	読谷	17	海	11
18	沖縄市	57	名護市	9	沖縄市	10	海	14	万座毛	15	糸満	11
19	海	56	ひめゆりの塔	8	パーク	8	読谷	13	名護市	15	沖縄	10
20	ひめゆりの塔	53	沖縄市	7	パイナップル	8	沖縄	12	石垣島	14	今帰仁	9

⑤観光客の現状

北部地域の旅行先・訪問地の純粹想起

しかし、北部地域に絞ると、ジャングリアや美ら海水族館、やんばる、大石林山等に限られ、必ずしも北部地域の持っている資源を訴求できていない

設問：沖縄の北部（やんばる）エリアを思い浮かべたとき、連想するものはありますか？

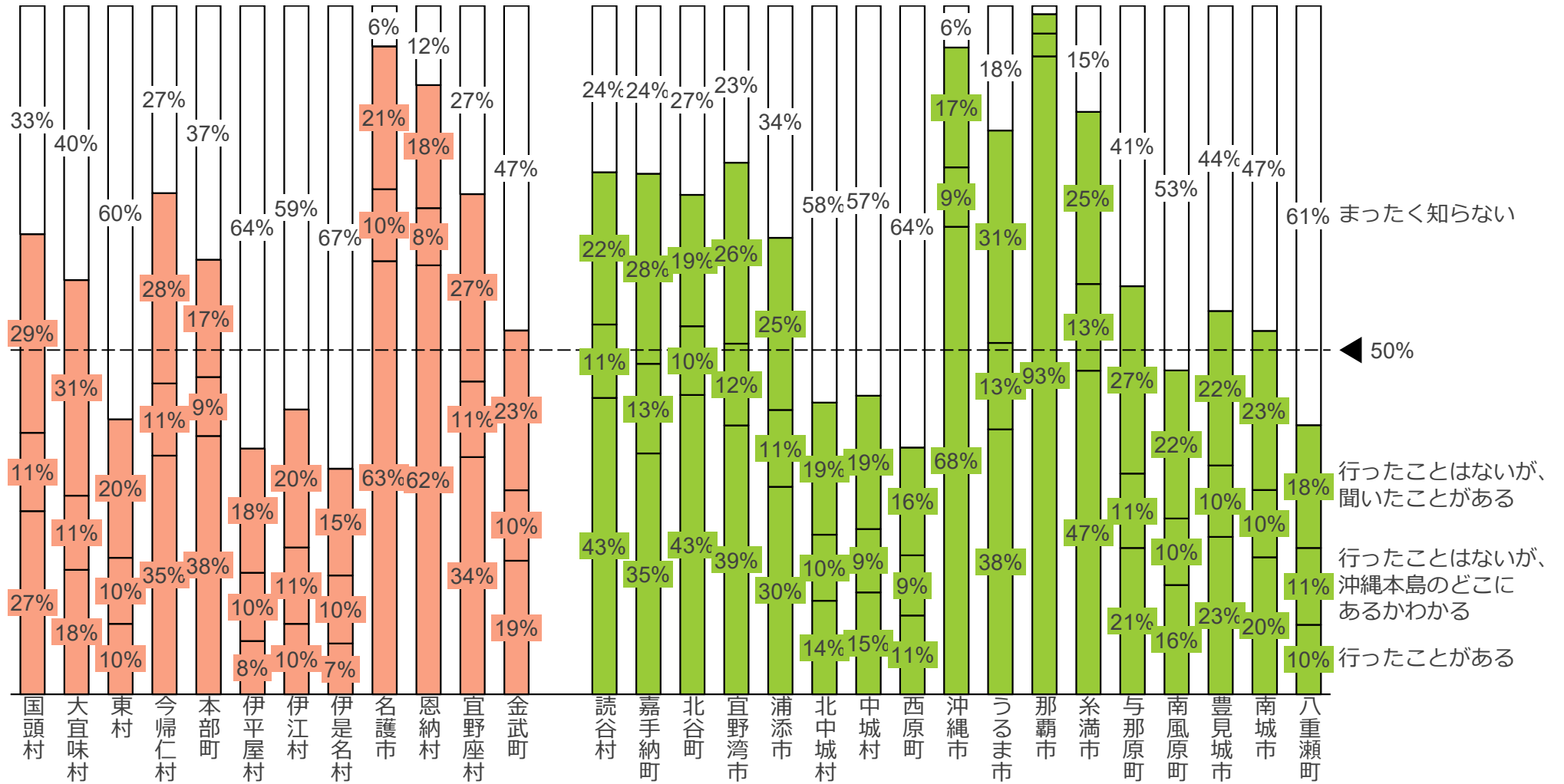
No.	全体 (4,906)		20代 (826)		30代 (834)		40代 (1,069)		50代 (1,324)		60歳以上(853)	
	想起ワード	件数	想起ワード	件数	想起ワード	件数	想起ワード	件数	想起ワード	件数	想起ワード	件数
1	ヤンバルクイナ	318	ヤンバルクイナ	54	ジャングリア	62	ジャングリア	73	ヤンバルクイナ	81	ヤンバルクイナ	66
2	美ら海水族館	289	美ら海水族館	47	ヤンバルクイナ	61	美ら海水族館	70	美ら海水族館	69	美ら海水族館	42
3	ジャングリア	266	ジャングリア	38	美ら海水族館	61	ヤンバルクイナ	56	ジャングリア	64	ジャングリア	29
4	自然	129	分かる(否)	31	自然	42	自然	29	自然	30	辺戸岬	17
5	分かる(否)	129	やんばる	16	分かる(否)	37	やんばる	20	分かる(否)	26	森	15
6	やんばる	93	自然	15	やんばる	24	分かる(否)	20	辺戸岬	26	分かる(否)	15
7	森	78	パイナップル	13	森	21	水族館	17	やんばる	22	海	13
8	海	70	公園	13	海	14	パイナップル	15	森	21	自然	13
9	辺戸岬	64	海	12	沖縄	10	公園	14	海	18	やんばる	11
10	水族館	51	古宇利島	9	水族館	10	海	13	マングローブ	12	大石	9
11	沖縄	49	パーク	8	マングローブ	9	森	13	古宇利島	12	パイナップル	8
12	公園	49	沖縄	8	古宇利島	7	沖縄	12	水族館	12	沖縄	8
13	古宇利島	46	国立	8	カヌー	6	古宇利島	11	名護	12	古宇利	8
14	パイナップル	44	森	8	公園	6	辺戸岬	11	林山	12	今帰仁	8
15	マングローブ	36	鳥	7	万座毛	6	マングローブ	10	沖縄	11	古宇利島	7
16	名護	34	シーサー	5	名護	6	パーク	9	大石	11	公園	7
17	国立	32	水族館	5	ちゅら	5	国立	9	ビーチ	9	水族館	7
18	大石	28	辺戸岬	5	国立	5	ジャングル	7	公園	9	大橋	7
19	パーク	27	恩納村	4	辺戸岬	5	名護	7	国立公園	9	林山	7
20	林山	27	恐竜	4	遺産	4	遺産	6	テーマパーク	7	ジャングル	6

⑤観光客の現状

各市町村に対する観光・旅行先としての認知度

市町村レベルでの認知度では、名護市と恩納村が抜きに出て高く、他の市町村とのばらつきが生じている

N=2,101

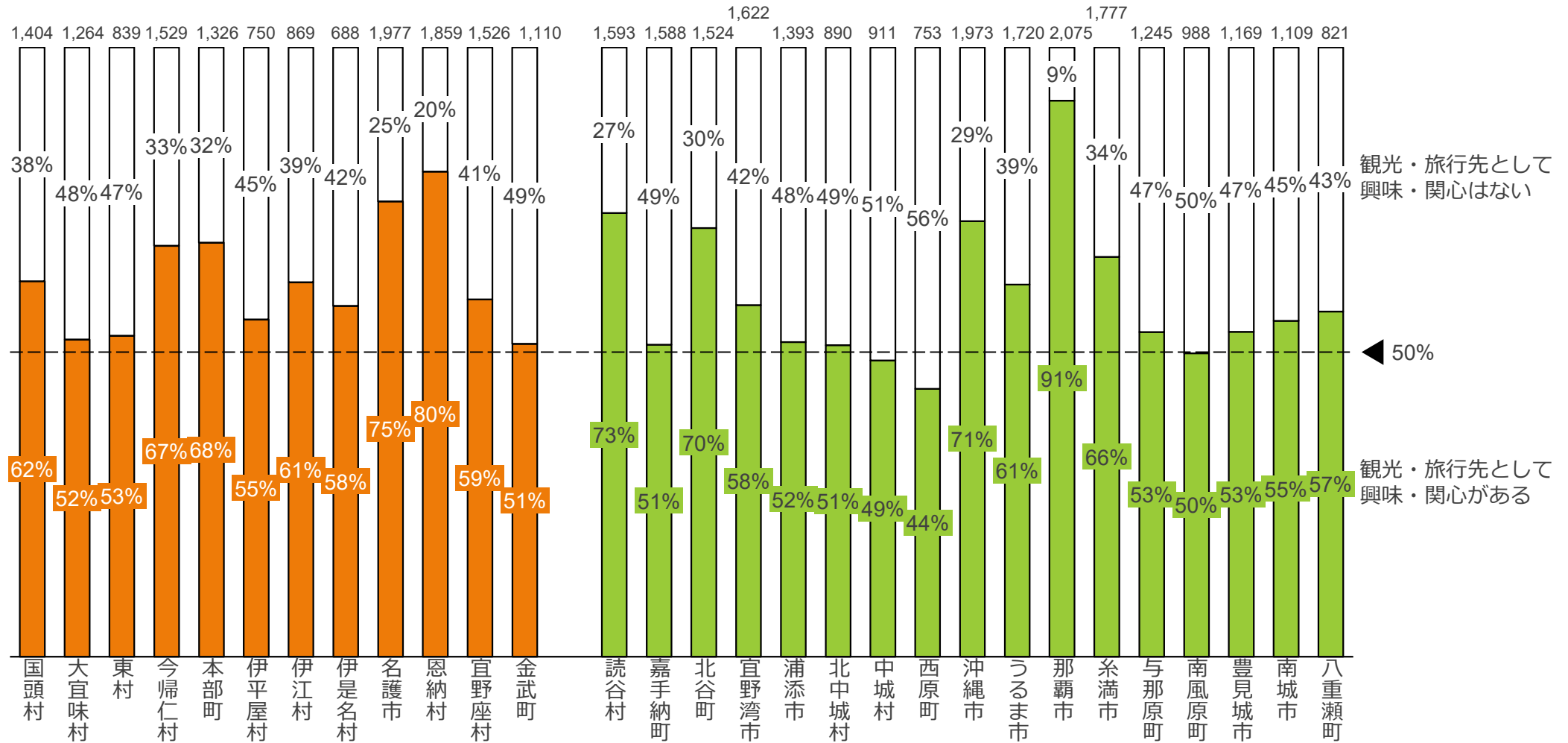


出所：沖縄県訪問者調査（2025年10月実施）、沖縄県より分析

⑤観光客の現状

各市町村に対する観光・旅行先としての興味・関心

観光・旅行先としての各市町村の興味・関心度合いでも、名護市、恩納村、今帰仁村、本部町といった人気集客施設や宿泊施設がある市町村への興味・関心が高い



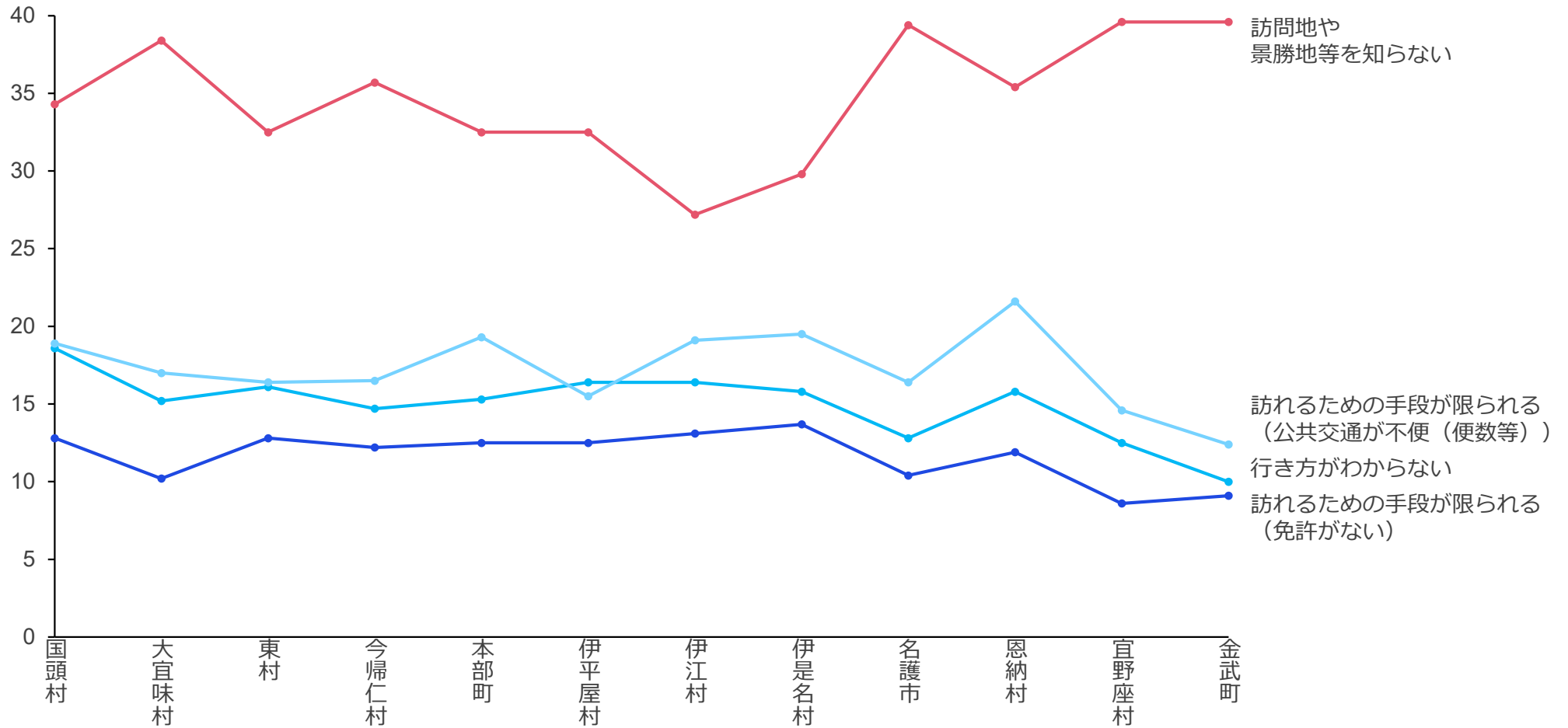
出所：沖縄県訪問者調査（2025年10月実施）、沖縄県より分析

⑤観光客の現状

各市町村に対する観光・旅行先としての興味・関心がない理由

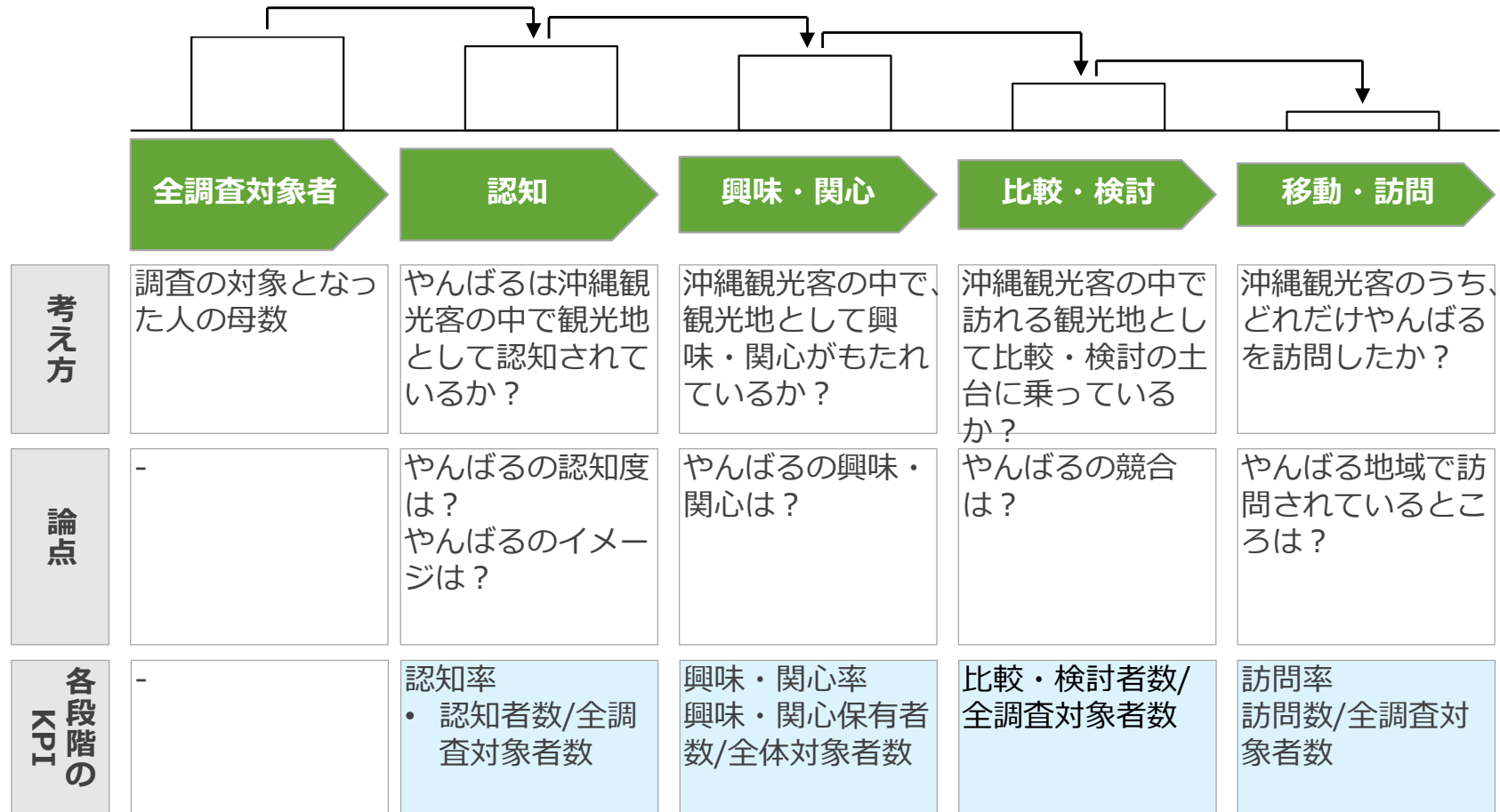
各市町村に対する観光・旅行先としての興味・関心がない理由としては、“訪問地や景勝地等を知らない”、“訪れるための手段が限られる”、“行き方がわからない”といった、認知度やブランディング、交通関連の情報が挙げられている

単位：%



旅行者の観光地・旅行地に対する態度変容の設計について

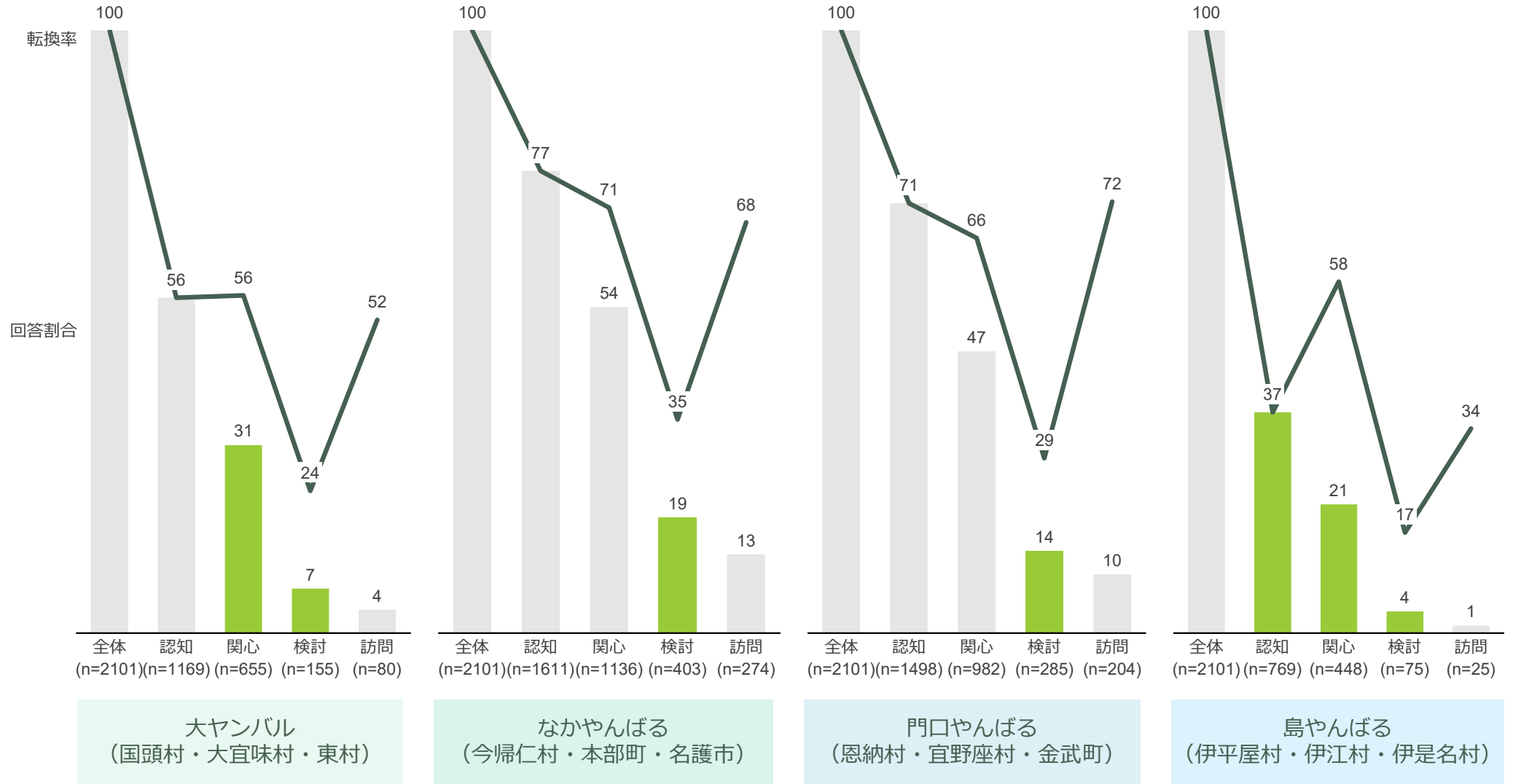
沖縄旅行経験者のうち、やんばる地域の認知から実際の訪問までの各段階での実態を把握



⑤観光客の現状

北部12市町村 エリア別観光・旅行に関する態度変容

北部12市町村の中でも、やんばる国頭・大宜味・東村エリアや離島エリアの“認知” “の低さがボトルネックになっている



⑤観光客の現状

各市町村への非訪問理由

各市町村を観光・旅行先として検討した結果、訪れなかった理由としては、旅行日数や距離といった市町村側の努力ではどうにもならない要素を除くと、“交通アクセス”や“情報”といった可変できる要素が多く挙げられている

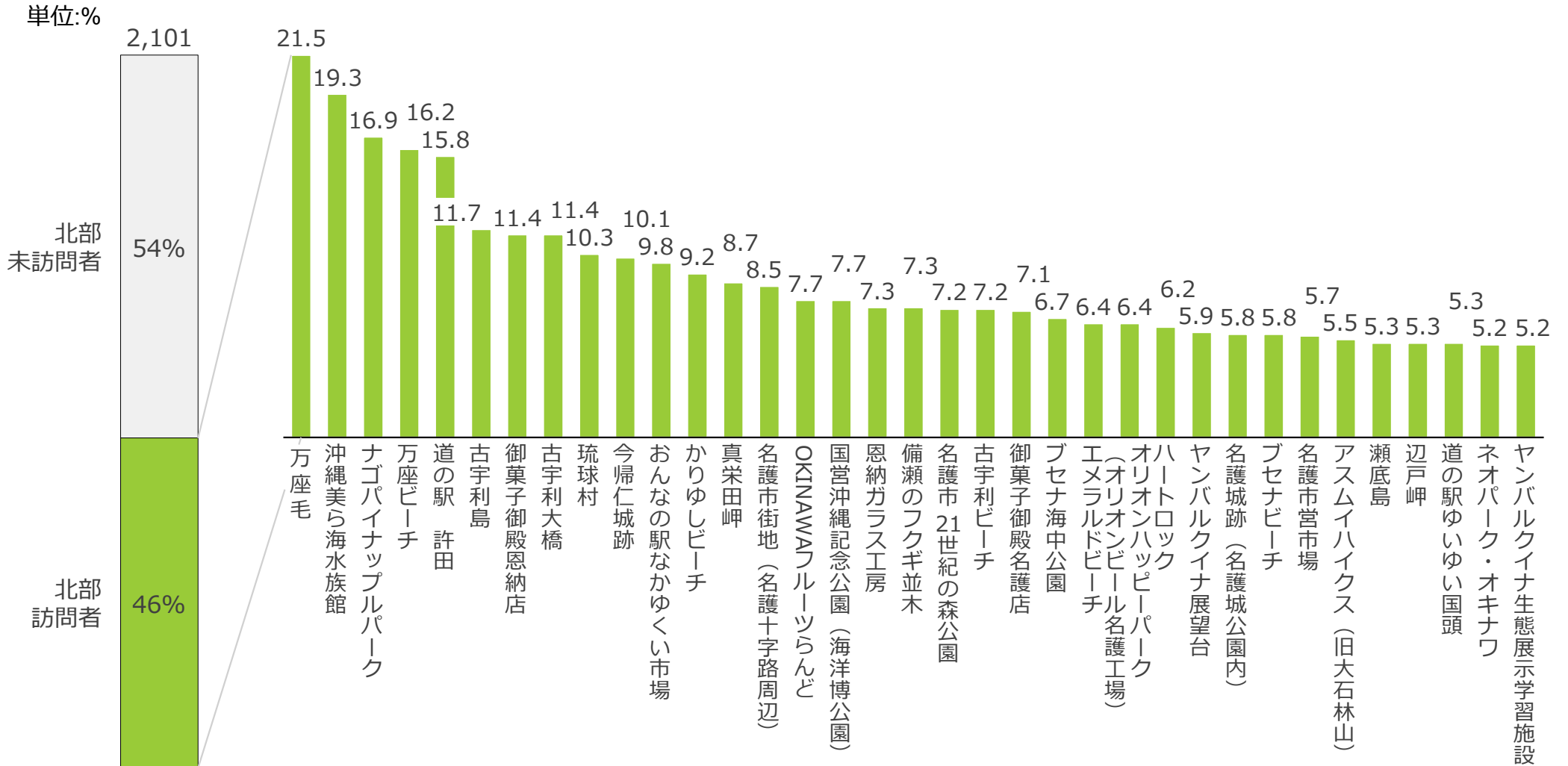
単位：%	国頭村 (n=97)	大宜味村 (n=79)	東村 (n=47)	今帰仁村 (n=118)	本部町 (n=110)	伊平屋村 (n=51)	伊江村 (n=54)	伊是名村 (n=43)	名護市 (n=157)	恩納村 (n=138)	宜野座村 (n=58)	金武町 (n=47)
旅行日数が足りなかった	47.4	49.4	48.9	45.8	45.5	41.2	40.7	32.6	45.2	45.7	48.3	55.3
距離が遠かった	41.2	32.9	31.9	28	20.9	13.7	25.9	25.6	19.1	23.9	10.3	19.1
公共交通のアクセスが悪かった	17.5	25.3	23.4	15.3	14.5	11.8	13	27.9	8.9	9.4	17.2	12.8
公共交通でのアクセスがわからなかった	15.5	17.7	17	8.5	13.6	23.5	18.5	16.3	5.7	4.3	8.6	10.6
渋滞等で混雑するのが嫌だった	13.4	13.9	12.8	12.7	8.2	15.7	9.3	11.6	7	4.3	8.6	10.6
調べてみたらあまり地域全体が魅力的でなかった	12.4	22.8	17	9.3	9.1	9.8	31.5	16.3	7	5.8	8.6	8.5
魅力的な観光地や施設がなかった	15.5	10.1	19.1	9.3	12.7	13.7	13	14	10.2	5.8	6.9	10.6
魅力的な飲食施設がなかった	12.4	7.6	12.8	5.1	8.2	5.9	18.5	9.3	3.2	3.6	12.1	12.8
魅力的な宿泊施設がなかった	8.2	1.3	10.6	3.4	7.3	9.8	9.3	11.6	4.5	1.4	6.9	6.4
魅力的なアクティビティがなかった	7.2	3.8	8.5	4.2	4.5	11.8	13	11.6	3.8	8	5.2	8.5
お金がかかりそうだった	7.2	6.3	8.5	2.5	1.8	3.9	9.3	11.6	5.7	5.8	10.3	6.4
訪れるべき場所がわからなかった	9.3	7.6	6.4	5.9	3.6	3.9	9.3	2.3	8.9	8	8.6	6.4
情報があまりなかった	8.2	13.9	12.8	4.2	5.5	11.8	11.1	14	10.8	8.7	12.1	12.8
天候が良くなかった	4.1	7.6	4.3	10.2	4.5	5.9	9.3	7	8.3	8.7	10.3	8.5

⑤観光客の現状

北部地域および観光地への訪問比率

具体的な北部地域への訪問比率を見ると、沖縄県の観光客の46%が北部へ訪問。そのうち、万座毛や美ら海水族館、名護パイナップルパーク、万座ビーチ、道の駅許田が訪問率15%を超える

沖縄観光客の北部地域全体と観光地上位35位の訪問比率

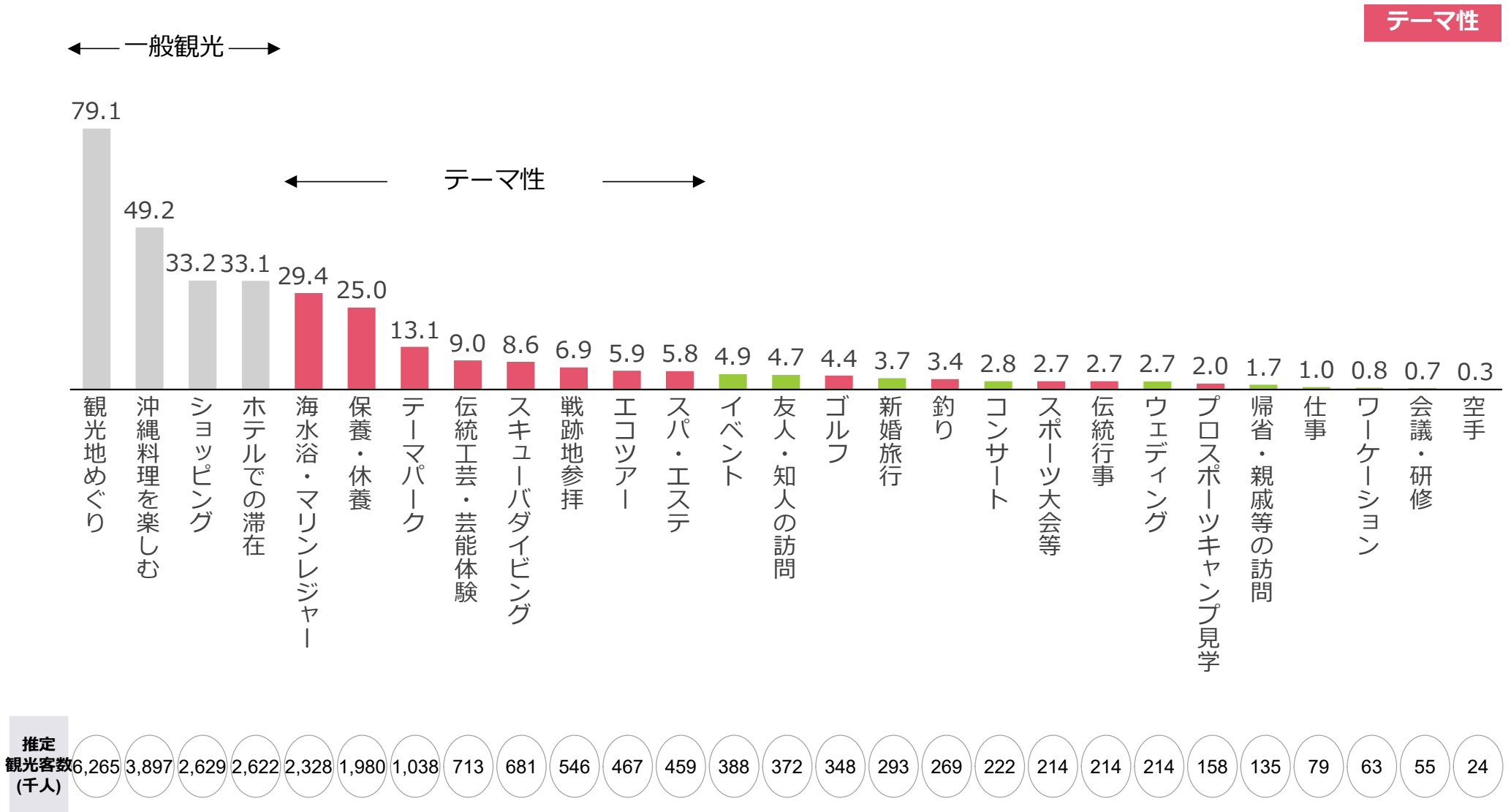


出所：沖縄県訪問者調査（2025年10月実施）より分析

⑤観光客の現状

沖縄を訪れる観光客のニーズ

一方で、沖縄県を訪れる観光客のニーズに目を転じると、一般観光型の旅行に加え、マリン、伝統工芸、エコツアー、保養・休養・スパ、といったようにテーマを持ったニーズが存在



出所：沖縄県訪問者調査（2025年10月実施）より分析

⑤観光客の現状

北部地域における大テーマの各項目の行為率・消費額

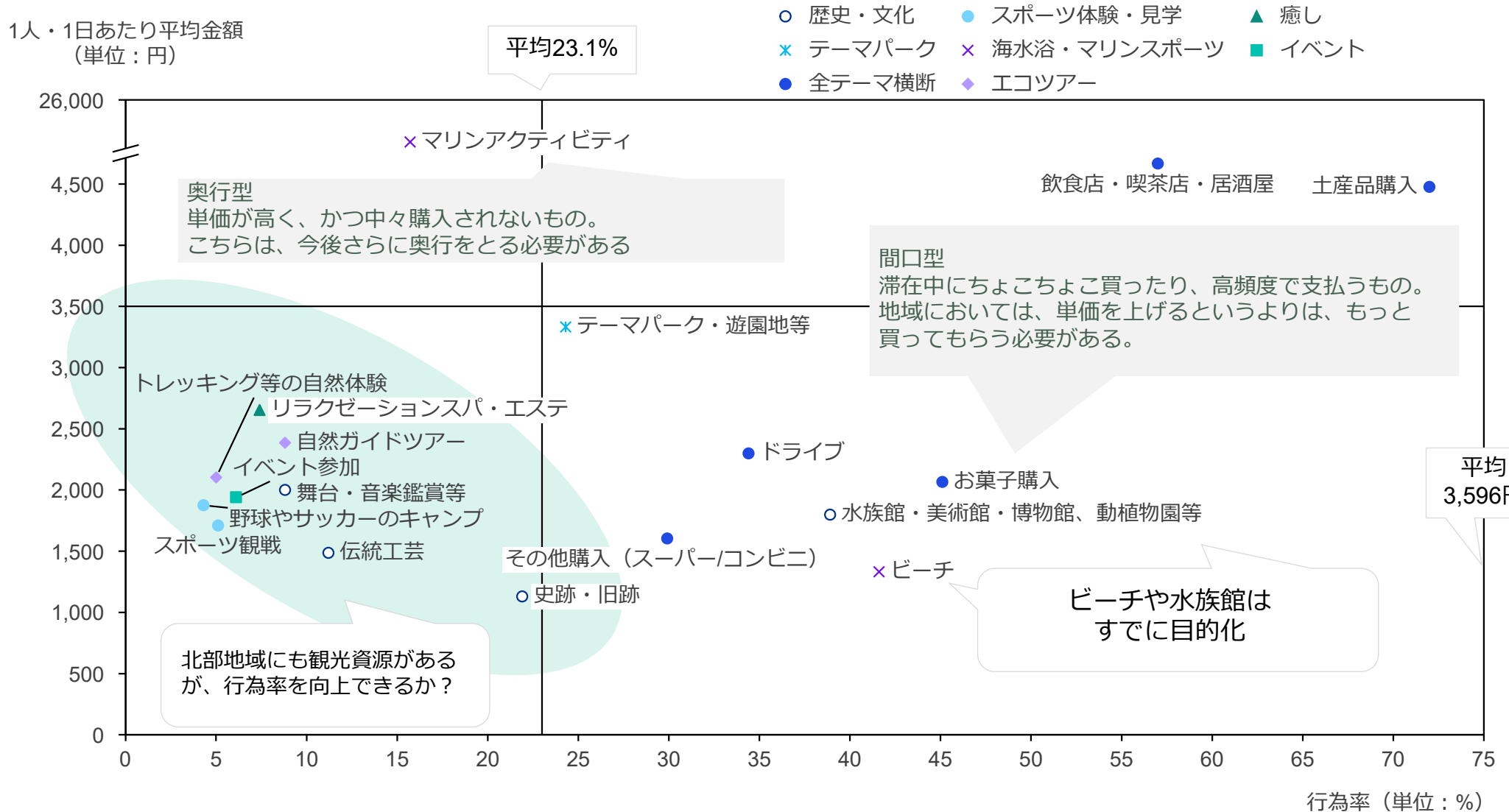
大テーマを元に、What（どんなことをしたか？）、How（どのくらいの北部地域での実施されているか？/どのくらい消費したか？）の観点で整理を実施
 史跡・旧跡、伝統・工芸、テーマパークや水族館、ビーチやマリナクティビティの実施率が高い

どの大テーマか？	北部地域で実施したことは？	どのくらいの人が実施したか？	どのくらい消費したか？
大テーマ	北部地域での実施項目	行為率	1日/1人 当たり消費額 (単位：円)
歴史・文化	舞台・音楽鑑賞等	8.8%	1,998
	史跡・旧跡	21.9%	1,129
	伝統工芸	11.2%	1,485
	水族館・美術館・博物館、動植物園等	38.9%	1,797
テーマパーク	テーマパーク・遊園地等	24.3%	3,330
全テーマ横断	土産品購入	72.0%	4,473
	お菓子購入	45.1%	2,064
	その他購入（スーパー/コンビニ）	29.9%	1,602
	飲食店・喫茶店・居酒屋	57.0%	4,663
	ドライブ	34.4%	2,297
スポーツ 体験・見学	スポーツ観戦	5.1%	1,708
	野球やサッカーのキャンプ	4.3%	1,874
海水浴・ マリンスポーツ	ビーチ	41.6%	1,330
	マリナクティビティ	15.7%	25,656
エコツアー	自然ガイドツアー	8.8%	2,383
	トレッキング等の自然体験	5.0%	2,100
癒し	リラクゼーションスパ・エステ	7.4%	2,651
イベント	イベント参加	6.1%	1,938

⑤観光客の現状

北部地域における大テーマの各項目の現状

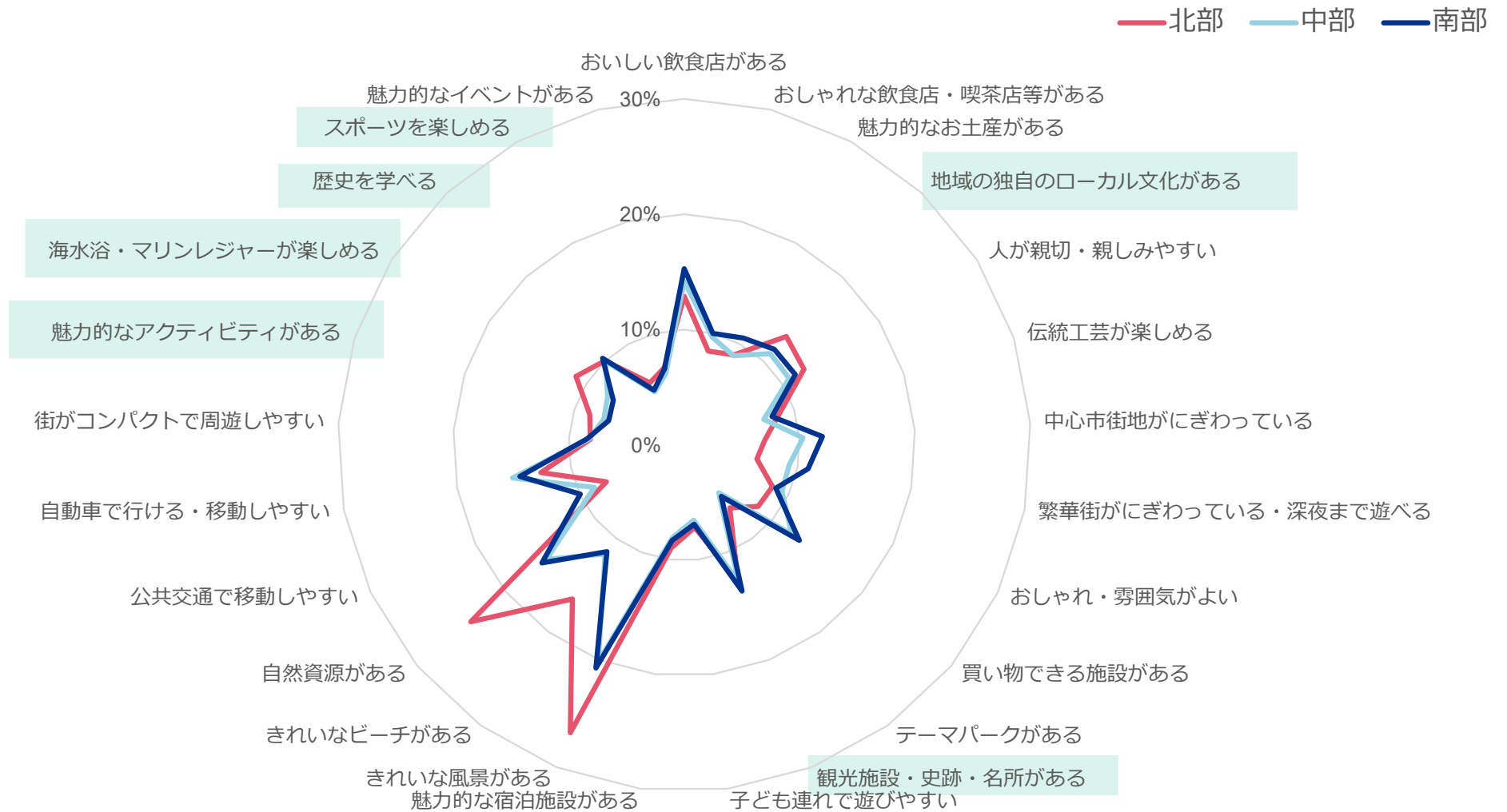
更に、カテゴリ別に北部地域での行為率と消費額をプロットすると、北部には自然や史跡、エコツアー、スポーツ、癒しの観光資源が多いにも関わらず、せっかく来てても“行為”に至っていないものが多い



⑤観光客の現状

沖縄本島の地域のイメージ（地域比較）

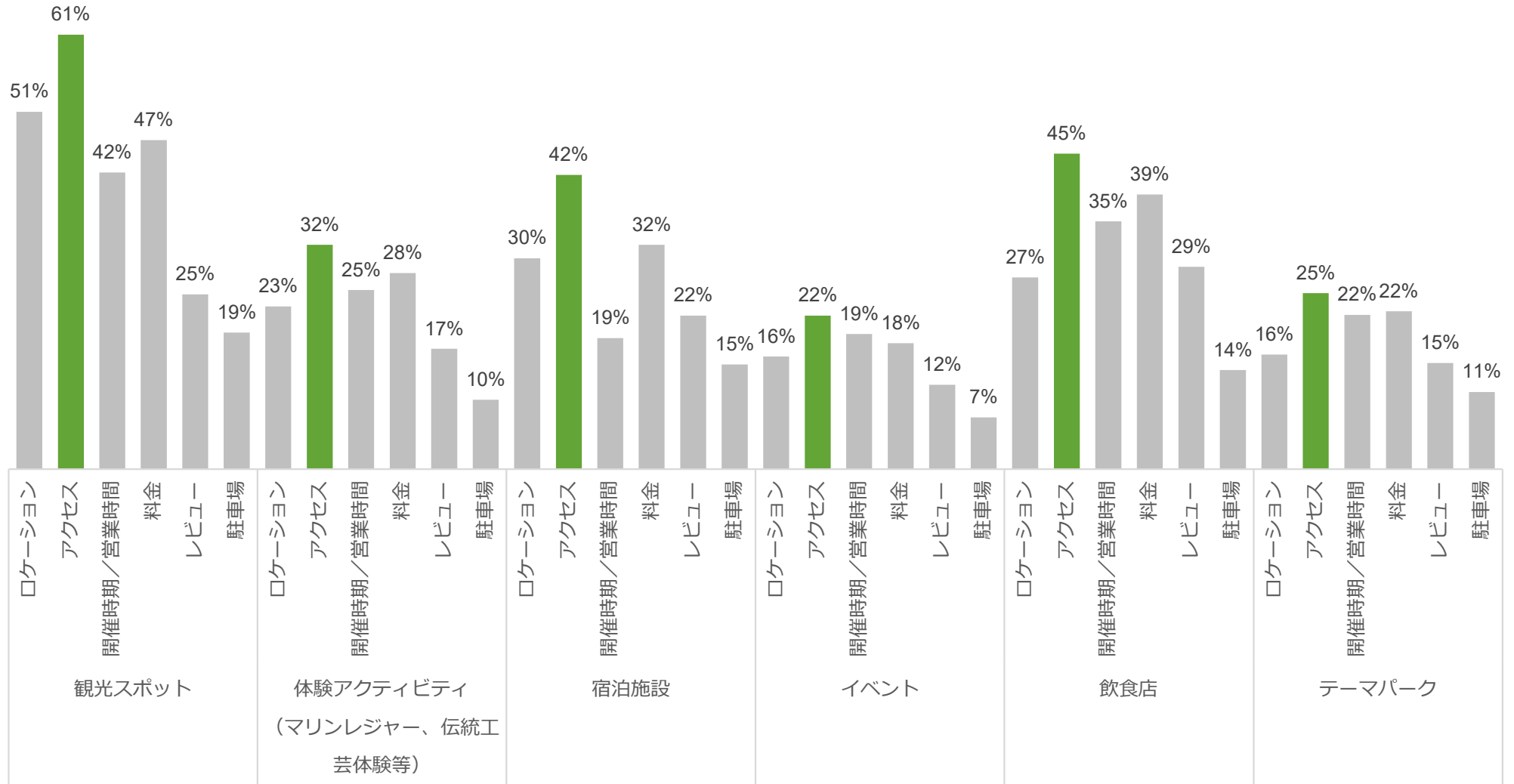
それらの理由としては、せっかく北部に観光客が訪れても“行為”がなされていない理由としては、北部地域に観光資源があってもイメージされていないことが課題の一つとして考えられる



⑤観光客の現状

沖縄旅行中の情報収集内容

なお、沖縄旅行中の情報収集内容としては、いずれもアクセスが高い



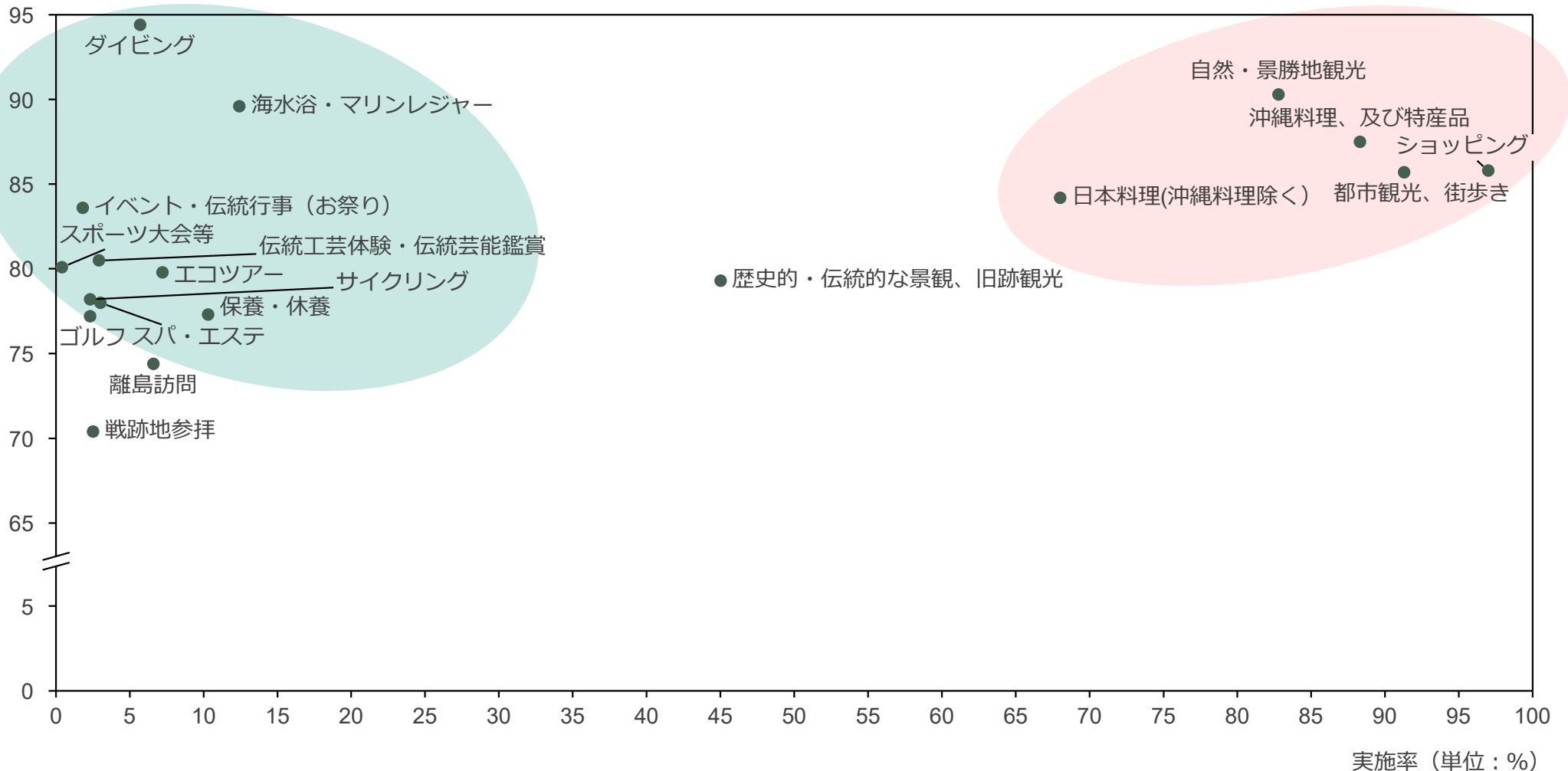
出所：沖縄県訪問者調査（2025年10月実施）より分析

⑤観光客の現状

来沖インバウンド観光客の旅行での活動（目的）と満足度

インバウンド観光客に目を転じると、一般的な観光の“食事（沖縄料理、それ以外の日本食）”や“都市観光”、“自然・景勝地観光”といった目的が高く、満足度も高い。一方で、マリンレジャー系（ダイビング、海水浴・マリンレジャー）や伝統行事、伝統工芸体験、エコツアー等は実施率は低いものの満足度は高い

満足度（単位：％）



⑤観光客の現状

国別来沖インバウンド観光客の旅行での活動（目的）

国籍別に沖縄での活動を見ると、韓国が他の市場と比べてマリンレジャーや保養・休養、ゴルフといった活動が高い

単位：%	全体	台湾	韓国	香港	中国	その他
ショッピング	97.0	98.8	94.2	97.3	96.0	98.1
都市観光、街歩き	91.3	93.1	87.7	93.3	92.1	90.9
沖縄料理、及び特産品	88.3	90.4	85.6	88.8	90.0	84.7
自然・景勝地観光	82.8	80.8	89.7	79.6	82.4	72.3
日本料理(沖縄料理除く)	68.0	65.6	71.3	65.0	70.9	69.5
歴史的・伝統的な景観、旧跡観光	45.0	49.4	37.0	44.9	47.0	49.6
海水浴・マリンレジャー	12.4	6.9	20.7	13.5	13.6	8.9
保養・休養	10.3	3.1	23.4	1.6	1.8	20.8
エコツアー	7.2	9.3	1.9	7.9	9.8	12.4
離島訪問	6.6	4.4	10.6	4.4	8.6	4.4
ダイビング	5.7	3.5	6.8	13.2	7.8	1.9
スパ・エステ	3.0	0.8	7.6	1.5	0.9	1.2
伝統工芸体験・伝統芸能鑑賞	2.9	3.6	1.3	2.2	1.9	7.4
戦跡地参拝	2.5	2.8	0.6	1.3	0.8	10.5
ゴルフ	2.3	0.6	6.6	0.8	0.0	0.0
サイクリング	2.3	2.3	0.7	5.3	1.9	4.1
イベント・伝統行事（お祭り）	1.8	2.6	1.3	0.4	0.0	3.3
スポーツ大会等	0.4	0.1	0.7	0.0	0.0	1.2
空手	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

出所：沖縄県「令和6年度外国人観光客実態調査」より分析

⑤観光客の現状

交通手段別来沖インバウンド観光客の旅行での活動（目的）

インバウンド観光客の交通手段別の沖縄での活動を見ると、多くの活動（目的）で路線バス利用が10%以上を超えている

単位：%	レンタカー	一般タクシー	観光タクシー	貸切バス	路線バス
歴史的・伝統的な景観、旧跡観光	52.4	20.3	3.8	12.5	22.9
自然・景勝地観光	59.6	19.1	3.8	9.7	19.2
都市観光、街歩き	55.9	20.0	3.8	9.5	21.6
離島訪問	76.7	16.1	2.7	5.5	10.3
保養・休養	72.9	17.9	1.2	8.0	13.1
スパ・エステ	65.2	30.4	0.0	8.7	14.5
海水浴・マリンレジャー	72.3	18.0	2.7	8.3	13.7
ダイビング	71.3	17.8	1.9	1.9	19.1
ゴルフ	50.0	27.9	8.8	20.6	4.4
サイクリング	60.5	20.9	2.3	0.0	27.9
ショッピング	56.5	20.0	3.7	9.5	20.6
沖縄料理及び特産品	56.1	20.1	3.9	9.4	21.3
日本料理（沖縄料理の除く）	55.4	21.3	4.8	9.4	21.3
エコツアー	53.8	25.0	6.8	15.9	20.5
戦跡地参拝	45.9	13.5	0.0	21.6	27.0
イベント・伝統行事（お祭り）	60.0	11.4	0.0	25.7	8.6
伝統工芸体験・伝統芸能鑑賞	60.0	20.0	2.0	20.0	10.0
空手	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
スポーツ大会等	33.3	83.3	0.0	0.0	33.3

出所：沖縄県「令和6年度外国人観光客実態調査」より分析